

始



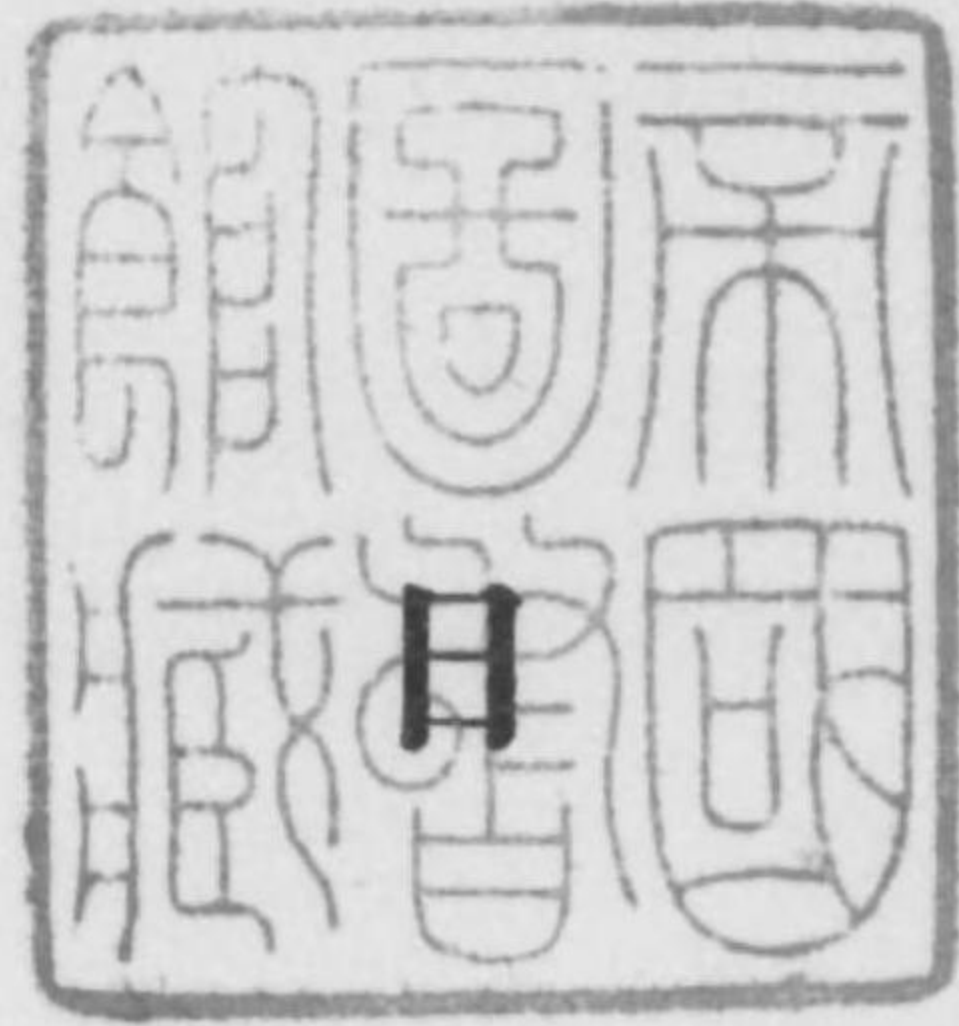
29

日本燈臺表

昭和十年五月改正

燈臺局

昭和十年五月改正



本
燈
臺
表

燈
臺
局



別 種 質 燈

DIAGRAM OF LIGHTS

光閃動不成聯
FIXED & FLASHING



動 不
FIXED



光 交 閃
ALTERNATING FLASHING



暗 明
OCCULTING



閃 連 二
DOUBLE FLASHING



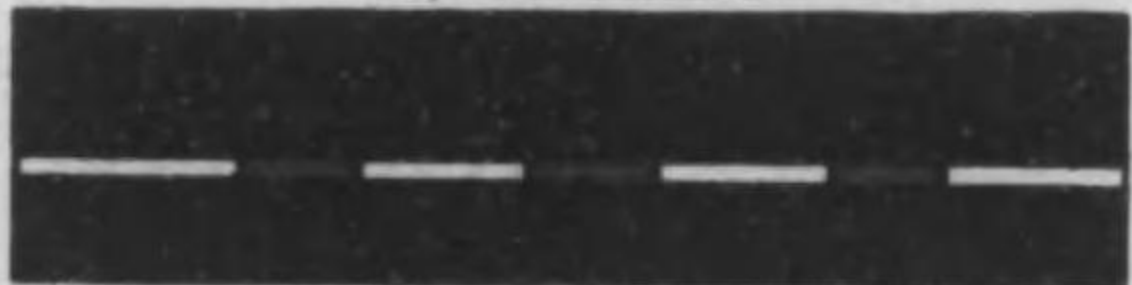
暗 明 連 復
GROUP FLASHING



光 交 閃 連
ALTERNATING GROUP FLASHING



光 互
ALTERNTING



閃 連 三
TRIPLE FLASHING



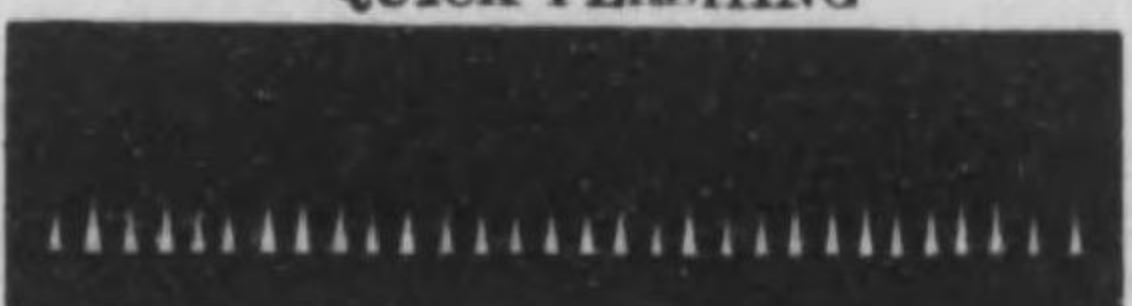
光 閃
FLASHING



閃 連 四
QUADRUPLE FLASHING



光 閃 急
QUICK FLASHING



本

鐵

車

漆



111

Light

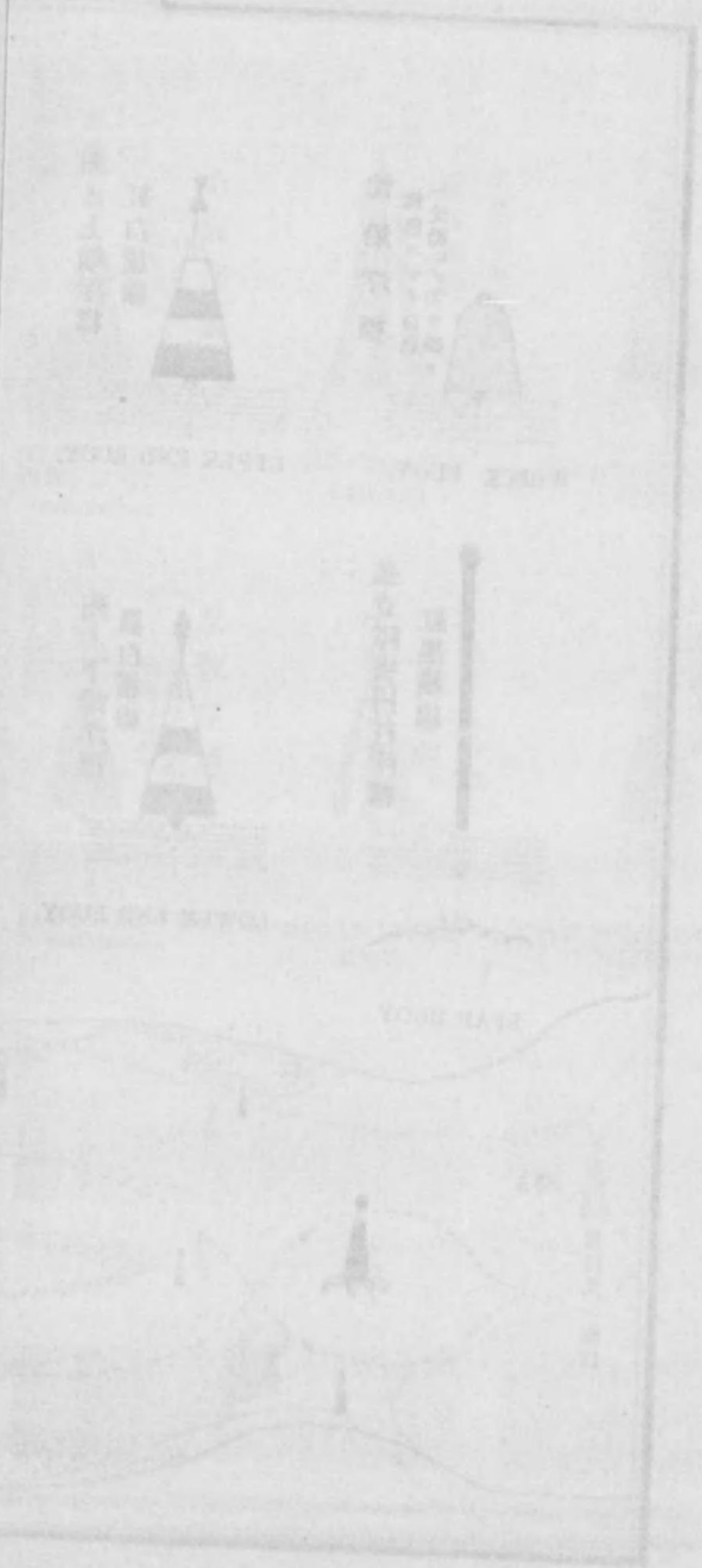
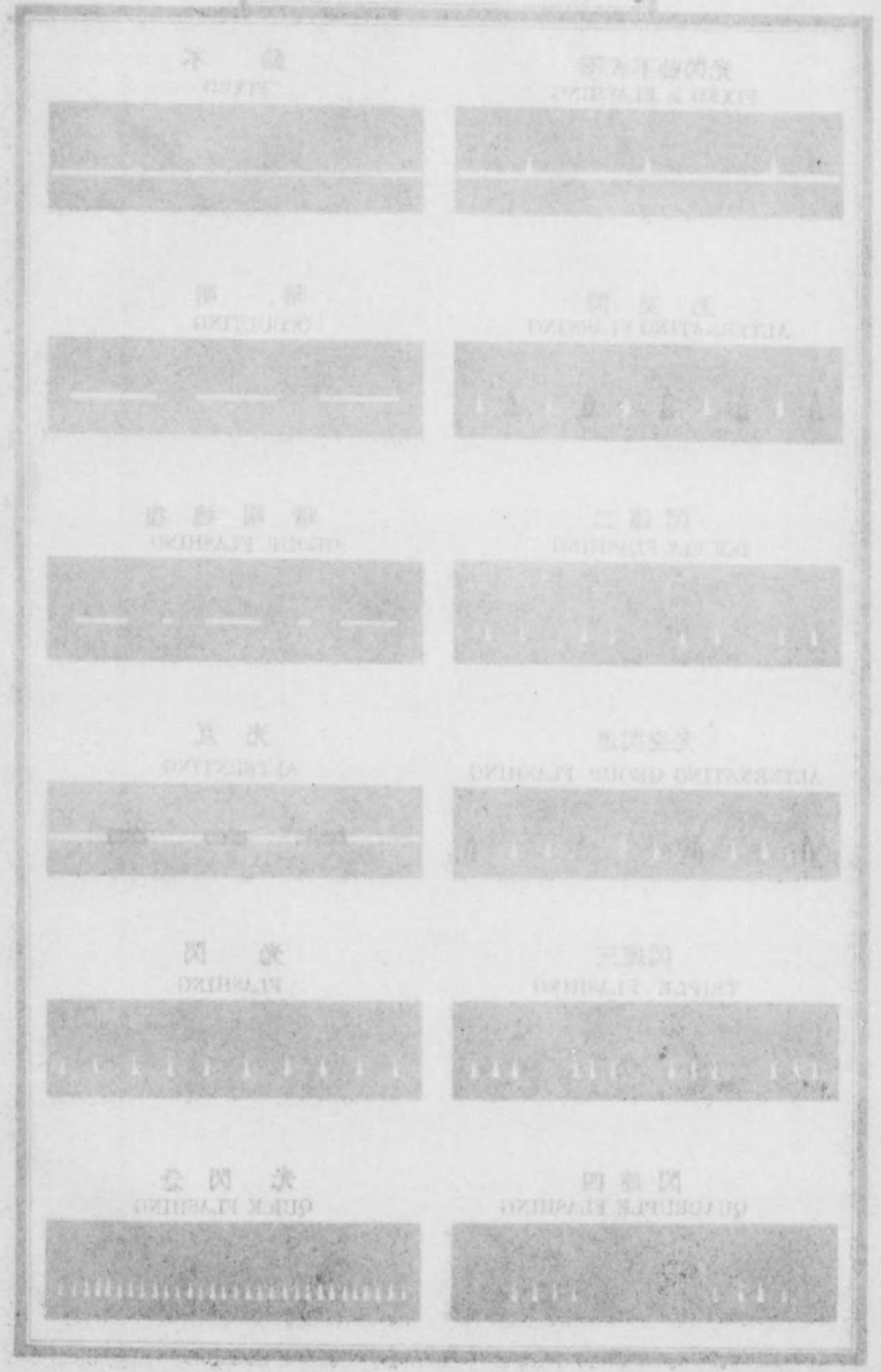
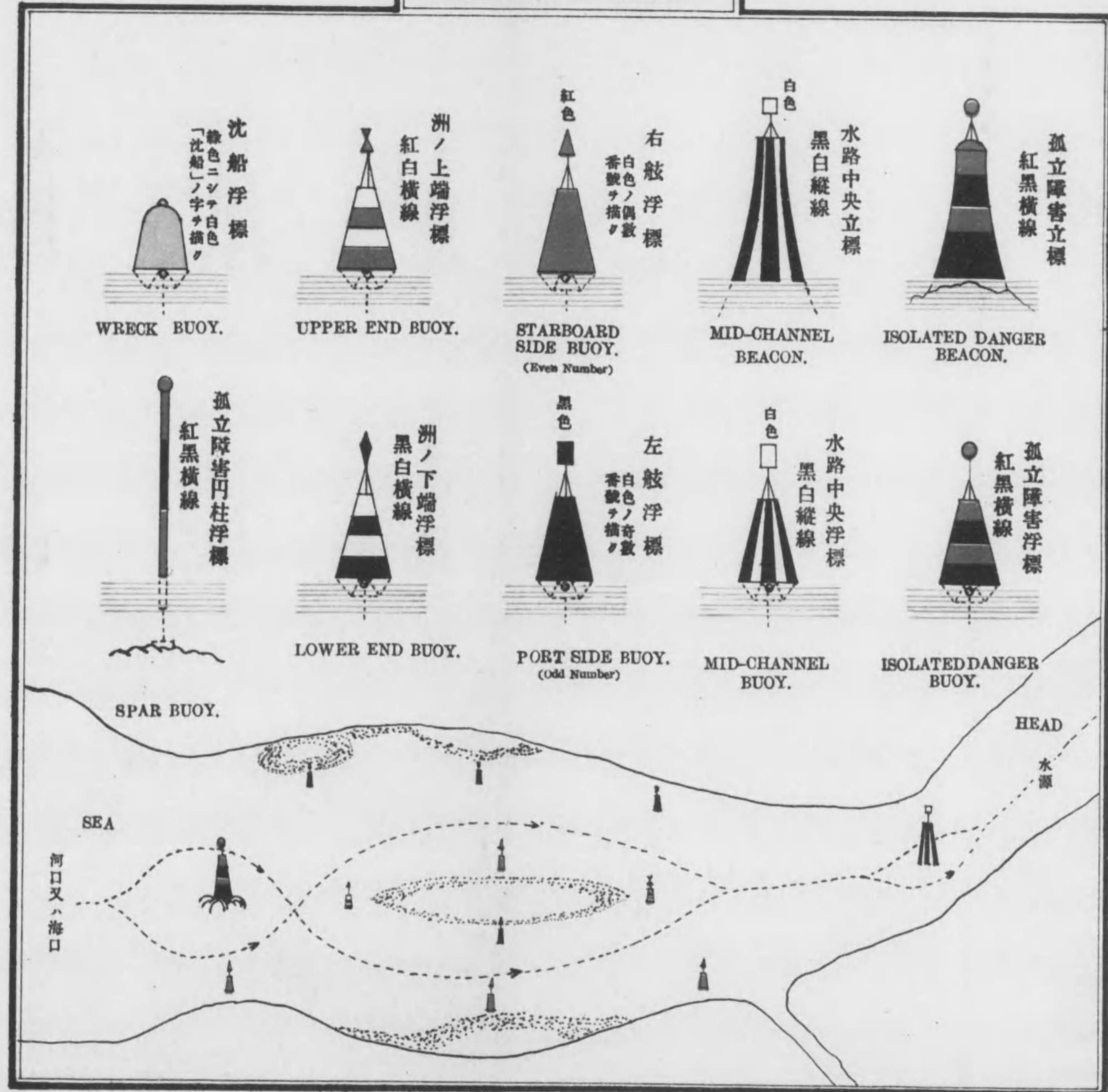


DIAGRAM OF LIGHTS

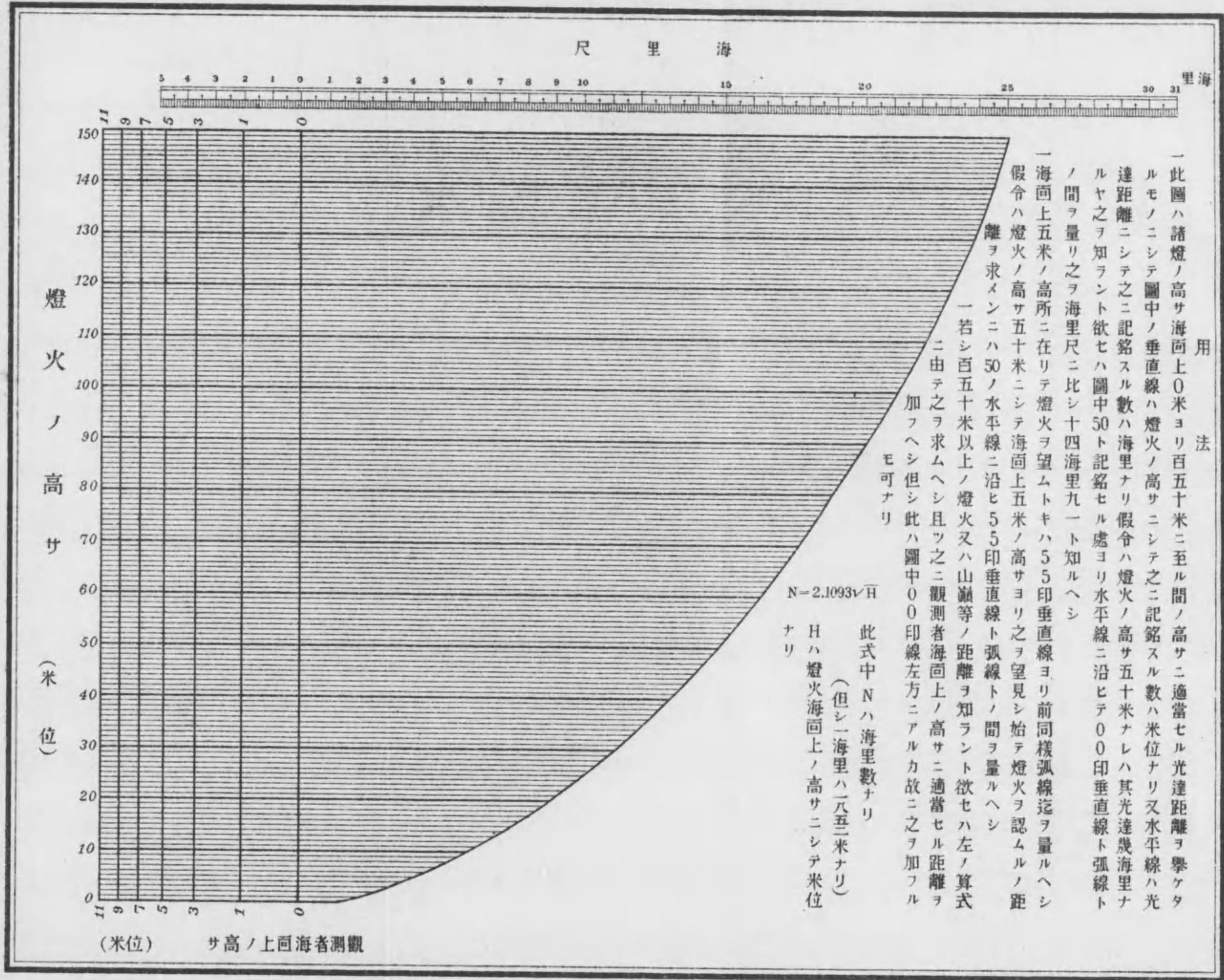


別種標立及標浮

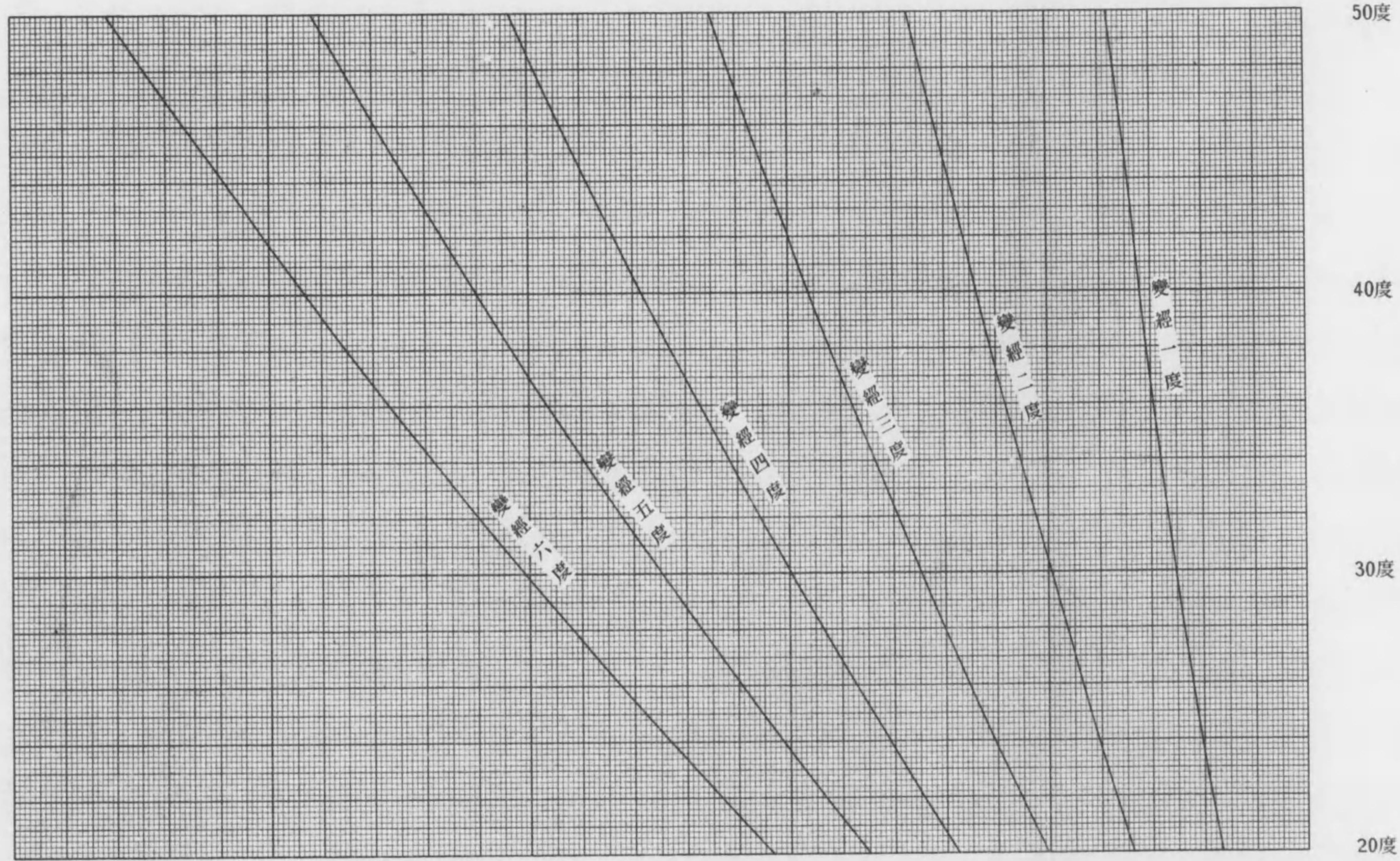
System of Buoys, etc., showing
Colours, Shapes and Positions



光達距離解說圖



規正角ヲ求ムル曲線圖



(使用法)

船ノ推側位置及無線方位信號所ノ經緯度ニ依リ中分緯度及變經ヲ計算シ曲線圖ヨリ規正角ヲ求メ無線方位ニ加減スレバ漸長方位ヲ得

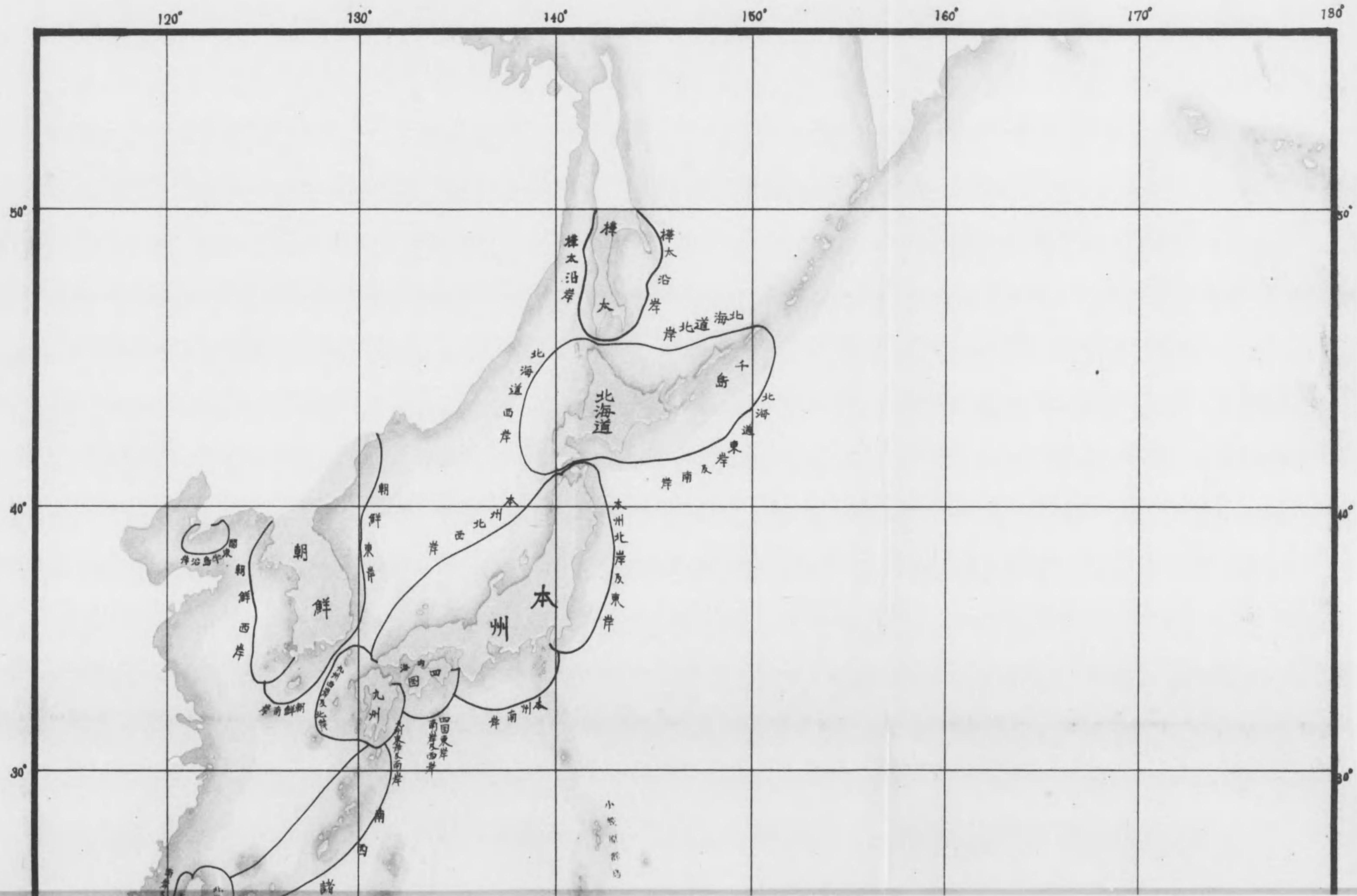
(注意)

北半球ニテ船方無線標識局或ハ無線羅針局ノ東側ニアル時ハ(+)西側ニアル時ハ(-)トナル

2.5度
2度
1.5度
1度
0.5度
0度

規正角

區劃索引圖

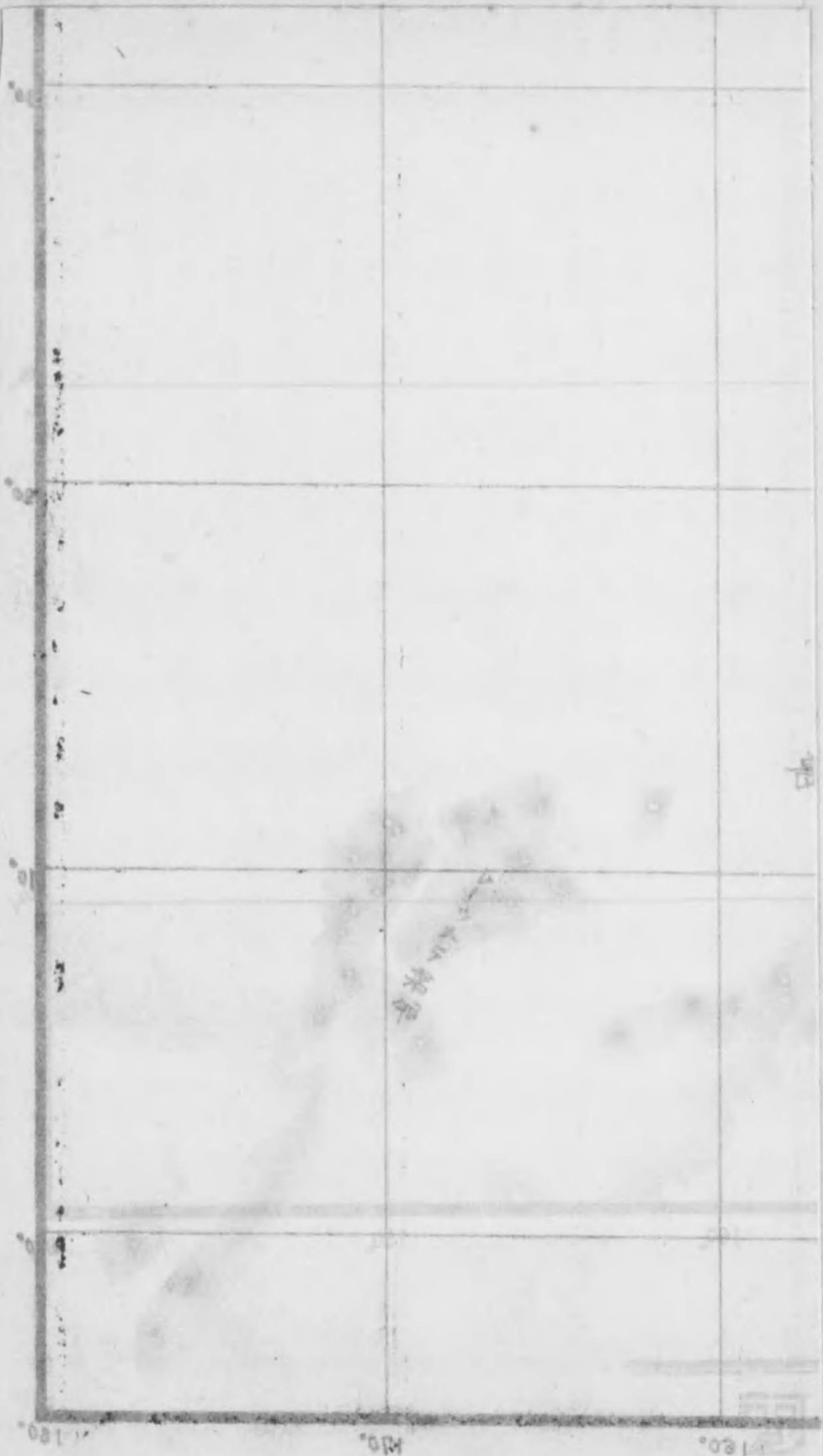




日本燈臺表目次

凡例	一
法令拔抄	三
刑法拔抄	三
航路標識條例	三
遞信省訓令(公設航路標識設置手續)	三
公設航路標識業務規則	一四
朝鮮航路標識規則	一八
朝鮮總督府告示(鴨綠江、大同江、漢江及廣梁灣航行注意、鎮海灣、加德水道、加德島北方水道、釜島水道及見乃梁海峽水源指定)	二〇
臺灣航路標識規則	二三
南洋群島航路標識規則	二三
無線方位測定規則	二四
無線電報取扱規程拔抄	二四
無線電信ニ依ル航行警報放送	三五

目次



全上ニ關スル電務局長通牒……………三九

無線電信ニ依ル航行警報放送(朝鮮)……………四〇

船舶通航、潮流信號規程……………四三

船舶通報規則……………四八

燈臺 燈竿、導燈、燈標及柱燈浮標 **霧信號** 霧笛、霧鐘、霧砲

北海道北岸、東岸 千島ヲ含ム 及南岸……………一

北海道西岸……………一五

本州北岸及東岸……………二五

本州南岸……………三九

本州北西岸……………六七

内海(瀬戸内)……………八九

四國東岸、南岸及西岸……………二九

九州東岸及南岸……………一三五

九州西岸及北岸……………一四三

南西諸島……………一五九

樺太 北緯五十度以南……………一六三

關東半島……………一七三

朝鮮東岸……………一八三

朝鮮南岸……………一九七

朝鮮西岸……………二〇九

臺灣北岸及東岸……………二二五

臺灣南岸及西岸……………二三一

臺灣澎湖列島……………二三五

南洋群島……………二三七

無線方位信號 (無線羅針局、並無線標識局及無線標識業務ヲ取扱フ陸上無線電信)……………二五九

船舶通航信號……………二五三

潮流信號……………二五七

立標 陸標、導標、浮標

内地……………二五九

關東半島……………二七一

朝鮮	二七三
臺灣	二八一
南洋群島	二八三
浮標	二九五
内地	二九五
關東半島	三〇七
朝鮮	三〇九
臺灣	三一一
南洋群島	三三三
沿岸別航路標識數調	三三七

凡例

- 一 本表ハ告示其ノ他ノ公示ニ依リ本邦領域及關東半島租借地沿岸並南洋群島ノ航路標識ヲ登載ス
- 一 航路標識ノ種類ハ燈臺、燈竿、導燈、燈標、挂燈浮標、立標、陸標、導標、浮標、漆標
以上單ニ書標ト概稱 スルコトアルヘシ 霧笛、霧鐘、霧砲 以上單ニ霧信號ト概稱 スルコトアルヘシ 船舶通航信號、潮流信號及無線方位信號(無線羅針並無線標識業務トス)
- 一 經緯度ハ近時出版ノ海圖或ハ報告ニヨリ改正セシモノニ依ル、但シ無線方位信號所以外ハ概位置ヲ示ス
- 一 通目ナルニヨリ方位ニ止メ三十秒以上ハ分ニ算入シ未滿ハ之ヲ省ク
- 一 明弧トハ燈光ノ海面ヲ照輝スル部分ヲ謂フ、明弧中異色ノ燈光ヲ顯ハス部分ヲ分弧ト稱ス
- 一 方位ハ眞方位(眞北ヲ零度トシ時計ノ指針ト同方向ニ三六〇度ヲ指讀ス)ニ據リ、燈光區域ノ方位ハ海上ヨリ燈臺ニ向ヒ、無線方位信號測定區域ノ方位ハ信號所ヲ中心トシテ測定シ度位ニ止メ三十分未滿ハ之ヲ省ク
- 一 高サ及水深ハ米ヲ用ヒ五拾六入法ニヨリ10米迄ニ止ム(一米ハ曲尺三尺三寸)
- 一 燈火及立標ノ高サハ平均水面ヨリ測定ス
- 一 水深ハ大低潮時ノ水面ヨリ測定ス
- 一 里法ハ哩又ハ鏈ヲ用ヒタルモノアリ一哩ハ一緯度ノ六十分一ニシテ凡ソ一八五一米八一八(十六町九分七厘五毛)一鏈ハ一哩ノ十分一ナリ

- 一 光達距離ハ晴朗ノ夜大高潮平均水面上五米（一丈六尺五寸）ノ處ニ在ルモノ暗中始メテ燈火ヲ認メ得ヘキ距離ヲ舉ケタルモノナレハ天候及潮位ニ由テ差アルモノトス
- 一 點燈時間ハ日没ヨリ日出マテトス
- 一 霧信號ハ霧雪其ノ他濛濛ナル天候ニ執行ス
- 一 左記燈臺ニ於テハ船舶通報規則ニ依リ通過報及信號報ヲ取扱フ
- 一 西能登呂岬燈臺、稚内燈臺、神威岬燈臺、白神岬燈臺、尻矢埼燈臺、金華山燈臺、犬吠埼燈臺、劍埼燈臺、神島燈臺、潮岬燈臺、紀伊日ノ御埼燈臺、大角鼻燈臺、佐田岬燈臺、六連島燈臺、神埼燈臺、大瀬埼燈臺、佐多岬燈臺、牧ノ島燈臺、者只島燈臺、小青島燈臺、鷺鷥鼻燈臺
- 燈等級並光力
- 一 燈等級ハ折射器ノ内徑ヲ以テ分チ内徑大ナルモノハ大ナル火口ヲ備フ其折射器ノ大小火口ノ光力左ノ如シ

名稱等級	一等	二等	三等	三等小	四等	五等	六等	無等
折射器ノ内徑米	一・八四〇	一・四〇〇	一・〇〇〇	〇・七五〇	〇・五〇〇	〇・三七五	〇・三〇〇	〇・三〇〇
折射器ノ高サ米	二・五九〇	二・一一七	一・五七六	一・二五〇	〇・七二二	〇・五四一	〇・四三三	〇・二七〇

火口ノ燭光數		石油燈	石油蒸發燈	白熱燈	ビンチガス燈	アセチレン燈	ガス燈
燭光數	ボギー小數	二二〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
	ピオール單位	一三〇	六〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
燭光數	ボギー小數	一三〇	六〇〇	七〇〇	六〇〇	四〇〇	四〇〇
	ピオール單位	五八	四〇〇	六〇〇	四〇〇	三六	一八
	ボギー小數	一八	一八	三二	四五	三八	一八
	ピオール單位	一一	一一	八	八	一八	一八

茲ニ謂フ一燭光トハ一時間ニ鯨蠟製石蠟又ハ木蠟蠟燭ノ重量百二十「グレーン」ヲ消費スル光力ニシテ之ト他ノ單位トヲ比較スレハ左ノ如シ

燭光數	ボギー小數	ピオール單位	燭光數	ボギー小數	ピオール單位
一	一・〇一一	〇・〇五	一、〇〇〇	一、〇一一	五〇
五	五・〇五	〇・二五	五、〇〇〇	五、〇五〇	二五〇
一〇	一〇・一一〇	〇・五〇	一〇、〇〇〇	一〇、一〇〇	五〇〇
五〇	五〇・五〇	二・五〇	五〇、〇〇〇	五〇、五〇〇	二、五〇〇
一〇〇	一〇一・〇〇	五・〇〇	一〇〇、〇〇〇	一〇一、〇〇〇	五、〇〇〇
二〇〇	二〇二・〇〇	一〇・〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇五、〇〇〇	二五、〇〇〇

三〇〇	三〇三・〇〇	一五・〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇一〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇
四〇〇	四〇四・〇〇	二〇・〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	五、〇五〇、〇〇〇	二五〇、〇〇〇
五〇〇	五〇五・〇〇	五二・〇〇			

一 光力ハ折射器外ニ於テ計リシ燭數若クハ之ニ相當スル燭數ヲ示ス、但シ折射器光力ノ強弱ハ直接其等級ニノミ比準シ能ハサルモノナリ

一 光力ハ一千燭光ヲ單位トシテ之ヲ示ス

二千燭光以上ノ光力ハ最近半單位ヲ以テ示ス

例セハ二千燭光ヨリ二千二百五十燭光マテハ二千燭光ニ近キヲ以テ 2 ヲ以テ示シ、二千二百五十一燭光ヨリ二千七百五十燭光マテハ二千五百燭光ニ近キヲ以テ 2½ ヲ以テ示シ、又二千七百五十一燭光ヨリ三千二百五十燭光マテハ三千燭光ニ近キヲ以テ 3 ヲ以テ示ス

二千燭光未滿ハ最近四分一單位、一千燭光未滿ハ最近十分一單位ヲ以テ示ス、但シ一百燭光未滿ハ 1/10

弱トス

不 動 Fixed (F.) 一定ノ光力ヲ持續スルモノ

□ 燈 質

一 ナルカ若クハ稍長キヲ例トス

明 暗 Occulting (Occ.) 不動光ニシテ一定ノ間隙毎ニ俄然一回ノ全暗ヲ現スモノ但シ明間ハ暗間ト

同 一ナルカ若クハ稍長キヲ例トス

複連明暗 Group Occulting (Gp. Occ.) 不動光ニシテ一定ノ間隙毎ニ俄然二回以上ノ全暗ヲ現スモノ

互 光 Alternating (Alt.) 異色(概ネ紅白)ノ光ヲ交互ニ發シ其間ニ毫モ暗黒ヲ挾マサルモノ

閃 光 Flashing (Fl.) 單閃光ヲ閃發スルモノニシテ暗黒ノ存續ハ常ニ閃光ノ存續ヨリ長キモノ

閃 光 Alternating Flashing (Alt. Fl.) 閃光燈ニシテ異色ノ單閃光ヲ交互ニ發スルモノ

連 閃 光 Group Flashing (Gp. Fl.) 二個若クハ二個以上ノ閃光ヲ幾許カノ暗黒ヲ隔テ連發スルモノ

連 閃 交 光 Alternating Group Flashing (Alt. Gp. Fl.) 連閃燈ニシテ異色ノ閃光ヲ交フルモノ

聯 成 不 動 閃 光 Fixed and Flashing (F. Fl.) 閃光燈ニシテ暗黒ノ代リニ弱キ不動光ヲ存スモノ

急 閃 光 Quick Flashing (Qk. Fl.) 一分間ニ六十回以上ノ閃光ヲ急發スルモノ

□ 立標浮標位置

- 一 立標及浮標位置ハ經緯度ヲ以テ示ササル時ハ該標ヨリ其附近目標ノ概真方位又ハ夾角ヲ以テ之ヲ示ス
- 一 河川又ハ海峽ニ於テ左舷又ハ右舷ト曰フハ河口又ハ海口ヨリ水源ニ溯ル船ヨリ其左右ヲ稱ス
- 一 海峽又ハ内海ニ於ケル水源ノ區分ハ紛亂シ易キヲ以テ之ヲ左ニ示ス
- 一 内海ハ神戸港ヲ以テ水源トス

下關海峡ハ西口ヲ海口トシ東口ヲ水源トス
 八代海灣ハ長島海峡ヲ海口トシ三角港ヲ水源トス
 鳥原海灣ハ大託間島ヲ水源トス
 洲堆ハ水源ニ近キ方ヲ上端トシ遠キ方ヲ下端トス

□ 立標 種別

左舷障害立標	黒	色ニ塗ル	
右舷障害立標	紅	色ニ塗ル	
孤立障害立標	紅黒横線ニ塗ル		
水路中央立標	黒白縦線ニ塗ル		

□ 浮標 種別

種別	形状	目標	塗色	記事
左舷浮標	圓錐形	圓筒形	黒	奇數番號ヲ描ク
右舷浮標	圓錐形	三角形	紅	偶數番號ヲ描ク
洲ノ下端浮標	圓錐形	菱形	黒白横線	

圓柱形浮標ニシテ目標ヲ戴キタルモノヲ時宜ニヨリ碇置スルコトアルヘシ其着色等ハ碇置ニ應シテ示スモノトス

□ 注意

- 一 記事欄中看守員ヲ常置セストアルハ看守員カ標識ト隔リタル地點ニ於テ看守スルモノニテ萬一燈火消滅ノ場合其復舊ニ多少ノ時間ヲ要スヘキコトヲ示ス
- 一 霧信號ノ音達ハ大氣ノ狀況及地勢等ニ依リテ左ノ如キ事情アルカ故ニ霧信號ノミヲ過度ニ信賴スルコト能ハサルト共ニ鍾鉛探深ヲ怠ルヘカラサルコトヲ航海者ニ豫告ス又見張人ハ成ルヘク音響ノ聴取ヲ妨ケサル場所ヲ擇ヒ配置スルヲ要ス
- 一 音響ノ強弱及方向ニ依リテ霧信號所ノ方向及距離ヲ判知シ能ハサルコトアリ
- 一 高調低調ノ聯成霧笛ハ時トシテ其二音ノ一ヲ聴キ得サルコトアリ

洲ノ上端浮標	圓錐形	立五形	紅白横線	
孤立障害浮標	圓錐形	球形	紅黒横線	
水路中央浮標	圓錐形	圓筒形	黒白縦線	水路ノ中央ヲ示ス
沈船浮標			緑	一面ニ「沈船」他面ニ「Wreck」ト白書ス

- 一 霧信號所附近ニ於テモ時トシテハ音響ヲ聽キ得サル區域アルコトアリ
 - 一 海上ニ於テハ既ニ霧ノ發生アルモ其狀況ニ依リテハ霧信號所ヨリ之ヲ認識シ能ハサル爲メ霧信號ヲ開始セサルコトアリ
 - 一 霧ヲ認ムルモ發動機ヲシテ其活動ヲ始メシムル用意整フ迄ニハ多少ノ時間ヲ要スルコトアリ
 - 一 霧信號ノ音響ハ甲板ニテ聽クヲ得サルモ橋上ニテ之ヲ聽取シ得ルコトアリ
 - 一 無線測定方位ハ通常方位測定區域内ト雖モ岬角島嶼其他船舶等介在スル爲誤差ヲ生スルコトアルヘシ
 - 一 其年五月三十一日迄ニ告示又ハ公示濟ノモノ及同日迄ニ工事完了シタル航路標識ハ同日實施ノ運ヒニ至ラサルモノト雖モ本表ニ掲載シ、又其年五月三十一日以後本年發行迄ノ間ニ告示若ハ公示セラレ又ハ工事完了シタルモノハ成ルヘク之ヲ掲載スルコト、シタリ
 - 一 航路標識ノ改築、改造又ハ燈器ノ變更セラレタルモノハ其年若クハ其翌年發行ノ日本燈臺表ニ限リ其改築改造又ハ變更ノ年月日及事項ヲ記事欄ニ記載ス
 - 一 航路標識ハ逐時増減變更アルヲ以テ最新ノ燈臺表ヲ使用シ、尙各種告示其ノ他ノ公示ヲ參照スヘシ
 - 一 本表各航路標識記載事項カ實際ト相違セルモノアルヲ認知シタルトキハ速カニ左記ヘ通報アリタシ
- 樺太、北海道、本州、四國
九州、沖繩及關東半島沿岸
- 航路標識ニ關シテハ 燈臺局 (橫濱市中區北仲通六丁目)
電話 (二一〇三二一) 二一五九一八
(二一四六七〇)

新設

昭和九年六月一日以降昭和十年五月三十一日迄ニ新設又ハ撤廢セル航路標識左ノ如シ
但シ古ク建設セラレシモノ又ハ未告示ノモノモ便宜新設ノ部ニ編入ス

- | | | | |
|----|----|------------|---------------------|
| 朝鮮 | 沿岸 | ノ航路標識ニ關シテハ | 朝鮮總督府遞信局 (朝鮮京城) |
| 臺灣 | 沿岸 | ノ航路標識ニ關シテハ | 臺灣總督府交通局 (臺灣臺北) |
| 南洋 | 群島 | ノ航路標識ニ關シテハ | 南洋廳通信課 (パラオ諸島コロール島) |
- 江良港西防波堤、本泊港西防波堤、沙留港船洞防波堤、捫別港船洞南防波堤、様似港船洞南突堤(北海道上) ● 美々津港、博多港防波堤假設、滿珠島、新港港防波堤、神戸港東防波堤ノ一東、長部港北防波堤、長部港南防波堤、小濱港防波堤、東岩瀬港防波堤、横濱外防波堤南、横濱外防波堤北、油津港外防波堤、香住港防波堤(以上) ● 愛郎岬(樺太) ● 興南港、甘浦港南防波堤、九龍浦港防波堤頭部、城津貯木場防波堤(以上) ● 三貂角(臺灣) ● 瀬棚港南防波堤、雄武港北防波堤、三石港船洞西防波堤、燒尻港船洞北防波堤(以上) ● 大畑港南防波堤、愛知横須賀港、愛知横須賀港東防波堤北、宇品港、津居山港、津居山港防波堤、佐伯港葛防波堤、平館港北防波堤、半田港、北條港、德浦、千怒崎、宇野港假設第一號、宇野港假設第二號、赤泊港、柏崎港、松ヶ崎濱港、能生港、能生港小泊、三

概港防波堤、中ノ作港東防波堤(以上) ●楠溪町船入洞、元泊船入洞、烏舞高臺、榮通埋立地、榮通埋立地船入洞、真岡港本町岸壁、長濱船入洞、千歲岡、北本斗船入洞、野田港廣地船入洞、真岡北濱町船入洞、真岡北濱町舊船洞、真岡北濱町新船洞、遠淵、富内船入洞、知取船入洞、泊居船入洞、幌内川、蘭泊船入洞、榮濱船入洞(以上) ●甘井子第二埠頭、寺兒溝船溜北防波堤、寺兒溝船溜東防波堤(以上) ●於蘭鎮港西防波堤頭部、遮湖港(以上) ●球子山假(臺灣)

導 燈 ●室蘭驛岸壁、室蘭港、本輪西埠頭(北海道上) ●津久見港、直江津港(以上)

燈 標 ●甘井子第二埠頭(關東州) 丑山港假設(朝鮮)

燈 標 ●博多港假設(內地) ●城津漁港、西水瀧港防波堤、西水瀧港防砂堤(以上)

挂燈浮標 ●宇品港、名古屋港第七號、名古屋港第八號、廣島港假設第一號、廣島港假設第三號、宇野港假設第一號、宇野港假設第二號、中海大橋川口(以上) ●甘井子第六號、大連港口號、大連港八號、旅順港第一號(關東州) ●善尾島(朝鮮) ●高雄港第一、高雄港第二、桶盤嶼(以上)

立 標 ●大乘寺瀨、高瀨東、高瀨西、廣島港白至FA(以上) ●甘井子第二埠頭A、甘井子第二埠頭B(關東州)於蘭鎮港第一號、於蘭鎮港第二號、麗水港一番、麗水港二番、鴨綠江西水道

廢止又撤去

無線方位 ●清津、釜山、濟州、木浦、七發島、京城、鎮南浦(以上)

浮 標 ●大東溝第一號、鴨綠江西水道大東溝第二號、鴨綠江西水道黃草坪第二號(以上) ●トラツク港五番、同八番、クサイ港導標(南洋群島)

浮 標 ●室蘭港本輪西第一號、室蘭港本輪西第二號、室蘭港本輪西第三號(北海道上) ●宇品港(內地) ●大連港イ號、普蘭店港第四(關東州) ●鴨綠江本流第二十九號、真磯、海州、鴨綠江東水道第十四號、鴨綠江西水道第十六號(以上)

燈 臺 ●壇ノ浦(內地)

燈 竿 ●鹿兒島新波止場南、油津港假設(以上) ●群山港(朝鮮)

導 燈 ●西水瀧港假設、甘浦港假設、九龍浦假設(以上)

燈 標 ●德島港(內地)

挂燈浮標 ●橫濱港第二號、橫濱港第三號(以上) ●大連港ハ號(關東州) ●中心磯(臺灣)

立 標 ●高曾根(內地) ●鴨綠江西水道趙氏溝第二號(朝鮮)

浮 標 ●大連港イ號、大連港ロ號(關東州) ●鴨綠江本流第三十四號(朝鮮) ●高雄港第一、高雄港第二(以上)

航路標識ニ關スル法令拔抄

□ 刑

法 明治四十年四月二十四日
法律第四十五號

第二百二十五條 (第一項略)

燈臺又ハ燈標ヲ損壞シ又ハ其他ノ方法ヲ以テ艦船ノ往來ノ危險ヲ生セシメタルモノ亦同シ(二年以上ノ有期懲役ニ處ス)

第二百二十七條 第二百二十五條ノ罪ヲ犯シ(中略)艦船ノ覆没若クハ破壊ヲ致シタル者亦前條ノ例ニ同シ

第二百二十八條 (前略) 第二百二十五條(中略)未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二百二十九條 過失ニ因リ(中略)艦船ノ往來ノ危險ヲ生セシメ(中略)又ハ艦船ノ覆没若クハ破壊ヲ致シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

其業務ニ従事スル者前項ノ罪ヲ犯シタルトキハ三年以下ノ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

□ 航路標識條例

明治二十一年十月
勅令第六十七號

第一條 航路標識ハ航路ノ安寧ヲ保護スル爲メ政府ニ於テ之ヲ設置スルモノトス

第二條 土地ノ形狀又ハ狀況ニ由リテハ地方稅又ハ區町村費ヲ以テ航路標識ヲ設置スルコトヲ得此場合ニ於

テハ地方長官ニ於テ遞信大臣ノ許可ヲ受クヘシ

從來私設ノ航路標識ハ免許年間之ヲ繼續スルコトヲ得

遞信大臣ニ於テ前二項ノ航路標識不完全ニシテ危害アリト認メタルトキハ之ヲ變更又ハ撤去セシムルコトヲ得政府ニ於テ直接管理ヲ必要トスルトキハ相當ノ價格ヲ以テ第一項第二項ノ航路標識ヲ買上クル事ヲ得

第三條 航路標識ヲ損壞シ又ハ移轉シ又ハ其性質ヲ變更シ又ハ之ヲ蔽遮スヘキ行爲ヲ爲シ又ハ遞信大臣ノ指定シタル區域内ニ於テ航路標識ノ燈光若クハ警號ト誤認シ易キ行爲ヲ爲シタル者ハ十一日以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ二圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四條 航路標識ニ船筏其他ノ物ヲ繋キ又ハ衝突セシメ又ハ攀躋シ又ハ之ヲ汚穢シタル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

□ 遞信省訓令

明治二十一年十月
第十號

第一條 航路標識條例第二條第一項ニ依リ地方稅又ハ區町村費ヲ以テ航路標識ヲ設置セムトシ地方長官ニ於テ遞信大臣ノ許可ヲ請フトキハ左ノ書類ヲ具フヘシ

一 航路標識設置位置及其近傍實測地圖

二 航路標識圖面及其構造方法並費用調書

三 一個年間ニ入港スヘキ日本形船西洋形船員數及其石數噸數並其最大船舶石數又ハ噸數概算調書
其位置ヲ變更セムトスルトキハ第一項ノ書類又其性質ヲ變更セムトスルトキハ第二項ノ書類ヲ具シ遞信大
臣ニ經伺ノ上之ヲ變更スヘシ

第二條 前條航路標識ヲ設置シ若クハ其位置又ハ性質ヲ變更シ或ハ之ヲ停止若クハ廢止スルトキハ當省ヨリ
告示スヘキヲ以テ地方長官ハ豫メ其實施期限ヲ遞信大臣ニ報告スヘシ

第三條 船舶緊留等ノ爲メ棧橋又ハ埠頭ニ設置スル標識ハ航路標識ト誤認シ易キ虞アルヲ以テ其設置變更等
ハ凡テ地方長官ニ於テ遞信大臣ニ經伺ノ上若シ航路ニ障害アリト認ムルトキハ變更又ハ撤去ヲ命スヘキ趣
旨ヲ以テ之ヲ許可スヘシ

□ 公設航路標識業務規則 昭和七年八月五日
遞信省令第二十七號

第一條 道府縣又ハ市町村ノ管理スル航路標識(以下公設航路標識ト稱ス)ノ業務ハ特ニ定ムル場合ヲ除ク
ノ外本令ニ依リ之ヲ執行スヘシ

第二條 公設航路標識ニ於テハ晝標(燈火ヲ點セサル航路標識ニシテ霧信號ニ非サルモノヲ謂フ以下是ニ做
フ)ヲ除ク外看守長及一名以上ノ看守員ヲ置キ當該航路標識ノ業務ヲ執行セシムヘシ 但シ使用機器ノ種
類又ハ建設若ハ碇置場所ノ關係等ニ依リ燈臺局ノ認可ヲ受ケ看守長一名ノミヲ置キ又ハ附近航路標識ノ管

理ニ屬セシムルコトヲ得

第三條 看守長ハ當該航路標識ノ從業員ヲ監督シ諸般ノ事務ヲ掌理ス

看守長ハ燈臺局又ハ同局ノ指定スル燈臺ニ於テ看守業務ノ傳習ヲ受ケ成業シタルモノナルコトヲ要ス 但
シ同局ニ於テ特ニ其ノ必要ナキモノト認定シタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第四條 前條第二項ニ定ムル看守業務ノ傳習ヲ受ケ成業シタル者ニハ適任證ヲ付與ス

前條第二項但書ニ定ムル認定ヲ受ケタルモノニハ認定證ヲ付與ス

適任證及認定證ノ書式ハ別表ニ依ル

第五條 第三條ノ傳習期間ハ一ヶ月以上三ヶ月以内トス 但シ時宜ニ依リ伸縮スルコトアルヘシ

第六條 傳習ニ要スル一切ノ費用ハ本人若ハ當該道府縣市町村之ヲ負擔スルモノトス

第七條 看守長、看守員又ハ看守人ヲ採用シタルトキハ遲滞ナク燈臺局ニ届出ツヘシ之ヲ解免シタルトキ亦
同シ

前項ノ採用届ニハ履歷書ノ寫ヲ添付スヘシ看守長ニ付テハ適任證若ハ認定證ノ寫ヲモ添付スヘシ

第八條 公設航路標識用品中左ニ掲クルモノハ燈臺局ノ檢定又ハ認可ヲ經タルモノニ非サレハ之ヲ使用スル
コトヲ得ス
燈籠、燈器(但シ電球ヲ除ク)照光器、回轉裝置、點滅裝置、瓦斯發生裝置、浮標體、霧信號用機器

前項ニ依リ檢定又ハ認可ヲ經タル機器ニシテ其ノ要部ヲ修繕シ又ハ之ニ加工シタルトキ亦前項ニ同シ
 第九條 公設航路標識中夜標（燈火ヲ點スル航路標識ヲ謂フ）ニハ豫備燈器一組ヲ備付クヘシ 但シ同種ノ機器ヲ用フルニ基以上ノ航路標識ヲ管理スル場合ニ在リテハ二基ニ對シ豫備燈器一組ヲ以テ之ニ充ルコトヲ得

電燈ヲ光源トスル公設航路標識ニハ非常用トシテ適當ナル燈器ヲ備付クヘシ

第十條 公設航路標識業務ノ開始、廢止、休止又ハ標識異變ノ發生及復舊ハ其ノ都度燈臺局ヘ電報スヘシ

第十一條 公設航路標識外部ノ定色塗裝ハ褪色又ハ剝脫ノ爲認識困難トナラサル前ニ施行スヘシ

第十二條 浮標ハ常時其ノ位置及現狀ニ注意シ必要ニ應シ復舊交換又ハ修補スヘシ

第十三條 航路標識業務ニ關シ本令ニ規定ナキ事項ハ總テ燈臺局及同局派遣視察官吏ノ指示スル處ニ據ルヘシ

附 則

本令ハ昭和七年八月二十日ヨリ之ヲ施行ス

明治二十二年三月遞信省令第三號北海道府縣及區町村立航路標識看守條規ハ之ヲ廢止ス

従前ノ規定ニ依リ交付ヲ受ケタル證書ハ本令施行ノ日ヨリ六月以内ニ所持ノ證書ニ履歷書及

戸籍抄本ヲ添付燈臺局ヘ提出シ本令ノ定ムル證書ノ交付ヲ受クヘシ

(別表ノ一)
第 號

適 任 證

族 籍 氏 名

年 月 日 生

右者當局（當局所管何燈臺）ニ於テ航路標識看守業務傳習ヲ卒ヘタルヲ以テ何縣（道府

市町村）立何燈臺（標、竿）看守長ニ適任ノ者ナルコトヲ證ス

年 月 日

燈 臺 局 印

(別表ノ二)
第 號

認 定 證

族 籍 氏 名

年 月 日 生

右者何縣（道府市町村）立何燈臺（標、竿）看守長トシテ任用シ得ル者ト認定ス

年 月 日

燈 臺 局 印

朝鮮航路標識規則

大正七年十月十九日 昭和七年三月十四日
朝鮮總督府令第百號 朝鮮總督府令第三〇號

第一條 朝鮮ニ於ケル航路標識ハ航路ノ安寧ヲ保護スル爲メ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ設置ス

第二條 土地ノ狀況ニ因リ公共團體又ハ私人ノ費用ヲ以テ航路標識ヲ設置スルコトヲ得

前項ニ依リ航路標識ヲ設置セムトスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クヘシ設置者ヲ變更シ又ハ航路標識ノ位置若クハ性質ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第三條 航路標識ノ設置ノ許可申請書ニハ左ノ書類及圖面ヲ添付スヘシ

- 一 位置ヲ記載シタル書面
- 二 構造方法書
- 三 工事費概算書
- 四 工事設計圖
- 五 位置及附近ノ狀況ヲ示セル圖面
- 六 最近一年間ニ於ケル通過又ハ出入ノ船舶數調書
- 七 管理及維持方法書

航路標識ノ位置變更ノ許可申請書ニハ前項第一號及第五號ノ書類及圖面ヲ性質變更ノ許可申請書ニハ第二號乃至第四號及第七號ノ書類及圖面ヲ添付スヘシ

第四條 航路標識ノ設置又ハ變更ノ許可ヲ受ケタル者供用ヲ開始セムトスルトキハ其ノ期日十四日前ニ之ヲ

朝鮮總督府遞信局長ニ届出ツヘシ

第五條 第二條ノ航路標識ヲ停止又ハ廢止セムトスルトキハ其ノ期日ヲ定メ朝鮮總督府ノ許可ヲ受クヘシ

第六條 第二條ノ航路標識ノ看守ニ從事セシムル爲メ設置者ハ其ノ費用ヲ以テ看守員ヲ置クヘシ

前項ノ航路標識看守員ヲ採用シタルトキハ其ノ履歷書ヲ具シ朝鮮總督府遞信局長ニ届出ツヘシ

第七條 第二條ノ航路標識ニ於テ使用スル燈油其ノ他點燈用ノ消耗品ニ付テハ豫メ朝鮮總督府遞信局長ノ承認ヲ受クヘシ

第八條 朝鮮總督ニ於テ第二條ノ航路標識不完全ニシテ危險ノ虞アリト認ムルトキハ其ノ廢止、修理其ノ他必要ナル措置ヲ命スルコトアルヘシ

朝鮮總督府遞信局長ハ第二條ノ航路標識ニ付必要アリト認ムルトキハ検査官ヲ派遣シテ検査ヲ爲サシメ又ハ設置者ニ對シテ報告書ノ提出ヲ命スルコトヲ得

第九條 航路標識ヲ損壞シ若クハ移轉シ又ハ其ノ性質ヲ變更シ又ハ之ヲ蔽遮スヘキ行爲ヲ爲シ又ハ朝鮮總督ノ指定シタル區域内ニ於テ航路標識ノ燈光若クハ警號ト誤認シ易キ行爲ヲ爲シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十條 航路標識ニ舟筏其他ノ物ヲ繫留シ若クハ衝突セシメ又ハ攀躋シ若クハ之ヲ汚穢シタル者ハ科料ニ處ス

附 則
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮總督府告示 昭和八年一月二十六日 第二十二號

朝鮮西岸鴨綠江ニ出入スル船舶ハ航行上左ノ各號ニ付注意スルコトヲ要ス

大正六年朝鮮總督府告示第二百五十二號及昭和七年朝鮮總督府告示第三百十二號ハ之ヲ廢止ス

昭和八年一月二十六日

朝鮮總督 宇垣一成

- 一 本江水路ハ大潮又ハ増水ノトキ殊ニ夏季出水時ニハ水深並ニ沙堆ノ形態及位置ニ變化ヲ生スルコトアルコト
- 二 本江水路ハ平時ニ在リテモ屢變化スルコトアリ且最低潮時ニ於ケル水深〇・六米以下ノ箇所アルヲ以テ半潮時以上ニ達スルニ非サレハ航行困難ナルコト
- 三 本江水路ヲ航行セントスル船舶ハ左ニ掲クル吃水ヲ超エサルヲ可トスルコト
 - (一) 新義州港(又ハ安東縣)ニ至ル水路 高潮時ニ於テ吃水 二・七米
 - (二) 三道浪頭ニ至ル水路 同 三・三米
 - (三) 龍岩浦ニ至ル水路 同 四・〇米

(四) 大東構ニ至ル水路

同

四・九米

(五) 大多沙島錨地ニ至ル水路

低潮時ニ於テ吃水

三・六米

四 本江龍岩浦錨地ハ近時水深ヲ減少シタル結果船舶ノ碇泊困難ナルニ付此ノ附近ニ於テ錨泊セントスル船舶ハ他船ノ航行ヲ妨ケサルヤウ投錨スルコト

五 本江水路ニ於ケル浮標、立標及導標等ハ毎年結氷前(十一月中旬前後)一時之ヲ撤去シ解氷後(四月上旬前後)ニ至リ漸次之ヲ設置スルモノナルコト

六 本江水路ノ航路標識ハ風雨、潮浪其ノ他ノ事故ニ因リ移動スルコトアリ此ノ場合ニ於テハ減水シ又ハ風浪ノ風キタル後ニ至リ之ヲ復舊スルモノナルニ付復舊ニ多少ノ日時ヲ要スルモノナルコト

七 本江水路ニ變化ヲ生シタルトキハ隨時浮標、立標若ハ導標ノ位置ヲ移動シ又ハ其ノ増減變更ヲ爲ス場合アルコト

八 本江水路ニ於ケル航路標識ハ著シク其ノ位置、構造等ヲ變更シ又ハ増減シタル場合ニ限リ之ヲ告示スルモノナルコト

九 本江水路ノ變化又ハ浮標、立標若ハ導標等ノ流失若ハ毀損等ヲ發見シタル者ハ速ニ朝鮮總督府遞信局朝鮮總督府遞信局海事出張所又ハ地方官憲ニ之ヲ通報スルコト

十 本江水路ノ嚮導ヲ受ケントスル船舶ハ其ノ關係者又ハ船長ヨリ電報其ノ他ノ方法ヲ以テ水先人ノ乗込

ヲ要スル場所、日時、水路嚮導區域及出入別等ヲ其ノ二日前迄ニ安東縣六番通五丁目一番地鴨綠江水先人組合安東縣出張所ニ申込ミ水先人ヲ得ルノ便宜アルコト

□ 朝鮮總督府告示 大正二年十二月十七日 昭和七年六月八日 第三百十三號改正

朝鮮西岸大同江、廣梁灣及漢江ニ於ケル各航路ヲ航行スル船舶ハ左記各項ニ注意スヘシ

一 大同江、廣梁灣及漢江ニ於ケル各航路ノ挂燈浮標並浮標ハ毎年結氷中一時之ヲ撤去シ解氷後ニ至リ之ヲ碇置ス

一 大同江、廣梁灣及漢江ニ於ケル各航路標識ハ之ヲ新設若クハ撤廢シ又ハ燈質若クハ著シク位置等ノ變更シタル場合ヲ除クノ外之カ告示ヲ爲サス

□ 朝鮮總督府告示 昭和五年三月十二日 第四百六號

朝鮮南岸鎮海灣、加德水道、加德島北方水道、釜島水道及見乃梁海峽ニ付テハ馬山港ヲ水源ト定ム

□ 臺灣航路標識規則 明治三十一年五月二十一日 臺灣總督府令第二六號

第一條 臺灣ニ於ケル航路標識ハ航路ノ安寧ヲ保護スル爲メ臺灣總督府ニ於テ之ヲ設置スルモノトス

第二條 土地ノ形狀又ハ情況ニ依リ一個人又ハ共同團體ノ費用ヲ以テ航路標識ヲ設置セムトスルトキハ地方

長官ヲ經由シ臺灣總督ノ許可ヲ受クヘシ但シ船舶ニ對シ其費用ヲ徵收スルコトヲ許サス

臺灣總督ニ於テ前項ノ航路標識不完全ニシテ危害アリト認メタルトキハ之ヲ變更シ又ハ撤去セシムルコトアルヘシ

臺灣總督府ニ於テ直接管理ヲ必要トスルトキハ相當ノ價格ヲ以テ前項ノ航路標識ヲ買上ルコトアルヘシ

第三條 標識ヲ損壞シ又ハ移轉シ又ハ其ノ性質ヲ變更シ又ハ之ヲ蔽遮スヘキ所爲ヲ爲シ又ハ臺灣總督ノ指定シタル區域内ニ於テ航路標識ノ燈光若クハ警號ト誤認シ易キ所爲ヲ爲シタル者ハ一年以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四條 航路標識ニ舟筏其他ノ物ヲ繫キ又ハ衝突セシメ又ハ攀躋シ又ハ之ヲ汚穢シタルモノハ一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

□ 南洋群島航路標識規則 大正十四年十月二十三日 南洋廳令第十三號

第一條 南洋群島ニ於ケル航路標識ハ航路ノ安寧ヲ保護スル爲メ南洋廳ニ於テ之ヲ設置ス

第二條 土地ノ狀況ニ依リ官以外ノ者ノ費用ヲ以テ航路標識ヲ設置セムトスルトキハ所轄支廳長ヲ經由シテ南洋廳長官ノ許可ヲ受クヘシ其位置又ハ性質ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

南洋廳長官ニ於テ前項ノ航路標識不完全ニシテ危害アリト認メタルトキハ之ヲ變更又ハ撤去セシムル事アルヘシ
第三條 前項ノ航路標識ヲ停止又ハ廢止セムトスルトキハ其期日ヲ定メ所轄支廳長ヲ經由シテ南洋廳長官ニ
届出ツヘシ

第四條 航路標識ヲ損壞シ若クハ移轉シ又其性質ヲ變更シ又ハ之ヲ蔽遮スヘキ所爲ヲ爲シ又ハ南洋廳長官ノ
指定シタル区域内ニ於テ航路標識ノ燈光ト誤認シ易キ所爲ヲ爲シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ二百圓以下
ノ罰金ニ處ス

第五條 航路標識ニ舟筏其他ノ物ヲ繫キ若クハ衝突セシメ又ハ攀躋シ若クハ之ヲ汚穢シタル者ハ拘留又ハ科
料ニ處ス

□ 無線方位測定規則

昭和八年十二月二十九日
逕信省令第六十一號

注意 (一) 内ニ朝鮮無線方位測定規則

昭和十年三月十三日
朝鮮總督府令第四十號

中相違ノ點ヲ照記ス

第一章 總 則

第一條 電波ノ發射ニ依リ行フ方位測定業務ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 方位測定業務ヲ分チテ左ノ二種トス

一 無線羅針業務 船舶無線電信ト無線方位測定機ノ裝置ヲ有スル陸上無線電信以下無線羅針局ト稱ストノ間ノ方位測

定ニ關スル通信

二 無線標識業務

標識符號ヲ發射スル目的ヲ以テ施設シタル無線標識施設以下無線標識ト稱スノ業務及無線方位

測定機ノ裝置ヲ有スル船舶無線電信ト無線電信ノ裝置ヲ有スル無線標識以下無線標識ト稱ス又

ハ船舶無線電信ト通信ノ目的ヲ以テ施設シタル陸上無線電信ニシテ無線羅針局若ハ無

線標識局ニ非サルモノ以下陸上無線電信ト稱ストノ間ノ方位測定ニ關スル通信

第三條 方位測定業務ニ使用スヘキ電波ノ型式及周波數ハ特ニ指定シタル場合ヲ除クノ外原則トシテ左ノ區

別ニ依ルヘシ

一 無線羅針業務

(イ) 船舶無線電信ヨリ無線羅針局ニ對スル呼出及方 當該無線羅針局ノ聽守電波

位測定ノ請求

(ロ) 船舶無線電信ニ於テ方位測定ニ供スル符號ノ送 A 二又ハB電波三七五ke

信其ノ他

三七五keノ周波數ヲ發射シ得サル
モノハ五〇〇keノ周波數ヲ以テ之
ニ代フルコトヲ得

(ハ) 無線羅針局ニ於テ船舶無線電信ヨリノ呼出又ハ
方位測定ノ請求ニ對スル應答其ノ他方位測定ノ
結果ノ傳送

當該無線羅針局ニ割當テタル電波

二 無線標識業務

(イ) 無線標識ヨリ標識符號ノ發射

A 一又ハA 二電波二八五kc 乃至三一五kc ノ周波數帶ニ於テ當該無線標識ニ割當テタル周波數

(ロ) 船舶無線電信ヨリ無線標識局又ハ陸上無線電信ニ對スル呼出及標識符號送信ノ請求

當該無線標識局又ハ陸上無線電信ノ聽守電波

(ハ) 無線標識局又ハ陸上無線電信ニ於テ船舶無線電信ヨリノ呼出又ハ標識符號送信ノ請求ニ對スル應答其ノ他標識符號ノ送信

無線標識局ニ在リテハA 一又ハA 二電波二八五kc 乃至三一五kc ノ周波數帶ニ於テ當該無線標識局ニ割當テタル周波數、陸上無線電信ニ在リテハ當該陸上無線電信ニ於テ通常通信ニ使用スル電波

第四條 無線羅針局ニ關スル左ノ事項ハ別ニ之ヲ告示ス

一名 稱

二 呼出符號

三 位 置

受信空中線及發射空中線

場合ニ依リ第四號ノ主無線羅針局ノ發射空中線

第四號ノ副無線羅針局ナルトキハノ地理的位置ヲ

四 船舶無線電信ト交信ヲ爲ササル無線羅針局

以下副無線羅針局ト稱ス

ナルトキハ副無線羅針局ニ於ケル方位測定ニ關

シ船舶無線電信ト交信ヲ爲ス無線羅針局以下主無線羅針局ト稱スノ名稱及呼出符號

五 聽守電波ノ型式及周波數

- 六 測定電波ノ型式及周波數 船舶無線電信ニ於テ方位測定ニ供スル符號ノ送信ニ使用スヘキ電波ノ型式及周波數以下同シ
 - 七 方位通知電波ノ型式及周波數 無線羅針局ニ於テ船舶無線電信ニ對シ方位測定ノ結果ノ傳送ニ使用スヘキ電波ノ型式及周波數以下同シ
 - 八 通常方位測定區域 通常方位ノ測定ヲ爲シ得ヘキ海上ニ於ケル區域ヲ方位及距離ヲ以テ表ハス以下同シ
 - 九 其ノ他必要ナル事項
- 第五條 無線標識、無線標識局及無線標識業務ヲ取扱フ陸上無線電信ニ關スル左ノ事項ハ別ニ之ヲ告示ス
- 一名 稱
 - 二 呼出符號
 - 三 位 置 發射空中線ノ地理的位置ヲ經緯度ヲ以テ表ハス
 - 四 發射電波ノ型式及周波數
 - 五 聽守電波ノ型式及周波數
 - 六 標識符號
 - 七 無線標識ニ於ケル標識符號ノ發射ニ關シ船舶無線電信ト交信ヲ爲ス連絡無線電信アルトキハ其ノ名稱及呼出符號

八 通常方位測定區域
九 其ノ他必要ナル事項

第六條 無線羅針局又ハ無線方位測定機ノ裝置ヲ有スル船舶無線電信ニ於テ私設無線電信無線電話規則第六十條ニ依ル發信ヲ認メタルトキハ直ニ方位測定ヲ爲シタル上其ノ結果ヲ船長及救助上最便宜ノ位置ニ在ル他ノ無線電信ニ通知 船舶無線電信ニ在リテハ自己ノ位置ヲ添送スヘシ スヘシ

第七條 本令中船舶無線電信ニ關スル規定ハ航空機無線電信ニ付之ヲ準用ス但シ使用電波ノ型式及周波數ニ付テハ原則トシテ左ノ區別ニ依ルヘシ

一 無線羅針業務

(イ) 航空機無線電信ヨリ

無線羅針局ニ對スル呼出及方位測定ノ請求

當該無線羅針局ノ聽守電波

(ロ) 航空機無線電信ニ於テ方位測定ニ供スル符號ノ

A 一又ハA 二電波三三三三ke

送信其ノ他

(ハ) 無線羅針局ニ於テ航空機無線電信ヨリノ呼出又

ハ方位測定ノ請求ニ對スル應答其ノ他方位測定

當該無線羅針局ニ割當テタル電波

ノ結果ノ傳送

二 無線標識業務

(イ) 無線標識ヨリ標識符號ノ發射

A 一又ハA 二電波一九四ke 乃至三六五ke ノ周波數帶ニ於テ當該無線標識ニ割當テタル周波數

(ロ) 航空機無線電信ヨリ無線標識局又ハ陸上無線電信ニ對スル呼出及標識符號送信ノ請求

當該無線標識局又ハ陸上無線電信ノ聽守電波

(ハ) 無線標識局又ハ陸上無線電信ニ於テ航空機無線電信ヨリノ呼出又ハ方位測定(標識符號送信)ノ請求ニ對スル應答其ノ他標識符號ノ送信

無線標識局ニ在リテハA 一又ハA 二電波一九四ke 乃至三六五ke ノ周波數帶ニ於テ當該無線標識局ニ割當テタル周波數、陸上無線電信ニ在リテハ當該陸上無線電信ニ於テ通常通信ニ使用スル電波

第八條 本令ニ規定ナキ事項ハ一般ノ無線電信通信方法ニ關スル規定ニ依ルヘシ

第二章 無線羅針業務

第九條 船舶無線電信ニ於テ無線羅針局ニ對シ方位測定ノ請求ヲ爲サントスルトキハ該無線羅針局ノ通常方位測定區域内ニ入りタルトキ之ヲ爲スヘシ

第十條 船舶無線電信ニ於テ無線羅針局ニ對シ方位測定ノ請求ヲ爲サントスルトキハ該無線羅針局ヲ呼出シ其ノ呼出ニ引續キ左ノ區別ニ從ヒ之ニ該當スル事項ヲ略符號ヲ以テ送信スヘシ此ノ場合船舶無線電信ニ於テ該無線羅針局ノ測定電波ニ非サル電波ヲ以テ方位測定ニ供スル符號ヲ送信セントスルトキハ該略符號ノ次ニ使用電波ノ型式及周波數ヲ送信スヘシ

一 當該無線羅針局ニ對シ直接方位測定ノ請求ヲ爲ストキ

區

別

事

項

當船ノ眞方位如何

略符號

- 二(三) 主無線羅針局及副無線羅針局ニ依ル方位測定ノ請求ヲ爲ストキ 貴局ノ宰領スル無線羅針局ヨリノ當船ノ眞方位如何 Q T E ?
- 三(二) 主無線羅針局又ハ副無線羅針局ノミニ依ル方位測定ノ請求ヲ爲ストキ 、、、、(呼出符號)ヨリノ當船ノ眞方位如何
- 四 主無線羅針局及副無線羅針局ニ依ル位置測定ノ請求ヲ爲ストキ 貴局ノ宰領スル無線羅針局ノ爲シタル測定ニ基ク當船ノ位置ヲ示サレタシ Q T F ?

第十一條 船舶無線電信ニ於テ主無線羅針局又ハ副無線羅針局ノミニ對シ方位測定ノ請求ヲ爲サントスルトキハ其ノ主無線羅針局ヲ呼出シ之ニ前條ノ方法ニ依リ必要ノ事項ヲ送信スヘシ此ノ場合ニ於テハ略符號「Q T E ?」ノ次ニ該無線羅針局ノ呼出符號ヲ添信スヘシ

第十二條 船舶無線電信ニ於テ二以上ノ無線羅針局〔主無線羅針局ヲ同シ〕ニ對シ方位測定ノ請求ヲ爲サントスル場合各無線羅針局ノ聽守電波同一ナルトキハ事情ノ許ス限リ各局ヲ一括呼出シタル上同時ニ方位測定ヲ爲サシムヘシ

第十三條 主無線羅針局ニ於テ船舶無線電信ヨリ方位測定ノ請求ヲ受ケタルトキハ自局限リ測定ヲ爲スヘキ場合ヲ除ク外副無線羅針局ニ對シ方位測定ノ準備ヲ爲スヘキ旨ヲ通知スヘシ
副無線羅針局ニ於テ主無線羅針局ヨリ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ方位測定ノ準備ヲ完了シ其ノ旨ヲ

主無線羅針局ニ通知スヘシ

第十四條 無線羅針局ニ於テ船舶無線電信ヨリ方位測定ノ請求ヲ受ケタル場合ニ於テ測定ノ準備ヲ完了シタルトキハ該船舶無線電信ニ對スル應答ニ際シ方位測定ニ供スル符號ヲ送信スヘキ旨〔可送符號下ヲ添送ス〕ヲ通知スヘシ
第十二條ニ依リ一括呼出ヲ受ケタル無線羅針局ハ其ノ呼出符號ノ「アルファベット」順ニ從ヒ前項ノ方法ニ依リ通知スヘシ

第十五條 船舶無線電信ニ於テ無線羅針局ニ對シ方位測定ニ供スル符號ノ送信ヲ爲サントスルトキハ所定ノ電波ニ依リ該無線羅針局ニ於ケル方位測定上必要ナル最少限度ノ電力ヲ以テ自己ノ呼出符號ヲ其ノ長點ヲ稍長クシテ五十秒間反覆送信スヘシ

第十六條 副無線羅針局ニ於テ方位測定ヲ爲シタルトキハ其ノ結果ヲ直ニ主無線羅針局ニ通知スヘシ

第十七條 無線羅針局ニ於テ方位測定ノ結果ヲ船舶無線電信ニ通知セントスルトキハ當該無線羅針局〔方位測定ヲ爲シタル無線羅針局〕所在地ノ地方標準時ニ依リ「〇〇〇一(午前〇時一分)」ヨリ「二四〇〇(午後十二時)」ニ至ル四位ノ數字ヲ以テ表ハス方位測定時刻ヲ送信シ之ニ引續キ左ノ區別ニ從ヒ之ニ該當スル事項ノ略符號及「〇〇〇」ヨリ「三五九」ニ至ル三位ノ數字ヲ以テ表ハス當該無線羅針局〔方位測定ヲ爲シタル無線羅針局〕ヨリノ眞方位又ハ經緯度ヲ以テ表ハシタル地理的位置ヲ送信スヘシ

第二十六條 前條ノ請求ヲ受ケタル陸上無線電信ニ於テ標識符號ノ送信ヲ爲サントスルトキハ第二十三條ノ方法ニ準シ船舶無線電信ニ於ケル方位測定上必要ナル最少限度ノ電力ヲ以テ之ヲ送信スヘシ

第二十七條 船舶無線電信ニ於テ濃霧等ニ際シ衝突ヲ豫防スル目的ヲ以テ其ノ附近ニ在ル船舶無線電信ニ對シ自己ノ所在ヲ知ラシメントスルトキハ附近船舶無線電信ニ於ケル方位測定上必要ナル最少限度ノ電力ヲ以テ自己ノ呼出符號、位置、針路、速力其ノ他必要ト認ムル事項ヲ其ノ前後ニ「Q T M」ノ略符號ヲ附シ且各送信符號ノ長點ヲ稍長クシテ送信スルコトヲ得

附 則

本令ハ昭和九〔十〕年 一〔三〕月 一〔十五〕日 ヨリ之ヲ施行ス

昭和二年五月遞信省令第十四號無線方位測定通信規則ハ之ヲ廢止ス

無線電報取扱規程

明治四十一年四月九日 遞信省公達第三四一號

昭和八年十二月二十九日 遞信省公達第七七八號改正

抜抄

第七十二條 船舶航行上ノ危険警戒ニ必要ナル事項ノ通報ヲ受ケ又ハ其ノ危険警戒ニ必要ナル事實ヲ認識シタルトキハ通報ノ出所及日時ヲ明ラカニシテ自局通信圈ニ在ル各艦船ニ之ヲ放送スヘシ

前項ノ放送ハA二又ハB電波五百「キロサイクル」ノ周波數ヲ以テ該通報ヲ入手シタル即刻沈黙時間中ナルト左ノ事項ヲ順次送信シタル上通報ノ種類(例、水、遺棄、物、暴風雨等)ヲ冠シ該通報ヲ二回送信シ且次ノ沈黙時間ノ終末ニ

於テ更ニ二回送信シテ之ヲ行フヘシ

- 一 安全符號 三 回
- 二 自局名前置符號 一 回
- 三 自局呼出符號 三 回

(參照) 安全符號

(同上規程第四五條)

無線電信ニ依ル航行警報放送

昭和八年十二月二十九日 遞信省告示第二、九六九號

昭和九年一月一日ヨリ左記ニ依リ水路告示中緊急ヲ要スル事項及船舶航行上ノ危険警戒ニ必要ナル事項ヲ無線電信ニ依リ放送ス

大正三年十二月遞信省告示第八百三十六號及大正十五年一月遞信省告示第百十七號ハ之ヲ廢止ス

一 放送事項、時刻及周波數

無線電信	放 送 事 項	放 送 時 刻	放 送 周 波 數
東京無線電信局	一 水路告示中緊急ヲ要スル事項 二 航路標識ノ設置改廢又ハ事故ニ關シ緊急ヲ要スル事項 三 航路ノ變化又ハ暗礁ニ關スル事項 四 遺棄物漂流物流水又ハ難破船ニ關スル事項 五 其ノ他船舶航行上ノ危険警戒ニ必要ナル事項	午後九時五分	A一電波三九kc 但シ場合ニ依リ三六・五kcノ周波數ニ依リ放送スルコトアルヘシ



船 船 無 線 電 信	海 岸 局 (東京、銚子 及長崎ヲ除 ク)	無 線 電 信 局 及 銚 子 無 線 電 信 局	暴風警報	暴風警報	暴風警報	暴風警報
			午後九時五分	午後九時五分	午後九時五分	午後九時五分
當該船ニ於テ發見シタル航路標識ノ事故、航路ノ變化、暗礁、遺棄物、漂流物、流水又ハ難破船ニ關スル事項及氣象ノ急激ナル變化其ノ他船舶航行上ノ危險警戒ニ必要ナル事項	一水路告示中緊急ヲ要スル事項 二航路標識ノ設置改廢又ハ事故ニ關シ緊急ヲ要スル事項 三航路ノ變化又ハ暗礁ニ關スル事項 四遺棄物、漂流物、流水又ハ難破船ニ關スル事項 五暴風警報 六其ノ他船舶航行上ノ危險警戒ニ必要ナル事項	一水路告示中緊急ヲ要スル事項 二航路標識ノ設置改廢又ハ事故ニ關シ緊急ヲ要スル事項 三航路ノ變化又ハ暗礁ニ關スル事項 四遺棄物、漂流物、流水又ハ難破船ニ關スル事項 五暴風警報 六其ノ他船舶航行上ノ危險警戒ニ必要ナル事項	午後九時五分	午後九時五分	午後九時五分	午後九時五分
午後九時十八分	午後九時十八分	午後九時十八分	午後九時十八分	午後九時十八分	午後九時十八分	午後九時十八分
A二又ハB電波五〇〇ke	A二又ハB電波五〇〇ke	A二又ハB電波五〇〇ke	A二又ハB電波五〇〇ke	A二又ハB電波五〇〇ke	A二又ハB電波五〇〇ke	A二又ハB電波五〇〇ke

二用 語

(イ) 放送事項ハ別ニ定ムル場合ヲ除クノ外歐文ヲ使用ス但シ外國船舶無線電信ニ於テ受信ヲ必要ト

三 放 送 方 法

左ノ事項ヲ順次放送ス

- (イ) 安全符號 (T T T) 三回
- (ロ) 前置符號 (D E) 一回
- (ハ) 自己呼出符號 三回
- (ニ) 通報ノ種類 (航海、暴風雨、遺棄物、水等) 一回
- (ホ) 本文符號 (和文ニ在リテハBDQ、
歐文ニ在リテハBTT) 一回
- (ヘ) 通報事項 一回
- (ト) 結了符號 (———) 一回

四 放送事項記載例

(一) 航海

航海ニ高瀬燈臺ハ修理ノ爲一月三日ヨリ休燈中ナリ

Navigation = Takase Lighthouse is closed for repairs since Jan 3

(二) 暴風警報 (別ニ定ムルモノヲ除ク)

(イ) 颱風 = 「天洋丸報」南東ニ在ル颱風ハ北方ヨリノ風力ヲ増シ晴雨計ハ急速ニ降下シツツアリ位置北二三二二東一七二四〇、十二日グリニツヂ〇三〇〇

Typhoon = Tenyomaru reports quote Typhoon to SE wind increasing from N and barometer falling rapidly position 2312 N17240 E 0300 GMT 12 unquote

(ロ) 暴風雨 = ハリケーン接近ノ模様ナリ晴雨計修正二九六四ニシテ降下シツツアリ風北東風力八北東ヨリノウネリ普通ニシテ雨ヲ伴フ頻繁ナルスコールアリ針路三十五度船速九節北二二〇〇東一三八三六、十四日グリニツヂ一三三〇

Storm = Appearances indicate approach of hurricane barometer corrected 2964 inches falling wind NE force 8 swell medium from NE frequent rain squalls course 359 knots 2200 N 13836 E 1330 GMT 14

(三) 遺棄物

遺棄物 = 水面上僅カニ見ユル遺棄物アリ北四〇〇六東一六五〇五、二十一日グリニツヂ一六三〇

Derelict = Observed derelict almost submerged in 4006 N 16505 E 1630 GMT 21

(四) 流氷

氷 = 大ナル氷山アリ北四六〇五東一六一一〇、三十日グリニツヂ〇八〇〇

Ice = Large berg sighted in 4605 N 16110 E 0800 GMT 30

備考

放送事項ハ原則トシテ和文百五十字以内歐文三十語以内ニ限ルモノトス

〔参照〕

大正三年十二月通信省告示第八百三十六號ハ銚子無線電信局及大連無線電信局ニ於ケル無線電信ニ依ル暴風警報放送ノ件又大正十五年一月通信省告示第十七號ハ東京無線電信局ニ於ケル無線電信ニ依ル航行警報放送ノ件ナリ

□ 無線電信ニ依ル航行警報放送ニ關シ電務局長通牒 大正十五年一月二十七日 電業第七十二號

前略

二、東京無線電信局ニ於テ燈臺局又ハ其ノ他ノ官廳水路部ヲ除クヨリ船舶航行上ノ危険警戒ニ必要ナル事項ノ通

知ヲ受ケタルトキ又ハ第三號ニ依リ海岸局ヨリ通知ヲ受ケタル事項中特ニ緊急ヲ要スト認ムルモノア

ルトキハ之ニ其ノ出所ヲ明ニスル辭句ヲ冠シ前號ニ準シ當該時刻ニ放送スヘキ水路告示アルトキハ之ニ引續キ放送スルコト

三、海岸局ニ於テ自ラ認識シ又ハ船舶無線電信若クハ官廳水路部ヲ除クヨリ船舶航行上ノ危険警戒ニ必要ナル事

項ノ通知ヲ受ケタルトキハ無線電報取扱規程第七十二條ニ依リ自局ヨリ放送スルノ外東京無線電信局
 へ無料局報ヲ以テ之ヲ通知スルコト

四、略

五、船舶局ニ於テ無線電報取扱規程第七十二條ニ依ル放送ヲナシタルトキハ直ニ其ノ要領ヲ最寄海岸局ニ
 通報スルコト

下 畧

朝鮮總督府告示 昭和十年四月八日 第二百二十四號

昭和十年四月十日ヨリ海岸局及船舶無線電信ニ於テ左記ニ依リ水路告示中緊急ヲ要スル事項其ノ他船舶航
 行上ノ危険警戒ニ必要ナル事項ヲ無線電信ニ依リ放送ス

一 放送事項、放送時刻及使用電波

無線電信ノ區別	放送事項	放送時刻	使用電波	
			型式	周波數ke
京城無線電信局	一 水路告示中緊急ヲ要スル事項	通報入手ノ即刻(沈黙時間中ナルトキハ其ノ終末)及次ノ沈黙時間ノ終末	A	二
	二 航路標識ノ設置、改廢又ハ事故ニ關シ緊急ヲ要スル事項	同上	A	二
	三 航路ノ變化又ハ暗礁ニ關スル事項	同上	A	二
	四 遺棄物、漂流物、流水又ハ難破船ニ關スル事項	同上	A	二
	五 暴風警報	午後五時十八分	A	二
	六 其ノ他船舶航行上ノ危険警戒ニ必要ナル事項	午後九時二十分	A	二
暴風警報		午後九時二十分	A	二

船舶無線電信	海(京)城(除ク)局	使用電波	
		型式	周波數ke
船舶無線電信	一 水路告示中緊急ヲ要スル事項	通報入手ノ即刻(沈黙時間中ナルトキハ其ノ終末)及次ノ沈黙時間ノ終末	A
	二 航路標識ノ設置、改廢又ハ事故ニ關シ緊急ヲ要スル事項	同上	A
	三 航路ノ變化又ハ暗礁ニ關スル事項	同上	A
	四 遺棄物、漂流物、流水又ハ難破船ニ關スル事項	同上	A
	五 暴風警報	午後五時十八分	A
	六 其ノ他船舶航行上ノ危険警戒ニ必要ナル事項	午後九時十八分	A
船舶無線電信	當該船舶ニ於テ發見シタル航路標識ノ事故、航路ノ變化、暗礁、遺棄物、漂流物、流水又ハ難破船ニ關スル事項及氣象ノ急激ナル變化其ノ他船舶航行上ノ危険警戒ニ必要ナル事項	通報入手ノ即刻(沈黙時間中ナルトキハ其ノ終末)及次ノ沈黙時間ノ終末	A
	同上	同上	A
	同上	同上	A
	同上	同上	A
	同上	午後五時十八分	A
	同上	午後九時十八分	A

二 用語

- (イ) 放送事項ハ別ニ定ムル場合ヲ除クノ外歐文ヲ使用ス但シ外國船舶無線電信ニ於テ受信ヲ必要トセサル事項ニ付テハ和文ヲ使用スルコトアルヘシ
- (ロ) 京城無線電信局ニ於テ午後九時二十分ニ放送スヘキ暴風警報ハ中央氣象臺ヨリ發スル暴風警報(和文)ヲ英語ニ翻譯シテ放送スルモノトス

三 放送方法

- 左ノ事項ヲ順次放送ス
- (イ) 安全符號 ————— 三 回
- (ロ) 前置符號 ————— 一 回

- (ハ) 自己呼出符號 三回
- (ニ) 通報ノ種類 (航海、暴風雨、遺棄物、氷等) 一回
- (ホ) 本文符號 (和文ニ在リテハ、
歐文ニ在リテハ) 一回
- (ヘ) 通報事項 一回
- (ト) 結了符號 一回

四 放送事項記載例

(一) 航海

航海 七發島燈臺ハ修理ノ爲一月三日ヨリ休燈中ナリ

Navigation = Shichihatsuto Lighthouse is closed for repairs since Jan 3

(二) 暴風警報 (別ニ定ムルモノヲ除ク)

(イ) 颱風 「平安丸報」南東ニ在ル颱風ハ北方ヨリノ風其ノ風力ヲ増シ晴雨計ハ急速ニ降下シツ、アリ位置北二三一二東一七二四〇、十二日グリニツヂ〇三〇〇

Typhoon = Heianmaru reports quote typhoon to SE wind increasing from N and barometer falling rapidly position 2312 N 17240 E 0300 GMT 12 unquote

(ロ) 暴風雨 ハリケーン接近ノ模様ナリ晴雨計修正二九六四ニシテ降下シツ、アリ風北東風

カ八北東ヨリノウネリ普通ニシテ雨ヲ伴フ頻繁ナルスコールアリ針路三十五度
船速九節北二二〇〇東一三八三六、十四日グリニツヂ一三三三〇

Storm = Appearances indicate approach of hurricane barometer corrected 2964 inches falling
wind NE force 8 swell medium from NE frequent rain squalls course 35 9
knots 2200 N 13836 E 1330 GMT 14

(三) 遺棄物

遺棄物 水面上僅ニ見ユル遺棄物アリ北四〇〇六東一六五〇五、二十一日グリニツヂ一六三三〇

Derelict = Observed derelict almost submerged in 4006 N 16505 E 1630 GMT 21

(四) 流氷

氷 大ナル氷山アリ北四六〇五東一六一一〇、三十日グリニツヂ〇八〇〇

Ice = Large berg sighted in 4605 N 16110 E 0800 GMT 30

備考

放送事項ハ原則トシテ和文百五十字以内、歐文三十語以内ニ限ルモノトス

□ 船舶通航 潮流 信 號 規 程 明治四十二年七月十七日 逓信省告示第六百七十三號

一 船舶通航信號ハ信號所ノ附近ニ於ケル船舶ノ動靜ニ關シ之ヲ爲ス但シ各信號所ニ付テ特ニ定ムル場合縦

帆ノミヲ装置スル帆船カ群走セサル場合及櫓權ヲ以テ運轉スル船ニ關スル場合ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
 二 船舶通航信號ハ左ノ三種ニ別テ晝間ニ在テハ黒色ノ船舶通航信號塔ニ白色ノ記號ヲ表示シ夜間ニ在テハ
 該塔ニ燈ヲ掲ケテ之ヲ示ス〔附圖參照〕

第一種 晝間ニ在テハ前塔ニ圓形ヲ表示シ夜間ニ在テハ該塔ニ不動白色燈ヲ掲クルモノ

第二種 晝間ニ在テハ中央塔ニ三角形ヲ表示シ夜間ニ在テハ該塔ニ明暗紅色燈ヲ掲クルモノ

第三種 晝間ニ在テハ後塔ニ方形ヲ表示シ夜間ニ在テハ該塔ニ不動紅色燈ヲ掲クルモノ

塔前ト稱スルハ信號所見張所ノ上部ニ在ルモノ、中央塔ト稱スルハ前塔ノ後方ニ在ルモノ、後塔ト稱ス
 ルハ最後ニ在ルモノヲ謂フ

三 潮流信號ハ左ノ四種ニ分テ晝間ニ在テハ白色柱ノ頂ニ於テ一端ニ紅色圓形板、他端ニ黒色矩形板ヲ有ス
 ル白色桿ノ位置ヲ轉換シ夜間ニ在テハ白色ノ潮流信號塔ニ燈ヲ掲ケテ之ヲ爲ス〔附圖參照〕

第一種 晝間ニ在テハ短形板ヲ上端トシテ桿カ約三十度ニ傾斜シ夜間ニ在テハ白色不等分明暗燈ヲ掲
 クルモノ

第二種 晝間ニ在テハ矩形板ヲ上端トシテ桿カ約七十度ニ傾斜シ夜間ニ在テハ白色等分明暗燈ヲ掲ク
 ルモノ

第三種 晝間ニ在テハ圓形板ヲ上端トシテ桿カ約三十度ニ傾斜シ夜間ニ在テハ紅白不等分明暗燈ヲ掲

クルモノ
 第四種 晝間ニ在テハ圓形板ヲ上端トシテ桿カ約七十度ニ傾斜シ夜間ニ在テハ紅白等分明暗燈ヲ掲ク
 ルモノ

四 潮流信號ハ同方向ノ潮流カ流レ始メテヨリ流レ止ムマテノ間ニ於テ最初ノ約三分ノ一ニ相當スル期間ヲ
 初期、次ノ約三分ノ一ニ相當スル期間ヲ中央期、最後ノ約三分ノ一ニ相當スル期間ヲ末期トシテ之ヲ爲ス
 五 信號機ノ故障其他ノ事由ニ依リ信號ヲ爲スコトヲ得サルトキハ左ニ定ムル所ニ從ヒ信號ヲ爲ス
 船舶通航信號ヲ爲スコトヲ得サルトキ

晝間 Wノ信號ヲ旗竿ニ掲ク

夜間 紅燈一箇ヲ前後ノ各信號塔ニ掲ク

潮流信號ヲ爲スコトヲ得サルトキ

晝間 圓形板ヲ上端トシテ桿ヲ直立ス

夜間 綠燈一箇ヲ潮流信號塔ニ掲ク

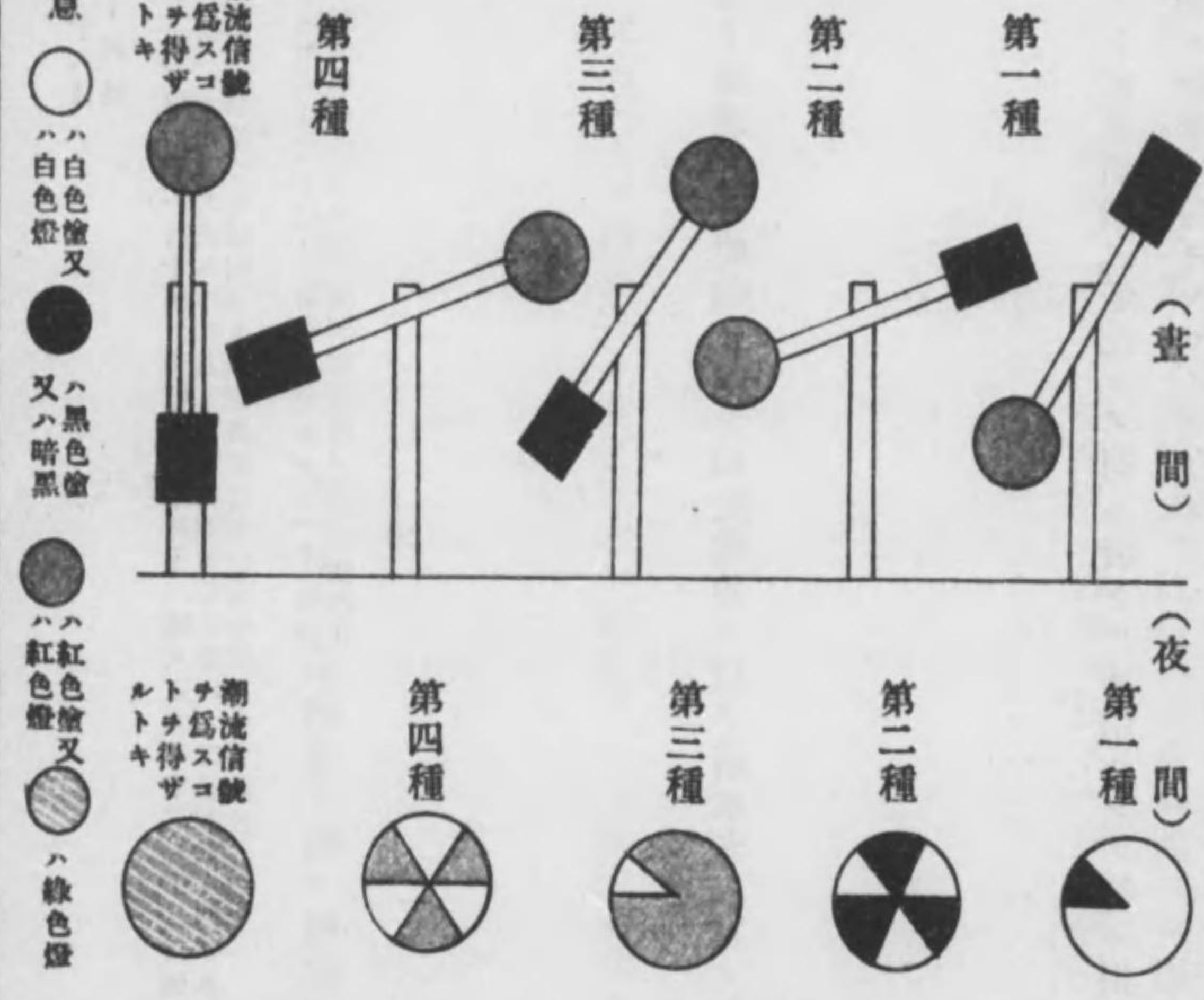
六 潮流信號ヲ爲サル信號所ハ夜間信號所ノ位置ヲ示ス爲メ其ノ中央塔ニ明暗白色燈ヲ掲ク但シ第二項ノ
 船舶通航信號ヲ爲ス場合及前項ニ依リ燈ヲ掲クル場合ニ於テハ此ノ限リニ在ラス
 七 航路ニ異變アルトキ、航行危險ノ虞アルトキ其他船舶ノ航行ニ關シ必要アルトキハ信號所ハ晝間ニ限リ

萬國船舶信號法ニ依リ信號ヲナスコトアルヘシ

船舶通航信號



潮流信號



船舶通報規則

明治四十年九月二十六日
逕信省令第四十四號

明治四十三年十月六日逕信省令第九十二號
明治四十四年十一月十四日逕信省令第四十三號
大正元年十二月十一日逕信省令第二十四號
大正四年三月二十九日逕信省令第二十二號
大正九年五月二十五日逕信省令第四十五號
大正十四年九月十二日逕信省令第六〇號
昭和六年六月二十日逕信省令第十七號
昭和九年三月六日逕信省令第三十五號
改正

注意〔内ニ朝鮮船舶通報規則 大正四年三月二十三日 昭和六年六月二十九日 中相違ノ點ヲ照記ス 朝鮮總督府令第三十三號 朝鮮總督府令第七六號改正〕

第一條〔第二條〕船舶通報ヲ分テ左ノ三種トス

- 一、通過報
- 二、信號報
- 三、海難報

第二條〔第三條〕通過報トハ特ニ指定スル燈臺ノ沿海ヲ通過スル船舶ニ關シ和文電報ヲ以テ請求者ニ左ノ事項ヲ通知スルモノヲ謂フ

- 一、船名
- 二、通過時分
- 三、通過ノ方向

第三條〔第四條〕信號報トハ船舶ノ所有者又ハ賃借人ト當該船舶ノ船長トノ間ニ於ケル通信ニシテ特ニ指定スル燈臺ニ於テ其ノ沿海ヲ通過スル當該船舶ト信號ニ依リ送受スルモノヲ謂フ

第三條ノ二〔第四條ノ二〕海難報トハ特ニ指定スル電信局所ニ於テ船舶ノ遭難又ハ航行ノ安全ニ關スル無線電信又ハ無線電話ニ依ル通信（特定人ニ宛テシテ）ニ依リ知得シタル船舶ノ遭難、委棄又ハ漂流ニ關スル左ノ事項ヲ和文電報ヲ以テ請求者ニ通知スルモノヲ謂フ

- 一、船名（必要アルトキハ船舶ノ種類、國籍又ハ所有者名ヲ附記ス）
- 二、災厄ノ日時（遭難ノ日時又ハ遭難、委棄若ハ漂流ノ事實ヲ知得シタル日時）
- 三、船舶ノ位置
- 四、災厄ノ狀況（遭難、委棄、又ハ漂流ノ別及其狀況）

第四條〔第五條〕通過報ノ取扱ヲ望ム者ハ左ノ事項ヲ記載シタル請求書ヲ其ノ電報ヲ配達スヘキ電信局所ニ差出スヘシ

- 一、船名及信號符字
- 二、國籍
- 三、船舶所有者名（若シ船舶カ賃借中ノモノナルトキハ船舶ノ賃借人名）
- 四、燈臺名
- 四ノ二、通過ノ方向
- 五、請求者（若シ請求者カ受信者ニ非サルトキハ併セテ受信者）ノ住所氏名

前項ノ場合ニ於テ請求者カ該船舶ノ所有者又ハ賃借人ニ非サルトキハ第十九條第一項ノ規定ニ依リ國旗及信號符字ヲ掲タル旨記載シタル船舶所有者該船舶カ賃借中ノモノナルトキハ其ノ賃借人ノ承諾書ヲ添付スヘシ
 臨時ニ通過報ノ取扱ヲ望ム者ハ第一項各號ノ事項ノ外尙豫定通過日時ヲ記載スヘシ
 第五條〔第六條〕通過報ノ取扱ヲ望ム者ハ〔船舶數及請求度數ニ拘ラス〕登記料トシテ一會計年度毎ニ金二圓ヲ前條ノ電信局所ニ納付スヘシ但シ臨時ニ其取扱ヲ望ム者ハ此ノ限リニ在ラス
 前項ノ登記料ニハ毎年度分ヲ其前年度ノ末日十五日前迄ニ納付スヘシ但シ初年度分ハ請求書差出ノ際之ヲ納付スヘシ

第六條〔第七條〕通過報ノ料金左ノ如シ

- 一、登記料ヲ納付シタルモノニ對シテハ
- 各一通毎ニ
 - 内地臺灣樺太及朝鮮相互間……………金貳拾五錢
 - 朝鮮相互間……………金貳拾錢
 - 臺灣相互間……………金參拾錢
 - 内地臺灣樺太及朝鮮相互間……………金四拾錢
- 二、登記料ヲ納付セサル者ニ對シテハ
- 各一通毎ニ
 - 内地臺灣樺太及朝鮮相互間……………金貳拾五錢
 - 朝鮮相互間……………金貳拾錢
 - 臺灣相互間……………金參拾錢
 - 内地臺灣樺太及朝鮮相互間……………金四拾錢

夜間日没ヨリ日出マテテ謂フ通過ノ船舶ニ對スル通過報ノ料金ハ前項料金ノ二倍トス
 前二項ノ料金ハ配達ノ際受信者ヨリ之ヲ徵收ス

第七條〔第八條〕第四條ノ請求ヲ受ケタル電信局所ニ於テ豫定通過日時切迫ノ爲燈臺ニ電報ヲ以テ通知ヲ要スルトキハ請求者ハ其電報ノ料金ヲ前納スヘシ
 第八條〔第九條〕第四條〔第五條〕ノ請求書ニ記載セル船舶カ燈臺ノ沿海ヲ通過シタル場合ト雖該燈臺ニ於テ其ノ船名ヲ知り得サリシトキ又ハ全ク船舶ノ通過ヲ知り得サリシトキハ通過報ヲ發セサルコトアルヘシ
 (參照)

船舶通報ノ取扱ヲ爲ス燈臺ノ沿岸ヲ通過スル船舶ノ方向左ノ通り

燈臺名	方向	方面	潮	入港	出港	通過報ノ取扱
大吠埼	南又ハ西	北海道又ハ米國	(同)	北	南	北海道方面ヨリ萩ノ濱へ入港スルモノニ限ル
劍埼	出	北海道米國又ハ神戶	金山	北	南	北海道方面へ出港スルモノニ限ル
(夜間ハ取扱ハス)	南又ハ西	寶爾又ハ爾館	(同)	北	南	北海道方面ヨリ入港スルモノニ限ル
紀伊日ノ御埼	南	神戶	佐多	北	南	神戶方面ヨリ入港スルモノニ限ル
(同)	東	四日市又ハ横濱	六連島	北	南	四日市方面ヨリ入港スルモノニ限ル
	西	下關		北	南	下關方面ヨリ入港スルモノニ限ル
	東	仁川		北	南	仁川方面ヨリ入港スルモノニ限ル
	北	朝鮮東岸(釜山以東)		北	南	朝鮮東岸ヨリ入港スルモノニ限ル

神威岬 (同)	佐田岬 (同)	牧ノ島 (朝鮮)	稚内 (同)	大瀨塔 (同)	白神岬 (同)	西能登呂岬	大角鼻	入港又ハ東	大泊ニ向フモノニ限ル 北北海道西岸又ハ本州 樺太東岸、千島又ハ
北南西東	北南西東	北南西東	北南西東	北南西東	北南西東	東南北入	西入港又ハ東	入港又ハ北	樺太東岸、千島又ハ
小樽、函館又ハ新島	神戶、門司、横濱又ハ九州東岸、琉球	朝鮮東岸、本州西岸、北海道又ハ	稚内、樺太又ハ千島	長崎又ハ九州南岸、對馬西岸又ハ支那沿岸	函館、青森、津輕海峡、北海道西岸、本州北西岸	北南西	西入港又ハ東	入港又ハ北	北北海道西岸又ハ本州
西能登呂岬	大角鼻	神島	者只島 (朝鮮)	小青島 (朝鮮)	臺灣、臺灣、朝鮮、	北南西	西入港又ハ東	入港又ハ北	北北海道西岸又ハ本州
東南北入	西入港又ハ東	入港又ハ北	入北西東	北南西東	臺灣、臺灣、朝鮮、	北南西	西入港又ハ東	入港又ハ北	北北海道西岸又ハ本州
大泊ニ向フモノニ限ル	北南西	北南西	北南西	北南西	臺灣、臺灣、朝鮮、	北南西	西入港又ハ東	入港又ハ北	北北海道西岸又ハ本州

第九條〔第十條〕信號報ノ取扱ヲ望ム船舶ノ所有者又ハ賃借人ハ豫メ左ノ事項ヲ記載シタル請求書ヲ其ノ電報ヲ配達スヘキ電信局所ニ差出スヘシ

- 一、船名及信號符字
- 二、國籍
- 三、船舶所有者名 (若シ船舶カ賃借借中ノモノナルトキハ船舶ノ賃借人名)

四、燈臺名

五、請求者ノ住所氏名
第十條〔第十一條〕信號報ノ取扱ヲ望ム者ハ〔船舶數及請求度數ニ拘ラス〕登記料トシテ一會計年度毎ニ金貳圓ヲ前條ノ電信局所ニ納付スヘシ

前項ノ登記料ハ毎年度分ヲ其前年度ノ末日十五日前迄ニ納付スヘシ但シ初年度分ハ請求書差出ノ際之ヲ納付スヘシ

第十一條〔第十二條〕信號報ノ料金左ノ如シ
信號料 一通ニ付 金 壹圓 電報料又ハ實費

船舶ヨリ發スル信號報ノ料金ハ之ヲ受信者ヨリ徵收ス
第十二條〔第十三條〕船舶ノ所有者又ハ賃借人信號報ヲ發セムトスルトキハ和文電報書法ニ從ヒ相當事項ヲ賴信紙ニ記載シ之ヲ第九條〔第十條〕ノ電信局所ニ差出スヘシ但シ之ニ關スル郵便切手ハ賴信紙ニ貼付スヘカラス

前項ノ場合ニ於テ郵便ニ依リ燈臺ニ送達ヲ望ムトキハ同時ニ其ノ旨ヲ申出ツヘシ此場合ニ於テハ適宜ノ用紙ニ記載スルコトヲ得
第十三條〔第十四條〕電信局所ニ於テ前條ノ信號報ヲ受ケタルトキハ指定ノ方法ニ依リ之ヲ燈臺ニ傳送シ燈

臺ニ於テ之ヲ船舶ニ通達ス

第十四條〔第十五條〕 船舶ニ於テ信號報ヲ發セムトスルトキハ其旨ヲ燈臺ニ信號スヘシ但シ信號報ノ受信者

ハ第十條〔第十一條〕ノ登記料ヲ納付シタル者ニ限ル

第十五條〔第十六條〕 燈臺ニ於テ前條ノ信號報ヲ受ケタルトキハ和文電報ヲ以テ之ヲ第九條〔第十條〕ノ電信局所ニ傳送シ電信局所ハ之ヲ受信者ニ配達ス

第十六條〔第十七條〕 燈臺ニ於テ信號報ヲ船舶ニ通達スルハ其ノ到達ノ日ヨリ十日以内ニ限ル

第十七條〔第十八條〕 船舶ニ通達シ能ハサル信號報ノ料金中信號料ハ納付人ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

第十八條〔第十九條〕 燈臺ト船舶トノ間ニ於ケル信號ハ晝間ニ限リ之ヲ行ヒ其ノ方法ハ萬國船舶信號書ノ定

ムル所ニ依ル但シ船舶ノ所有者又ハ賃借人ノ請求ニ依リ燈臺ニ於テ夜間通過ノ信號ヲ受クルコトアルヘシ

第十九條〔第二十條〕 通過報又ハ信號報ニ關係ヲ有スル海上ノ船舶ハ特ニ指定シタル燈臺ニ接近シタルトキ

ハ國旗及信號符字ヲ掲クヘシ

前條但書ニ依リ夜間通過ノ信號ヲ爲サントスルトキハ船舶ノ所有者又ハ賃借人ハ特定信號ヲ定メ豫メ燈臺局ノ承認ヲ經ルコトヲ要ス

第十九條ノ二〔第二十條ノ二〕 海難報ノ取扱ヲ望ム者ハ左ノ事項ヲ記載シタル請求書ヲ其ノ電報ヲ配達スヘキ電信局所ニ差出スヘシ

一、船名及信號符字

二、國 籍

三、船舶所有者名〔若シ船舶カ賃借中ノモノナルトキハ船舶ノ賃借人名〕

四、發信電信局所名

五、請求者ノ住所氏名

〔海難報ノ取扱ヲ受クヘキ船舶ハ之ヲ指定セサルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ請求書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ〕

第十九條ノ三〔第二十條ノ三〕 第十條ノ規定ハ海難報ニ之ヲ準用ス〔海難報ノ取扱ヲ受ケムトスルモノハ船舶數及海難報ノ配達ヲ受クル度數ニ拘ラス登記料トシテ一會計年度毎ニ二回ヲ前條ノ電信局所ニ納付スヘシ

前項ノ登記料ハ每會計年度分ヲ其ノ前年度ノ末日十五日前迄ニ之ヲ納付スヘシ〔但シ初年度分ハ請求書提出ノ際之ヲ納付スヘシ〕

第十九條ノ四〔第二十條ノ四〕 海難報ノ料金ハ電報ノ字數ニ應シ一般私報ノ料金ヲ課ス〔海難報ノ通知ニ要スル電報ノ料金ハ實費トス〕

前項ノ料金ハ配達ノ際受信者ヨリ之ヲ徴收ス

第十九條ノ五〔第二十條ノ五〕 電信局所ニ於テ第三條ノ二各號ノ事項中知得シ得サルモノアルトキハ當該事項ノ通報ヲ爲サス又ハ海難報ヲ發セサルコトアルヘシ〔電信局所ニ於テ海難報ニ關スル通知ヲ爲スヘキ場合ニ於テ第四條ノ二各號ノ事項ヲ知得シ得サルトキハ當該事項ノ通知ヲ爲サス〕

第二十條〔第二十一條〕 本令中料金ノ徵收又ハ還付ニ關シ明文ナキ事項ハ凡テ明治二十三年九月遞信省令第四十六號〔明治四十三年十月朝鮮總督府令第三十八號〕電報規則ノ規定ヲ準用ス

第二十一條〔第二十二條〕 第四條第一項、第九條又ハ第十九條ノ二ノ各號ニ掲クル事項ニ異動ヲ生シタルトキ又ハ船舶通報ノ請求者其ノ取扱ヲ罷メムトスルトキハ請求書ヲ差出シタル電信局所ニ其旨ヲ届出ツヘシ受信者住所ノ異動ニ依リ配達電信局所ヲ異ニスルニ至リタルトキハ其船舶通報取扱ノ請求ハ消滅シタルモノト見做ス

但シ同一市町村内ニ於ケル受信者住所ノ異動ニ依リ配達電信局所ヲ異ニスルニ至リタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十二條〔第一條〕 船舶通報ハ内地小笠原島ヲ除ク相互間臺灣相互間、樺太相互間、朝鮮相互間並内地小笠原島ヲ除ク臺灣樺太及朝鮮相互間ニ發受セルモノニ限ル

第二十三條〔第二十三條〕 燈臺以外ノ場所ニ於テ通過報又ハ信號報ノ取扱ヲ爲ストキハ本令ヲ準用ス

附 則

第二十四條〔第二十四條〕 本令ハ昭和六年七月一日〔大正四年四月一日〕ヨリ之ヲ施行ス

燈 臺

北海道北岸東岸（千島）及南岸

燈臺 北海道北岸

3			2		1		稱名臺燈 類 種	位 置
港 留 沙 堤波防潤船			港 武 雄 堤波防北		岬 谷 宗 ノ 宗 北			
臺	燈		竿	燈	號信霧	臺 燈	緯 北 經 東	
堤頭部	船潤防波	沙留港	北見國	部防波堤	船入潤北	雄武港		北見國
44° 143°		26' 14"		44° 142°	35' 58"		31' 56"	45° 141°
月一十年九和昭			月十年九和昭		月九年八十治明		月 年 點 初	
鐵造電燈	四角檜形	紅色	鐵造電燈	四角檜形	紅色	鐵造電燈	八角形	黑白橫線
		不動紅光			不動紅光	石四十五連第 油四十五連第 白閃五秒ヲ隔テ 熱閃秒ヲ隔テ 燈光間テ 白閃光	燈 質	等 級
全 度			全 度			二八六度迄	弧 明	七七度ヨリ
6.5			5.5			16.4	上 礎 基	燈 高 (米)
9.5			8.4			40.9	上 面 水	平 均
10弱			10			45	數 光 燭	
9			10			18	(注)離距達光	
● 看守員ヲ常置セス ● 北海道北見國興部村立			● 看守員ヲ常置セス ● 北海道北見國雄武村立		霧笛 一分ヲ隔テ四秒ヲ吹鳴ス 無線方位信號所併置		記 事	

北海道北岸、東岸(島千)及南岸

燈臺 北海道東岸(千島)

12		11		10		9		8	
納沙布埼		根室防波		辨天島		計羅武威埼		安渡移矢岬	
號信霧	臺燈	臺燈	臺燈	臺燈	臺燈	臺燈	臺燈	臺燈	臺燈
ノ東端	納沙布埼	根室國	根室防波	根室港口	辨天島	根室港口	ノ南端	國後島	千島國
43° 145'	23° 40'	43° 145'	20° 35'	43° 145'	20° 35'	43° 145'	40° 53'	44° 146°	27° 34'
月七年五治明	月三年五正大	月六年五治明	月五年五十二治明	月一年十廿世治明					
混凝土造	四角形	下部圓形	上部圓形	白色	鐵柱形	圓柱形	木造	八角形	黑白橫線
ガアセチレン	ガアセチレン	ガアセチレン	ガアセチレン	ガアセチレン	ガアセチレン	ガアセチレン	ガアセチレン	ガアセチレン	ガアセチレン
燈	燈	燈	燈	燈	燈	燈	燈	燈	燈
リ一五度迄	一〇五度ヨ	全	全	全	全	全	リ一三度迄	二二七度ヨ	一〇五度ヨ
11.3	6.3	6.3	12.1	15.1					
23.3	11.4	17.6	14.3	66.1					
3	10	13	9	100					
14.3	10	13	12.3	21.3					
渾丸鐘ノ猫頭燈ヲ示ス	霧笛 三十秒ヲ隔テ五秒吹鳴ス 三三九度ヨリ一五度迄ハ紅光ヲ以テ南方距離約一	看守員ヲ常置セス 毎年二月中ハ點燈セス	霧鐘 一分二十二回打鳴ス 毎年二月中ハ點燈セス	霧笛 一分ヲ隔テ五秒吹鳴ス 毎年二月ヨリ四月迄三箇月間點燈並霧信號ヲ休					

7		6		5		4	
網走防波		網走防波		能取岬		紋別防波	
號信霧	臺燈	號信霧	臺燈	號信霧	臺燈	號信霧	臺燈
頭防波	網走港	頭防波	網走港	能取岬	北見國	紋別港	北見國
41° 144°	1° 18'	44° 144°	1° 17'	44° 141°	7° 15'	44° 143°	21° 22'
月六年五和昭	月四年五和昭	月十年六正大	月五年六和昭				
混凝土造	圓形	混凝土造	圓形	混凝土造	八角形	混凝土造	圓形
ガアセチレン	ガアセチレン	ガアセチレン	ガアセチレン	ガアセチレン	ガアセチレン	ガアセチレン	ガアセチレン
燈	燈	燈	燈	燈	燈	燈	燈
全	全	全	全	全	全	全	全
13.3	4.3	18.3	8.3	16.2	9.1	57.3	10.3
16.2	9.1	57.3	10.3	1.70	1.70	39	1.70
12.3	10.3	20.3	11				
看守員ヲ常置セス 毎年一月ヨリ三月迄點燈休止ス	看守員ヲ常置セス	霧笛 四十秒ヲ隔テ三秒吹鳴ス 毎年一月二月中ハ點燈並霧信號ヲ休止ス	看守員ヲ常置セス ●北海道北見國紋別町立				

燈臺 北海道北岸

燈臺 北海道南岸

30		29		28		27		26	
蘭室		岬ウキチ		潤船港別捫 堤波防南		港石三 堤波防西潤船		港河浦 堤波防南	
號信霧	臺燈	號信霧	臺燈	臺燈	竿燈	臺燈	臺燈	臺燈	臺燈
大黒島	室蘭港口	チキワ岬	室蘭外	頭防船捫日 波潤別高 部堤南港國	波船三日 堤潤西防 頭部港國	頭南浦日 部防河港 堤波堤港國	頭南浦日 部防河港 堤波堤港國	頭南浦日 部防河港 堤波堤港國	頭南浦日 部防河港 堤波堤港國
42° 140'	21° 55'	42° 141'	18° 0'	42° 142'	17° 28'	42° 142°	15° 33'	42° 142°	10° 40'
月一十年四廿治明		月四年九正大		月三年十和昭		月二十年九和昭		月八年四和昭	
混濁土造	四角形	混濁土造	八角形	鐵造	四角梯形	木造	竿柱	鐵造	三角梯形
ガア(明)紅二秒暗二秒 セチレ(分)光一分 スレ(秒)光一分 燈ン	明暗白等	電二テ二連第 閃八二閃三 秒秒 光光 間隔	連閃三 閃白光	電	不動紅光	電	不動白光	ガアセチレ スレ	每三秒一閃光
全		九九度迄	二三二度	全		全		全	
9.1		12.1		7.3		6.3		10.3	
45.8		98.3		9.6		7.7		12.8	
1 $\frac{1}{10}$		300		$\frac{1}{10}$ 弱		$\frac{1}{10}$		$\frac{1}{10}$ 弱	
18.3		25.3		6		10		8	
霧笛 四十秒ヲ隔テ五秒吹鳴ス 一二六度ヨリ一四一度迄紅光ヲ以テ約三一五度距 離約七鏈ノ大根礎(水深約六米四)ヲ示ス		霧笛 一分ヲ隔テ四秒吹鳴ス		●北海道廳立 看守員ヲ常置セス 紅色燈ヲ點ス		●北海道日高國三石村立 燈火消滅ノ時ハ平均水面上八米七〇ノ位置ニ不動 紅色燈ヲ點ス		●北海道廳立 看守員ヲ常置セス 本燈火消滅ノ時ハ平均水面上七米三五ノ位置 ニ白色ノ石油燈ヲ點ス	

25		24		23		22	
河浦		潤船港似様 堤突南		潤入船港泉幌 堤波防		幌泉	
臺燈	臺燈	臺燈	臺燈	竿燈	臺燈	臺燈	臺燈
浦日高國	部突船様日 堤潤似高 頭南港國	幌日高國	幌日高國	泉	幌日高國	幌日高國	幌日高國
42° 142°	10° 47'	42° 142°	7° 55'	42° 143°	1° 9'	42° 143°	1° 9'
月一十年四廿治明		月三年十和昭		月一十年七和昭		月一十年四廿治明	
木造	四角形	鐵造	四角梯形	鐵造	四角梯形	混濁土造	四角形
電	不動白光	電	不動綠光	電	不動白光	電	不動綠光
迄	一〇七度	全		全		迄	一二三度
4.8		6.4		7.3		8.8	
39.7		8.3		9.6		26.7	
3 $\frac{5}{10}$		$\frac{1}{10}$ 弱		$\frac{1}{10}$		1 $\frac{1}{10}$	
17.6		5.3		10.3		15.3	
●北海道廳立 看守員ヲ常置セス 燈火消滅ノ時ハ北突堤頭部ニ在ル電柱平均水面上 八米三〇ノ位置ニ不動紅光燈ヲ點ス		●北海道廳立 看守員ヲ常置セス		●北海道幌泉郡幌泉村立 看守員ヲ常置セス		●北海道廳立 看守員ヲ常置セス	

燈臺 北海道南岸

燈臺 北海道南岸

39	38	37	36	35
港蘭室 號二第	港蘭室 號一第	壁岸驛蘭室 燈後	壁岸驛蘭室 燈前	港蘭室 燈後
標浮燈挂	標浮燈挂	燈導	燈導	燈導
前 石炭棧橋 鐵道省	前 石炭棧橋 鐵道省	鐵道岸壁 室蘭港内	鐵道岸壁 室蘭港内	海岸町 室蘭港
		42° 19' 140° 59'	42° 19' 140° 59'	42° 19' 140° 58'
月六年二正大	月六年二正大	月一年十和昭	月一年十和昭	月一年十和昭
鐵 上 圓 紅 部 筒 筒 色 造 形 形 色	鐵 上 圓 黑 部 筒 筒 色 造 形 形 色	鐵 戴 三 梯 紅 造 角 標 子 形 色	鐵 戴 三 梯 紅 造 角 標 子 形 色	木 戴 三 竿 塗 造 角 標 柱 裝 造 角 標 柱 色
ガ ア 毎 閃 ア セ 四 秒 一 閃 ス チ レ 閃 光	ガ ア 毎 閃 ア セ 四 秒 一 閃 ス チ レ 閃 光	ネ オ ン 不 管 燈 動 紅 光	ネ オ ン 不 管 燈 動 紅 光	電 不 燈 動 綠 光
全 度	全 度	○ 分 九 二六〇度三 〇度三〇	○ 分 九 二六〇度三 〇度三〇	全 度
3.3	3.3	12.3	6.3	12.3
10弱	10弱	14.9	8.9	14.9
8	8	3.3	3.3	6
●鐵道省立	●鐵道省立	●鐵道省立	●鐵道省立	看守員ヲ常置セス ●北海道室蘭市立
		兩燈ヲ一直線(一七五度三〇分)ニ望ミ進航スル 時ハ淺深區域ノ約中央ヲ通過スルコトヲ得ヘシ		

燈臺 北海道南岸

34	33	32	31	稱名臺燈 種類	位 地在所	置 緯北東	初 月年點	塗 色	等 級	明 弧	燈高(米) 平均	燭 光	光 達距離	記 事
港蘭室 燈前	港蘭室 燈假	港蘭室 堤波防南	港蘭室 燈假	稱名臺燈 種類	位 地在所	置 緯北東	初 月年點	塗 色	等 級	明 弧	燈高(米) 平均	燭 光	光 達距離	記 事
燈導	標燈	號信霧 臺燈	標浮燈挂											
海岸町 室蘭港	室蘭港内	頭南防波堤 室蘭港	沖南防波堤 室蘭港											
42° 19' 140° 58'	42° 23' 140° 58'	42° 21' 140° 57'												
月一年十和昭	月四年八和昭	月十年二和昭	月二年八和昭											
木 戴 三 竿 塗 造 角 標 柱 裝 造 角 標 柱 色	木 三 角 梯 形 造 造	混 凝 土 造 圓 形 造 造	鐵 上 部 筒 形 造 造											
電 不 燈 動 綠 光	電 不 燈 動 紅 光	ガ ア 明 明 ア セ 二 秒 暗 二 秒 ス チ レ 燈	ガ ア 每 三 秒 一 閃 光 ス チ レ 閃 光											
全 度	全 度	全 度	全 度											
7	1.9	8.1	3.1											
9.3	3.3	10.9	10											
10弱	10弱	10	10											
5	6	11.3	8											
●室蘭市立	看守員ヲ常置セス 本燈故障ノ際ハ左ノ豫備燈ヲ點ス 北緯四二度二〇分東經一四〇度五八分 塗裝セサル木柱ニ不動綠光ノ燈火ヲ掲ケ	霧笛 三十秒ヲ隔テ三十秒吹鳴ス 目下故障ノメ霧笛休止中 看守員ヲ常置セス	本挂燈浮標ト室蘭港南防波堤燈臺トノ間ハ船舶ノ 航行危險ナリ 室蘭港南防波堤燈臺ハ一四三度〇分 室蘭港北防波堤燈臺ハ三三一度一五分 水深一六米九 ●北海道廳立											

燈臺 北海道南岸

48	47	46	45	44
函館港 第二號	函館港 第一號	函館防波堤	沙首岬	惠山岬
標浮燈挂	標浮燈挂	臺燈	號信霧臺燈	號信霧臺燈
函館港	函館港	函館防波堤	沙首岬	惠山岬
		41° 47' / 140° 42'	41° 43' / 140° 58'	41° 49' / 141° 11'
昭和二年十一月	昭和二年二月	大正八年二月	明治廿六年十一月	明治廿三年十一月
鐵槽上部圓筒形	鐵槽上部圓筒形	混泥土上部圓筒形	鐵圓筒形	鐵六角形
紅黑橫線	紅黑橫線	紅色	紅色	黑白橫線
閃光	閃光	明暗二秒	不動白光	閃光
一閃三秒	一閃三秒	明暗二秒	不動白光	一閃三秒
全度	全度	全度	九八度迄	一六〇度
3.0	3.0	10.0	6.0	15.0
弱	弱	13.0	46.0	44.0
8.0	6	12	29	4
鐵道省立	鐵道省立	看守員ヲ常置セス	霧笛 一分ヲ隔テ五秒吹鳴ス	霧笛 約五十秒ニ低調一聲高調一聲ヲ連吹ス 低調發音三秒沈黙四秒、高調發音三秒沈黙四十秒 無線方位信號所併置

43	42	41	40
根大	室蘭港北防波堤	室蘭港	本輪西埠頭
標浮燈挂	臺燈	燈	燈
大根港	室蘭港口	室蘭港	本輪西埠頭
	42° 21' / 140° 57'	42° 21' / 140° 59'	42° 21' / 140° 59'
昭和二年八月五年	昭和二年十月	昭和十年一月	昭和十年一月
鐵槽上部圓筒形	混泥土圓筒形	木戴三角標柱	木戴三角標柱
黑色	白色	紅色	不動綠光
閃光	明暗二秒	不動紅光	不動綠光
一閃三秒	明暗二秒	不動紅光	不動綠光
全度	全度	全度	全度
度	度	度	度
4.0	8.0	14.0	13.0
弱	10.0	17.0	15.0
9	11.0	6	5
鐵道省立	鐵道省立	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス
		●北海道室蘭市立	●北海道室蘭市立
		兩燈一直線四九度ニ望ミ進航スレハ埠頭前面淺深區域ノ中心ヲ通航スルコトヲ得	兩燈間ノ距離二四米五四
		本埠頭ハ夜間出入船舶アル毎ニ點燈シ平常ハ點燈セス	
		記	事

燈臺 北海道南岸

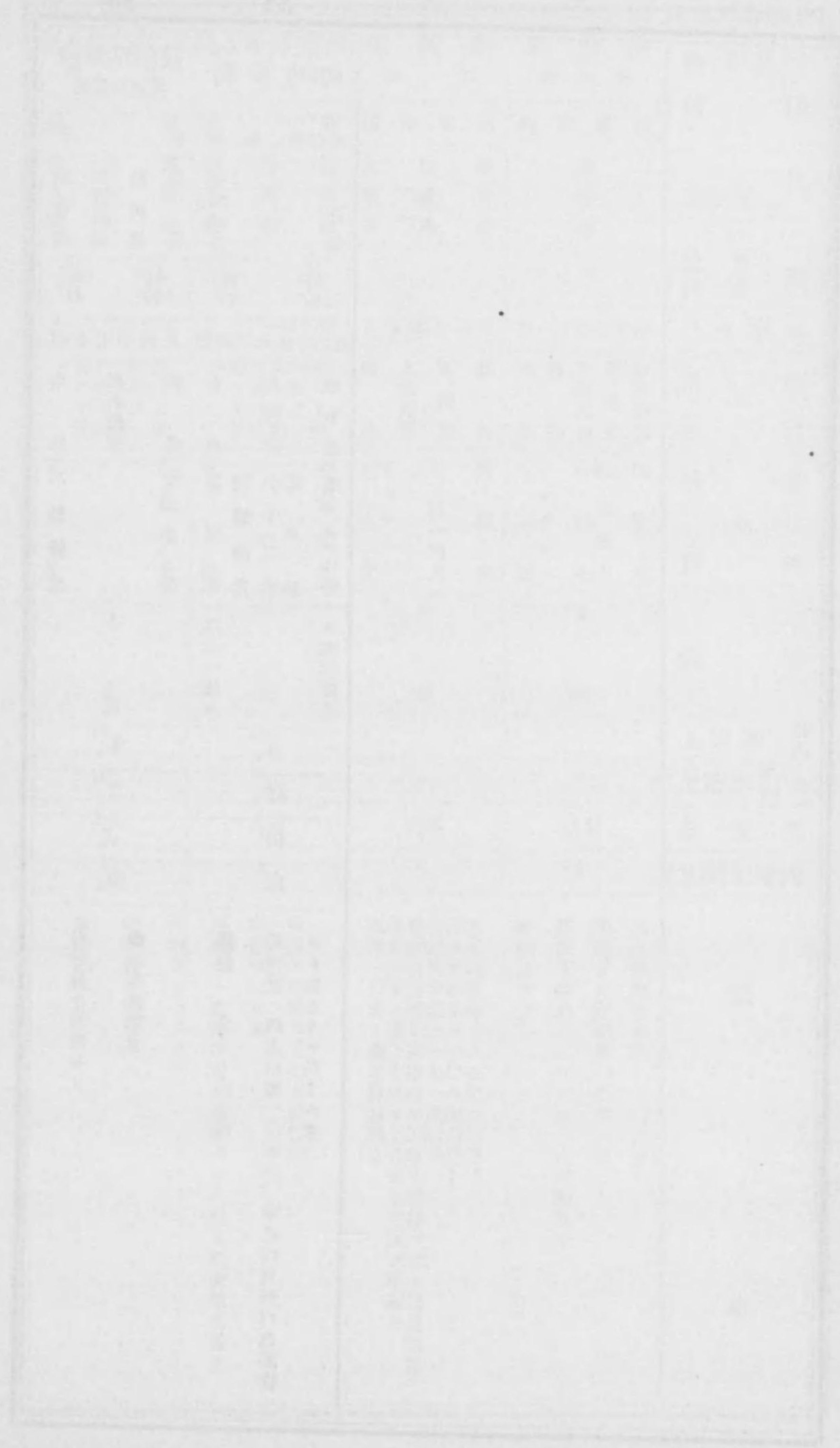
燈臺 北海道南岸

54		53	
岬支登葛		設假港館函	
岬支登葛		堤波防潤船	
號信霧	臺燈	臺燈	燈
ノ西側	函館港口	頭防波堤	假設船潤
41° 140'	45° 36'	41° 140'	47° 44'
月二十年八十治明		月四年七和昭	
鐵木造	八角形	鐵造	四角形
電燈	明暗十八秒	電燈	不動綠光
5.2度迄	22.1度	全度	
8.2		4.3	
42.1		7	
40		10	
18		10.2	
霧鐘一分ニ六回打鳴ス 霧鐘臺ハ西方距離一〇米六、木造四角形白色基礎ヨリ頂上マテ高サ八米二		看守員ヲ常置セス ●北海道廳立	

52		51		50		49	
潤入船港館函		潤入船港館函		港館函		港館函	
燈後		燈前		設假		號三第	
燈導	燈導	標浮燈挂	標浮燈挂	標浮燈挂	標浮燈挂	標浮燈挂	標浮燈挂
船海函	船海函	北防函	北防函	北防函	北防函	北防函	北防函
入岸館	入岸館	端波館	端波館	端波館	端波館	端波館	端波館
潤町港	潤町港	沖堤港	沖堤港	沖堤港	沖堤港	沖堤港	沖堤港
41° 140'	47° 44'	41° 140'	47° 44'				
月一十年四和昭		月一十年四和昭		月五年七和昭		月一十年二和昭	
ス線テ丸屋第二赤太根二塗白チ上上裝横建ニ屋		ス線テ丸屋第一赤太根一塗白チ上上裝横建ニ屋		鐵上部圓筒形		鐵上部圓筒形	
電燈	不動白光	電燈	不動白光	ガアセスチレン燈	ガアセスチレン燈	ガアセスチレン燈	ガアセスチレン燈
全度		全度		全度		全度	
13.2		11.2					
15.2		13.4		3.1		3.0	
10弱		10弱		10弱		10弱	
8.2		8.2		6		6	
●函館市立		後燈ハ前燈ヨリ七七度〇分 距離五三米九 兩燈ヲ一直線ニ望ミ進航スレハ船入潤波深水道ヲ通航スルコトヲ得 看守員ヲ常置セス		瓦斯局燈突ハ八七度二〇分 測候所燈突ハ八一七度〇〇分 新設防波堤燈臺ハ一七〇度〇〇分 長線防波堤燈臺ハ一七〇度〇〇分 水深一〇米ニ基礎拾石工事ノ進捗ニ伴ヒ防波堤延 ●北海道廳立		水上警察署旗竿ハ二〇六度 船渠會社大煙突ハ二四二度 防波堤燈臺ハ二八八度、水深約八米 ●鐵道省立	
記		事		記		事	

燈臺 北海道南岸

燈臺
北海道西岸



燈臺

北海道西岸

(口印ハ船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ箇所)

島小前松			山 福			岬 ^{ミカ} 神 ^{ラシ} 白			稱名臺燈 類 種
號信霧	臺 燈		號信霧	臺 燈		號信霧	臺 燈		
小 西 津 島 口 輕 海 峽			辨 福 天 山 島 港			白 西 津 神 岬 輕 岬 口 海 峽			類 種
41° 22' 139° 49'			41° 27' 140° 5'			41° 24' 140° 12'			地 在 所
月十年二十正大			月九年二十二治明			月九年一十二治明			緯 北 經 東
混 八 白 凝 角 色 土 形 色 造 形 色			混 四 白 凝 角 色 土 形 色 造 形 色			鐵 六 黑 造 角 白 形 形 橫 造 形 線			構 及 塗 造 及 色
石三十八連第 油十二八閃三 白四二秒ヲ隔白 然四秒ヲ隔光 燈光間テ			電 明 明 燈 三 暗 三 秒 三 秒 秒 三 秒 光			石一每閃第 油四四十紅二 燈光秒交等 光 光			燈 及 等 質 及 級
三五五度迄			一一九度迄			一〇一度迄			弧 明
21.			4.			15.			上 礎 基 面 水 均
33			25.			36.			燈 高 (米)
60			4			白光 ⁴ 紅光 ¹			數 光 燭
18.			15			17			(哩) 離 距 達 光
霧笛 四十秒ヲ隔テ四秒吹鳴ス			霧笛 三十五秒ヲ隔テ三秒吹鳴ス 無線方位信號所併置			霧笛 一分ヲ隔テ五秒吹鳴ス 霧笛吹鳴シ能ハサルトキハ爆發信號ヲ以テ四分毎 ニ一回爆發ス 船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ但シ夜間ハ取扱ハ ス			記 事

北海道西岸

燈臺 北海道西岸

81		80		79		78		77	
港内岩 堤波防西		岬慶辨		港棚瀬 堤波防南		岬穂 ナイ稻		港石熊 堤波防	
臺	燈	臺	燈	竿	燈	號信霧	臺	燈	臺
頭西防波堤	岩内港	ノ西角	壽都港	頭南防波堤	瀬棚港	ノ北端	奥尻島	頭防波堤	熊石島
42° 140°	59' 31"	42° 140°	56' 11"	42° 139°	27' 51"	42° 139°	15' 33"	42° 139°	7' 59"
昭和八年十月		明治三十三年二月		昭和九年六月		明治四十三年二月		昭和九年三月	
混圓白	圓形	木四角	白形	鐵四角	紅形	鐵六角	黑白橫線	鐵四角	白形
ガアセチレン	毎五秒一閃光	ガアセチレン	明暗白等	電	不動紅光	石油白熱燈	閃光	電	不動白光
全	度	三〇八度迄	五七度ヨリ	全	度	三三六度迄	七〇度ヨリ	全	度
10.1		4.0		6.0		18.0		6.0	
14.0		24.0		9.0		45.0		8.0	
1/10		1/10		1/10弱		45		1/10	
11		15		7.0		18.0		10.0	
看守員ヲ常置セス				●北海道後志國瀬棚町立 看守員ヲ常置セス		霧笛 三十秒ヲ隔テ三秒吹鳴ス		●北海道渡島國熊石村立 看守員ヲ常置セス	

76		75		74		73	
洞入船港部乙 堤波防西		島 鷗		港差江 堤波防		港良江 堤波防西	
竿	燈	臺	燈	臺	燈	臺	燈
頭防波堤	乙部港	島	鷗	頭西防波堤	江差島	頭西防波堤	江前島
41° 140°	58' 8"	41° 140°	52' 7"	41° 140°	52' 8"	41° 140°	32' 0"
昭和七年四月		明治二十二年九月		昭和四年六月		昭和九年六月	
鐵四角	紅形	木四角	白形	鐵四角	紅形	鐵四角	紅形
電	不動紅光	電	不動白光	電	明暗紅光	電	不動紅光
全	度	二七七度迄	七度ヨリ	全	度	全	度
5		4.1		9.1		6.0	
7.1		31.0		13		9.0	
1/10弱		4		1/10		1/10弱	
7		16.0		12		7.0	
●北海道爾志郡乙部村立 看守員ヲ常置セス				●北海道渡島國檜山郡江差町立 看守員ヲ常置セス		●北海道松前郡大島村立 看守員ヲ常置セス	

燈臺 北海道西岸

燈臺 北海道西岸

90	89	88	87	86
石狩河口 燈臺	小樽港 燈臺	小樽港 燈臺	小樽港 燈臺	祝津船入 燈臺
東岸	北防波堤	北防波堤	南防波堤	祝津
43° 15' 141° 23'	43° 12' 141° 2'	43° 12' 141° 1'	43° 12' 141° 1'	43° 14' 141° 1'
大正五年四月	昭和六年六月	大正九年十一月	大正九年十一月	昭和八年十一月
紅白橫線 竿柱三角	圓筒形 上部樽形	圓筒形 混泥土造	圓筒形 混泥土造	白樽形 鐵造
不動紅光	閃光 每四秒一閃	明暗紅光 明三秒暗三秒	明暗綠光 明三秒暗三秒	不動綠光
全度	全度	全度	全度	全度
9.0		12.0	12.0	4.0
11.0	3.0	14.0	14.0	5.0
10弱	10弱	10弱	10弱	10弱
4	5	9	9	6.0
看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス

85	84	83	82
日和山	古平漁港	神威岬	岩内港
後志國	後志國	後志國	後志國
43° 15' 141° 1'	43° 16' 140° 39'	43° 20' 140° 21'	42° 59' 140° 31'
昭和六年十月	昭和八年五月	昭和十二年八月	昭和五年十一月
白樽形	四角樽形	圓筒形	四角樽形
明暗白光	不動白光	紅白互光	不動紅光
全度	全度	全度	全度
7.0	8.0	5.0	5.0
49.0	10.0	75.0	7.0
11	10弱	白光 26 紅光 10	10弱
19	8	23	7
看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス

燈臺 北海道西岸

(口印ハ船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ箇所)

燈臺 本州北岸及東岸

港內稚 堤波防測入船	外港內稚 鳴吹鐘打	稱名臺燈 類 種	位 置
竿 燈	標 浮 燈 挂	地 在 所	緯 北 經 東
稚 北 內 見 港 國	稚 北 內 港 外 國	緯 北 經 東	月 年 點 初
45° 141°	25° 41'	月 七 年 二 和 昭	月 七 年 六 和 昭
鐵 竿 紅 造 柱 色	鐵 上 圓 黑 造 部 筒 色 形 形 色	燈 及 等 質 及 級	弧 明
電 不 動 紅 光	ガ ア 毎 閃 セ セ 三 白 ス ス 秒 光 レ レ 一 閃 ン 閃 光	上 礎 基 燈 面 水 平 高 均 (米)	數 光 燭
全 度	全 度	5.1	5
6.2	3.3	10弱	7
5	7	5	7
● 北海道北見國宗谷郡稚內町立 看守員ヲ常置セス	燈器ノ上部ニ打鐘、下部ニ吹鳴器ヲ裝置シ波動ニ依リ打鐘及吹鳴ス 聲間隔ハ九四度三〇分、宗谷支廳信號柱ハ二六〇度三五分、稚內燈臺ハ三〇八度五〇分 水深約八米 ● 鐵道省立	記	事

燈臺 北海道西岸

燈臺 本州北岸

港 館 平 堤 波 防 北			港 厩 三 堤 波 防			稱 名 臺 燈 類 種	位 置
竿 燈	號 信 霧	臺 燈	竿 燈	號 信 霧	臺 燈		
頭 北 口 陸 防 防 平 奧 波 波 館 奧 堤 堤 港 海 部 堤 港 灣	明 灣 陸 神 口 奧 埼 口 海		頭 防 三 青 部 堤 厩 森 堤 堤 港 縣				
41° 10' 140° 39'	41° 11' 140° 39'		41° 19' 140° 26'				
月 七 年 九 和 昭	月 四 年 二 十 三 治 明		月 二 年 十 和 昭			月 年 點 初	
混 凝 土 造	鐵 造	白 色	混 凝 土 造	鐵 造	白 色	構 造 及 塗 色	
電 燈	電 燈	不 動 紅 光	電 燈	電 燈	不 動 白 光	燈 質 及 等 級	
全 度	迄	一 六 六 度	全 度	迄	一 六 六 度	弧 明	
5	18.5		5	18.5		上 礎 基	燈 高 (米)
7.5	21.5		8.5	21.5		上 面 水	平 均
1/10	70		1/10	70		數 光 燭	
10	14		10.5	14		(哩) 離 距 達 光	
● 青 森 縣 立 看 守 員 常 置 セ ス	● 青 森 縣 立 看 守 員 常 置 セ ス	● 青 森 縣 立 看 守 員 常 置 セ ス	● 青 森 縣 立 看 守 員 常 置 セ ス	● 青 森 縣 立 看 守 員 常 置 セ ス	● 青 森 縣 立 看 守 員 常 置 セ ス	記 事	

本州北岸及東岸

燈臺 本州北岸

141	140	139	138	137
港 烟 大 堤 波 防 南	埼 間 大	港 森 青 堤 波 防 東	港 森 青 堤 波 防 北	港 森 青 堤 波 防 西
竿 燈	號 信 霧 臺 燈	臺 燈	臺 燈	號 信 霧 臺 燈
頭 南 大 青 防 烟 烟 森 波 堤 港 縣	辨 大 青 天 間 森 島 埼 縣	北 東 青 端 防 森 端 堤 港	西 北 青 端 防 森 端 堤 港	東 西 青 端 防 森 端 堤 港
41° 25' 141° 10'	41° 33' 140° 55'	40° 50' 140° 45'	40° 50' 140° 44'	40° 50' 140° 44'
月 六 年 九 和 昭	月 一 十 年 十 正 大	月 七 年 二 十 正 大	月 七 年 二 十 正 大	月 七 年 二 十 正 大
混 凝 土 造	混 凝 土 造	混 凝 土 造	混 凝 土 造	混 凝 土 造
四 角 形	八 角 形	四 角 形	四 角 形	四 角 形
白 色	黑 白 橫 線	上 部 橫 形 鐵 造 下 部	上 部 橫 形 鐵 造 下 部	上 部 橫 形 鐵 造 下 部
電 燈	石 三 十 八 秒 油 白 閃 光 燈	電 燈	ガ ア セ チ レ ス 燈	ガ ア セ チ レ ス 燈
不 動 白 光	連 三 十 八 秒 閃 光 燈	不 動 綠 光	明 三 秒 暗 三 秒 明 暗 綠 光	明 三 秒 暗 三 秒 明 暗 白 光
全 度	三 一 七 度迄	全 度	全 度	全 度
6.4	22.7	6.1	8.2	8.2
8.7	35.7	9.4	12.4	12.4
1/10	30	1/10	1/10	1/10
10.5	17	10.5	7	12
● 青 森 縣 立 看 守 員 ナ 常 置 セ ス	霧 笛 四 十 秒 ナ 隔 テ 三 秒 吹 鳴 ス 無 線 方 位 信 號 所 併 置	看 守 員 ナ 常 置 セ ス	看 守 員 ナ 常 置 セ ス	霧 笛 三 十 秒 ナ 隔 テ 三 十 秒 吹 鳴 ス 每 月 一 日 及 十 五 日 ハ 日 出 時 ヨリ 日 沒 時 迄 吹 鳴 セ ス 看 守 員 ナ 常 置 セ ス 霧 笛 ハ 鐵 道 省 所 管 ニ シ テ 西 防 波 堤 燈 臺 ヨリ 二 六 度 距 離 約 一 八 四 米

燈臺 本州北岸

136	135	134	133	稱 名 臺 燈 類 種
港 森 青 號 一 第	港 森 青 號 三 第	港 森 青 號 二 第 設 假	港 森 青 號 一 第 設 假	稱 名 臺 燈 類 種
標 浮 燈 挂	標 浮 燈 挂	標 浮 燈 挂	標 浮 燈 挂	地 在 所
防 波 堤 外	防 波 堤 外	燈 臺 沖	燈 臺 沖	位 置
青 森 港	青 森 港	西 防 波 堤	西 防 波 堤	緯 北 東
月 九 年 五 十 正 大	月 九 年 五 十 正 大	月 三 年 九 和 昭	月 三 年 九 和 昭	月 年 點 初
鐵 上 部 圓 黑 造 部 筒 色	鐵 上 部 圓 黑 造 部 筒 色	鐵 上 部 圓 紅 造 部 筒 形 色	鐵 上 部 圓 黑 造 部 筒 形 色	構 造 及 塗 色
ガ ア セ チ レ ス 燈	ガ ア セ チ レ ス 燈	ガ ア セ チ レ ス 燈	ガ ア セ チ レ ス 燈	燈 等 及 級
閃 白 光	閃 白 光	明 二 秒 暗 二 秒 明 暗 紅 光	閃 綠 光	質 級
全 度	全 度	全 度	全 度	弧 明
3.5	3.5	3.5	3.5	上 礎 基 燈 高 (米)
1/10	1/10	1/10	1/10	面 水 平 均
6	8.5	6.5	5.5	數 光 燭
● 鐵 道 省 立	● 鐵 道 省 立	● 內 務 省 立	● 內 務 省 立	記 事
青 森 港 東 防 波 堤 燈 臺 ハ 二 二 四 度 五 八 〇 米 水 深 一 二 米 七 昭 和 九 年 九 月 名 稱 塗 色 位 置 變 更	青 森 港 東 防 波 堤 燈 臺 ハ 一 九 八 度 三 二 〇 米 水 深 一 二 米 七 昭 和 九 年 九 月 名 稱 位 置 變 更	西 防 波 堤 燈 臺 ハ 二 四 四 度 四 五 分 北 防 波 堤 燈 臺 ハ 二 三 二 度 〇 分 東 防 波 堤 燈 臺 ハ 一 九 七 度 〇 分 水 深 一 六 米 ● 內 務 省 立	西 防 波 堤 燈 臺 ハ 二 四 四 度 四 五 分 北 防 波 堤 燈 臺 ハ 二 三 二 度 〇 分 東 防 波 堤 燈 臺 ハ 一 七 九 度 〇 分 水 深 一 六 米 ● 內 務 省 立	航 行 危 險 ナリ 假 設 第 二 號 挂 燈 浮 標 ト ノ 間 ハ 船 舶 ノ

燈臺 本州東岸

150		149		148		147		146	
根	中	埼	鉾	港木八 燈高	港木八 燈低	港木八 燈低	港木八 燈低	港木八 燈低	港木八 燈低
標燈	標燈	標燈	標燈	標燈	標燈	標燈	標燈	標燈	標燈
暗礁上	釜石港口	鉾埼	岩手縣	八木港	岩手縣	八木港	岩手縣	沖合	北防波堤
39° 141'	16' 54'	39° 142'	33' 5'	40° 141'	21' 46'	40° 141'	21' 46'		
月十年五和昭	月三年五十三治明	月四年三十正大	月四年三十正大	月四年三十正大	月四年三十正大	月四年三十正大	月四年三十正大	月六年八和昭	月六年八和昭
鐵造	四角櫛形	鐵造	八角形	木造	竿柱	木造	竿柱	木造	竿柱
ガアセチレン	毎三秒一閃光	石油白熱燈	（紅光副燈）	電燈	不動紅光	電燈	不動紅光	石燈	不動白光
全度	9	一八度迄	一六八度	度	一三五八	度	一三五八	全度	全度
9	11.1	30.0	58.0	9.1	18.0	9.1	9.1	2.0	2.0
10弱	100	100	100	10弱	10弱	10弱	10弱	10弱	10弱
6	20.0	20.0	20.0	4	4	4	4	4.0	4.0
昭和九年六月燈質光達距離變更	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス

燈臺 本州北岸及東岸 (口印ハ船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ箇所)

145		144		143		142	
港木八 燈防入船	港木八 燈防北	港木八 燈防北	港木八 燈防北	港木八 燈防北	港木八 燈防北	港木八 燈防北	港木八 燈防北
標燈	標燈	標燈	標燈	標燈	標燈	標燈	標燈
北防波堤	八戸港	八戸港	八戸港	八戸港	八戸港	八戸港	八戸港
40° 141'	32' 33'	40° 141'	32' 33'	41° 141'	8' 24'	41° 141'	26' 28'
月二十年二和昭	月二十年五和昭	月九年六和昭	月九年六和昭	月九年六和昭	月九年六和昭	月九年六和昭	月九年六和昭
混泥土造	圓錐形	混泥土造	圓錐形	混泥土造	圓錐形	混泥土造	圓錐形
電燈	不動紅光	電燈	不動綠光	電燈	不動白光	電燈	不動白光
全度	10.0	全度	12.0	全度	11.0	全度	28.0
13	15.0	13.0	15.0	13.0	15.0	13.0	15.0
10弱	1	10弱	1	10弱	1	10弱	1
12	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0
看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス

159			158			157			156			155		
港沼仙氣 號一十第			港沼仙氣 號九第			港沼仙氣 號七第			港沼仙氣 號五第			港沼仙氣 號三第		
竿	燈		竿	燈		竿	燈		竿	燈		竿	燈	
水堤上	氣仙沼港	宮城縣	水堤上	氣仙沼港	宮城縣	水堤上	氣仙沼港	宮城縣	水堤上	氣仙沼港	宮城縣	水堤上	氣仙沼港	宮城縣
月四年七和昭			月四年七和昭			月四年七和昭			月四年七和昭			月四年七和昭		
鐵	竿	白	鐵	竿	白	鐵	竿	白	鐵	竿	白	鐵	竿	白
造	柱	色	造	柱	色	造	柱	色	造	柱	色	造	柱	色
電	不動	綠光	電	不動	綠光	電	不動	綠光	電	不動	綠光	電	不動	綠光
全			全			全			全			全		
度			度			度			度			度		
10.2			10.2			10.2			10.2			10.2		
弱			弱			弱			弱			弱		
6.2			6.2			6.2			6.2			6.2		
●宮城縣立			●宮城縣立			●宮城縣立			●宮城縣立			●宮城縣立		
南燈竿ヨリ水堤上内方ニ向ヒ距離六八二米五 看守員ヲ常置セス 燈火消滅ノ際ハ平均水面上七米二八ノ位置ニ全色 ノ豫備燈ヲ點ス			南燈竿ヨリ水堤上内方ニ向ヒ距離五四六米 看守員ヲ常置セス 燈火消滅ノ際ハ平均水面上七米二八ノ位置ニ全色 ノ豫備燈ヲ點ス			南燈竿ヨリ水堤上内方ニ向ヒ距離四〇九米五 看守員ヲ常置セス 燈火消滅ノ際ハ平均水面上七米二八ノ位置ニ全色 ノ豫備燈ヲ點ス			南燈竿ヨリ水堤上内方ニ向ヒ距離二七三米 看守員ヲ常置セス 燈火消滅ノ際ハ平均水面上七米二八ノ位置ニ全色 ノ豫備燈ヲ點ス			南燈竿ヨリ水堤上内方ニ向ヒ距離一三六米五 看守員ヲ常置セス 燈火消滅ノ際ハ平均水面上七米二八ノ位置ニ全色 ノ豫備燈ヲ點ス		

154			153			152			151		
港沼仙氣 南			島大前陸			港部長 堤波防南			港部長 堤波防北		
竿	燈		竿	燈		臺	燈		臺	燈	
水堤南端	氣仙沼港	宮城縣	大島	氣仙沼港	宮城縣	頭南防波堤	長部港	廣田灣	頭北防波堤	長部港	廣田灣
38° 53' 141° 36'			38° 50' 141° 38'			38° 59' 141° 38'			38° 59' 141° 38'		
月四年七和昭			月十年二十四治明			月二十年九和昭			月二十年九和昭		
鐵	四角	白	木	白		混	圓	白	鐵	四角	紅
造	形	色	造	色		凝	形	色	造	形	色
電	明三秒暗三秒	明暗白光	電	不動	白光	電	不動	白光	電	不動	紅光
全			五度迄			全			全		
度			13.2			度			度		
11			81.7			5.2			7		
3			2.6			8.2			8.1		
11			22.2			1.6			.6		
●宮城縣立			●宮城縣立			●岩手縣氣仙町立			●岩手縣氣仙町立		
看守員ヲ常置セス			昭和十年二月名稱變更			看守員ヲ常置セス			看守員ヲ常置セス		
南燈竿ヨリ水堤上内方ニ向ヒ距離一三六米五 看守員ヲ常置セス 燈火消滅ノ際ハ平均水面上七米二八ノ位置ニ全色 ノ豫備燈ヲ點ス			南燈竿ヨリ水堤上内方ニ向ヒ距離一三六米五 看守員ヲ常置セス 燈火消滅ノ際ハ平均水面上七米二八ノ位置ニ全色 ノ豫備燈ヲ點ス			南燈竿ヨリ水堤上内方ニ向ヒ距離一三六米五 看守員ヲ常置セス 燈火消滅ノ際ハ平均水面上七米二八ノ位置ニ全色 ノ豫備燈ヲ點ス			南燈竿ヨリ水堤上内方ニ向ヒ距離一三六米五 看守員ヲ常置セス 燈火消滅ノ際ハ平均水面上七米二八ノ位置ニ全色 ノ豫備燈ヲ點ス		

燈臺 本州東岸

177	176	175	174	173
埼取綱	港作ノ中 堤波防東	埼屋鹽	島藏地	港釜鹽 號三第
竿燈	竿燈	號信霧 臺燈	臺燈	標浮燈挂
綱江福 取名鳥 埼町縣	頭東中江福 部防ノ作名鳥 境波境港町縣	鹽屋福 埼縣	地鹽松 藏釜島 島港灣	航路左 舷
36° 56' 140° 55'	36° 57' 140° 57'	37° 0' 141° 0'	38° 19' 141° 5'	
昭和三十五年五月	昭和三十五年六月	明治三十二年二月	大正九年五月	昭和七年七月
木竿 造柱	混凝土 造柱	煉瓦 造形	石八角 造形	鐵槽上 部四角 造形
電不動 燈紅光	電不動 燈紅光	電閃白 燈一等	電閃紅 燈一等	電明二 秒暗二 秒
全度	全度	一七五度 三四度迄	全度	全度
5.5	10.5	30.5	10.5	1.5
31.5	14.5	79.5	21.5	1.5
1.5	1.5	1,500	1.5	1.5
7	12	23.5	8	5
●福島縣石城郡小名濱町立 看守員ヲ常置セス	●福島縣立 看守員ヲ常置セス	●宮城縣立 霧笛 三十秒ヲ隔テ三十秒吹鳴ス 毎月一日及十六日ハ日出時ヨリ日没時迄吹鳴セス 無線方位信號所併置	●宮城縣立 看守員ヲ常置セス	●鹽釜港低燈ハ二六六度一五分 都島東端ハ三三九度三〇分 地蔵島燈臺ハ八三度 水深六米七 ●宮城縣立 看守員ヲ常置セス

172	171	170	169
港釜鹽 燈高	港釜鹽 燈低	港釜鹽 號一第	根ノトミ
燈標	燈標	燈標	燈標
ノ東 方	東 方	航路左 舷	根島南 端
38° 19' 141° 1'	38° 19' 141° 2'		
大正九年五月	大正九年五月	昭和四年六月	昭和四年三月
鐵四角 燈造形	鐵四角 燈造形	鐵四角 燈造形	鐵四角 燈造形
電不動 燈紅光	電不動 燈紅光	電不動 燈紅光	電不動 燈紅光
度 二四二度 迄 二八七	度 二四二度 迄 二八七	全度	全度
20.5	18.5		
54.5	19.5	3.5	3.5
1.5	1.5	1.5	1.5
20	13.5	6	8
●宮城縣立 看守員ヲ常置セス	●宮城縣立 看守員ヲ常置セス	●宮城縣立 看守員ヲ常置セス	●宮城縣立 看守員ヲ常置セス
<p>●宮城縣立 内港ニ入ラントスル船舶ハ兩燈ヲ一直線二六五度 ニ望ミ進行スヘシ</p> <p>●宮城縣立 地蔵島燈臺ハ二八〇度四五分 君ヶ岡山△59ハ二三三度〇分 花瀨埼ハ二〇〇度〇分 水深六米七</p> <p>●宮城縣立 映崎ハ二三二度二三分 船入島東端ハ一三度四五分 木島南端ハ八九度二一分 水深三米六</p>			

燈臺 本州東岸

燈臺

本州東岸

(口印ハ船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ箇所)

185 184 183 182

浦勝	港里白	埼吹犬	港子銚
臺燈	臺燈	號信霧 臺燈	燈臺
鮮勝千 ヶ浦浦葉 臺外縣	白南白千 砂今里葉 泉港縣	犬吹千 埼葉縣	ノ島銚千 西南風子 方標港縣
35° 8' 140° 19'	35° 29' 140° 25'	35° 42' 140° 52'	35° 44' 140° 52'
月三年六正大	月三年九和昭	月一十年七治明	月九年二正大
混八白 凝角色 土形 造造	木四白 造角形 造造	煉圓白 瓦形 造造	木竿白 造柱 造造
石八二連第 油秒二閃閃四 白間秒チ隔白等 熱二閃チ隔光 燈光光光	電電不 燈燈動 燈燈白 燈燈光	電一每閃第 燈十白一 燈閃光等	石不 油動 燈白 燈光
リ七三度迄	記事參照	六五度迄	二一七度迄
18.	11.	27.	4.
70.	14.	51.	13.
36	250	900	
22	12	19.	2
	●千葉縣山武郡白里村立	無線方位信號所併置 船通報ニ關スル事務ヲ取扱フ 擴散角度約十五度 看守員ヲ常置セス	一ノ岩ニ近寄リタルトキ兩燈ヲ一直線ニ入港ス 分ニ望ミ進航スレハ同岩西側ノ暗礁ヲ避ケテ入港ス 低燈ハ河口得ヘシ ルコトキ波高キトキ紅白二燈ヲ連揚シ平穩ナ ルニ望ミ得ヘシ 高サ一燈速揚ノ平均水面ニ於ケル下ノ米六 ●銚子市立

181 180 179 178

港子銚	島ノ一子銚	港濱名小	港濱名小	稱名臺燈
燈低	臺燈	臺燈	竿燈	種類
千人銚千 人塚子葉 上港口縣	一銚千 ノ子港葉 島外縣	西防小福 端波名島 端塊港縣	東防小福 端波名島 端塊港縣	地位
35° 44' 140° 52'	35° 45' 140° 52'	36° 56' 140° 55'	36° 56' 140° 55'	緯北東
月九年二正大	月九年九和昭	月二十年四十四正大	月九年三十正大	月年點初
木竿白 造柱 造造	混圓白 凝土造形 造造	混圓下頭 凝土裝部 造形セス	木竿白 造柱 造造	構造及塗色
石紅紅不 油白光動 燈燈若白 燈燈シ又 燈燈クハ	ガア每閃第 アセ四秒白五 スチ一閃光等 レン光	ガア明明第 アセ二秒暗白五 スチ二秒光等 レン光	電電不 燈燈動 燈燈白 燈燈光	燈及等級
二八〇度迄	六七度ヨリ	全度	全度	弧明
2.	13	9.	7.	上礎基
12.	17	14.	11.	上面水
	15	10	10	數光燭
白光 2 紅光 1.	13	12.	11.	(深)離距達光
●高サ一燈速揚ノ平均水面ニ於ケル下ノ米六	●千葉縣立 看守員ヲ常置セス	●福島縣立 看守員ヲ常置セス	●福島縣立 看守員ヲ常置セス	記事

燈臺

本州東岸

燈臺
本
州
南
岸

The right page contains a large, faint grid or map. It appears to be a technical drawing or a geographical layout, possibly related to the 'Lighthouse' mentioned in the title. The grid is composed of several vertical and horizontal lines, creating a series of rectangular cells. The text within the grid is extremely faint and illegible. The overall appearance is that of a historical document or a technical manual page.

燈臺 本州南岸(東京海灣)

220			219			218			217			216				
港軍賀須橫 東堤波防北			港軍賀須橫 西堤波防北東			港軍賀須橫 東堤波防北東			洲荒牧本			洲荒牧本				
臺	燈	種	臺	燈	種	臺	燈	種	標	浮	燈	挂	標	浮	燈	挂
堤東端	港北防波	橫須賀軍	波堤西端	港東北防	橫須賀軍	波堤東端	港東北防	橫須賀軍	東端	荒洲ノ	本收沖	橫濱港外	方	洲ノ北東	本收鼻ノ	橫濱港口
35° 139°	19' 40'		35° 139°	19' 40'		35° 139°	19' 40'									
月十年九正大			月十年九正大			月十年九正大			月九年一十四治明			月一十年二治明				
鐵	槽	紅	鐵	槽	綠	鐵	槽	黑白橫線	鐵	上部槽形	圓錐形	黑色	鐵	上部槽形	圓筒形	黑色
造	形	色	造	形	色	造	形	線	造	形	形	色	造	形	形	色
ガア セ ス チ レ ン	毎 四 秒 一 閃 光	閃 紅 光	ガア セ ス チ レ ン	毎 四 秒 一 閃 光	閃 綠 光	ガア セ ス チ レ ン	毎 三 秒 一 閃 光	第 五 等 光	ガア セ ス チ レ ン	毎 三 秒 一 閃 光	閃 綠 光	ガア セ ス チ レ ン	三 秒 間 二 閃 光	五 秒 間 一 閃 光	連 閃 白 光	ガア セ ス チ レ ン
全			全			全			全				全			
度			度			度			度				度			
10.0			10.0			15.1			3.0				4.0			
13			13			17.0			1/10弱				1/10			
1/10弱			1/10弱			1/10			1/10弱				1/10			
8			7			13			5				9			
			●海軍省立			看守員ヲ常置セス			十二天鼻ハ二二四度五二分 堀割川口ノ北角ハ二六五度五七分 水深一〇米九 船舶ハ本浮標ノ東方ヲ通行スヘシ			十二天鼻ハ三三九度五七分 八王子鼻ハ三一四度五七分 小柴崎ハ二〇九度五七分 水深一八米二				

燈臺 本州南岸(東京海灣)

215			214			213			212			燈臺種類	
港濱橫 號四第			濱橫 北堤波防外			濱橫 南堤波防外			港濱橫 號一第			稱名臺燈	
標	浮	燈	標	浮	燈	標	浮	燈	標	浮	燈	類	種
												類	種
			北側頭部	外防波堤	橫濱港	南側頭部	外防波堤	橫濱港				地	在所
			35° 139°	27' 41'		35° 139°	27' 41'					緯	北東
												經	東
月三年五和昭			月四年十和昭			月四年十和昭			月三年五和昭			月年點初	
鐵	上部槽形	圓筒形	混泥土造	圓形	紅色	混泥土造	圓形	白色	鐵	上部槽形	圓筒形	鐵	上部槽形
造	形	形	造	形	形	造	形	形	造	形	形	造	形
ガア セ ス チ レ ン	毎 五 秒 一 閃 光	閃 白 光	ガア セ ス チ レ ン	三 秒 間 急 閃 光	五 秒 間 急 閃 光	ガア セ ス チ レ ン	三 秒 間 急 閃 光	五 秒 間 急 閃 光	ガア セ ス チ レ ン	毎 五 秒 一 閃 光	閃 白 光	ガア セ ス チ レ ン	毎 五 秒 一 閃 光
全			全			全			全			全	
度			度			度			度			度	
18.0			20.0			18.0			3.0			3.0	
3.0			20.0			20.0			1/10弱			1/10弱	
1/10弱			1/10			3			1/10弱			1/10弱	
8.0			14			14			8.0			8.0	
			●内務省立			看守員ヲ常置セス			●内務省立			記	
橫濱外防波堤南燈臺ハ二三度三〇分 距離一、〇三八米			看守員ヲ常置セス			看守員ヲ常置セス			橫濱外防波堤北燈臺ハ二〇三度五〇分 距離一、三一八米			事	

燈臺

本州南岸(東京海灣)

四五

229	228	227	226	225
三宅島	伊豆大島	城ヶ島	三崎防波	劍埼
燈臺	燈臺	燈臺	燈臺	燈臺
三宅島	伊豆大島	城ヶ島	三崎防波	劍埼
34° 6' 139° 29'	34° 48' 139° 23'	35° 8' 139° 37'	35° 8' 139° 37'	35° 9' 139° 41'
明治四十二年六月	大正四年四月	明治三十三年八月	昭和二年十一月	明治四十四年一月
石造 四角形	白 凝土造 四角形	白 凝土造 圓形	白 凝土造 圓形	白 凝土造 八角形
石油燈	不動白光	第一閃光	第一閃光	第一閃光
二三度	三五二度	二九七度	二九七度	二〇七度
7.0	13.0	9.1	7.0	12.1
22.7	111.0	29.4	9.0	40.0
10弱	30	150	10	450
8	27	15.0	10.0	17.0
●東京府三宅島立	●伊豆大島立	●城ヶ島立	●三崎防波立	●劍埼立

224	223	222	221
海淵島	觀音埼	第三海堡	第二海堡
燈臺	燈臺	燈臺	燈臺
海淵島	觀音埼	第三海堡	第二海堡
35° 13' 139° 45'	35° 15' 139° 45'	35° 17' 139° 44'	35° 19' 139° 45'
明治四十五年八月	明治二十一年一月	明治二十九年二月	明治二十七年九月
混土造 下形	混土造 八角形	鐵造 四角形	混土造 上部四角形
ガアセチレン	第一閃光	第一閃光	第一閃光
全度	一七五度迄	全度	全度
12.1	15.1	11	8.0
15.4	55.0	21	17.0
10	90	10	10
11.0	20	13.0	13
看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス

燈臺

本州南岸(東京海灣)

四四

四五

燈臺 本州南岸

238	237	236	235	234
清水港	石室埼	神子元島	稻取	眞鶴港
竿燈	臺燈	臺燈	臺燈	臺燈
清水市	石室埼	静岡縣	北東方	眞鶴港
35° 0' 138° 30'	34° 30' 138° 51'	34° 34' 138° 57'	34° 47' 139° 4'	35° 9' 139° 9'
月六年五十四治明	月八年四治明	月一十年三治明	月八年二十四治明	月一年九和昭
木造	圓形	圓形	六角形	圓形
薄鼠色	白	白	白	紅
不動紅光	第一閃光	第一閃光	第一閃光	第一閃光
度 一七五度	度 二四一度	度 全	度 二〇〇度	度 全
8.5	9	18.5	3.5	11.5
11.5	59.5	50.5	129.5	13
弱	65	白光26 紅光10.5	弱	弱
6.5	21	19.5	10	8
看守員ヲ常置セス ●清水市立	無線方位信號所併置	下田港口ハ約六度 距離五哩	看守員ヲ常置セス ●静岡縣賀茂郡稻取町立	看守員ヲ常置セス ●神奈川縣立

233	232	231	230
沖港	二見港	神後	神前
竿燈	竿燈	燈	燈
神母港	小笠原島	父見港	八丈島
26° 142°	27° 5' 142° 12'	33° 8' 139° 48'	33° 8' 139° 49'
月一年四和昭	月十年二和昭	月八年八和昭	月八年八和昭
木造	木造	圓形	圓形
白	白	白	白
不動紅光	不動紅光	不動紅光	不動紅光
度 零度	度 二二八度	度 全	度 全
6.5	6.5	2.5	2.5
7.5	8.5	8.5	6.5
弱	弱	弱	弱
3.5	6.5	3	2
看守員ヲ常置セス ●東京府小笠原島母島沖村立	看守員ヲ常置セス ●東京府小笠原島父島大村立	看守員ヲ常置セス ●東京府八丈島三根村立	兩燈ヲ一直線一九六度ニ望ミ進航スルトキハ沖與左右門礁、アミカ、リ礁ヲ避ケ入港スルコトヲ得ヘシ 看守員ヲ常置セス ●東京府八丈島三根村立

燈臺 本州南岸

燈臺 本州南岸

256		255		254		253		252	
港田半		川堀		洲現權		間千		野真	
竿燈	竿燈	標浮燈挂	標浮燈挂	竿燈	竿燈	竿燈	竿燈	竿燈	竿燈
地康衛新田	愛知縣	突堀川北岸	大濱町	知多縣	愛知縣	權現洲	知多縣	一色町	三河灣
34° 136°	53' 57'	34° 136°	52' 59'			34° 137°	47' 3'	34° 137°	47' 2'
月八年九和昭	月七年四和昭	月三年八和昭	月三年八和昭	月五年六和昭	月五年六和昭	月五年六和昭	月五年六和昭	月五年六和昭	月五年六和昭
鐵造	三角櫓形	白	木竿柱	繪裝セサ	鐵造	上部櫓形	圓筒形	紅	木竿柱
電燈	不動白光	電燈	不動白光	ガアセチレン	電燈	不動白光	電燈	不動白光	電燈
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
度	度	度	度	度	度	度	度	度	度
12.1	4.1					13.0	9.1		
14.4	7					16.7	12.2		
10.5	10					白 10弱 紅 10弱	上 8 下 6	上 10弱 下 10弱	上 8 下 6
●愛知縣牛田町立	●愛知縣牛田町立	●愛知縣牛田町立	●愛知縣牛田町立	●愛知縣牛田町立	●愛知縣牛田町立	●愛知縣牛田町立	●愛知縣牛田町立	●愛知縣牛田町立	●愛知縣牛田町立

燈臺 本州南岸

251		250		249		248	
高西		生榮		色茶		口川崎矢	
竿燈	竿燈	竿燈	竿燈	臺燈	臺燈	竿燈	竿燈
一色町	三河灣	一色町	三河灣	西酒手島	一色町	東岸	矢崎川口
34° 137°	47' 2'	34° 137°	49' 0'	34° 137°	47' 1'	34° 137°	47' 5'
月五年六和昭	月五年六和昭	月五年六和昭	月五年六和昭	月十年四正六	月十年四正六	月六年四和昭	月六年四和昭
鐵造	三角櫓形	繪裝セサ	鐵造	鐵櫓形	六角形	白	木竿柱
電燈	不動白光	電燈	不動白光	ガアセチレン	電燈	不動白光	電燈
全	全	全	全	度	二八九度	全	全
度	度	度	度	迄	迄	度	度
12.1	20.0			11.5	15.4	9.1	11.2
15.0	24.3			15.4	15.4	11.2	11.2
10	12			11	11	10	10
●愛知縣幡豆郡一色町立	●愛知縣幡豆郡一色町立	●愛知縣幡豆郡一色町立	●愛知縣幡豆郡一色町立	●愛知縣幡豆郡一色町立	●愛知縣幡豆郡一色町立	●愛知縣幡豆郡一色町立	●愛知縣幡豆郡一色町立

燈臺 本州南岸

265	264	263	262	261
瀬ガート	埼間野	口川海内	口川海山	港濱豊
ノトノ北	野間埼	内海川口	山海川口	豊濱港
34° 136°	34° 45' 136° 51'	34° 43' 136° 54'	34° 43' 136° 54'	34° 42' 136° 56'
月九年二正大	月三年十正大	月十年四和昭	月十年四和昭	月一年六和昭
鐵上部構造	圓筒形	紅白色	連閃白光	電燈
ガアセスレ	秒間三閃光	五秒三閃光	五秒三閃光	電燈
全度	全度	全度	全度	全度
5	17	3.4	3.4	7.3
10	20	7.7	7.7	41.0
9	7.10	10弱	10弱	10弱
9	13.2	6.5	6.5	6.5
●愛知縣立 昭和九年七月燈高光速距離變更	名古屋港西突堤燈臺ハ三一度一八分 鬼ヶ埼ハ一三四度三四分 水深一八米二	●愛知縣知多郡内海町立 看守員ヲ常置セス	●愛知縣知多郡内海町立 看守員ヲ常置セス	●愛知縣知多郡豊濱町立 看守員ヲ常置セス

260	259	258	257
洲中前	洲中後	石角	川蜆
燈	燈	燈	燈
34° 136°	34° 42' 136° 56'	34° 42' 137° 0'	34° 51' 136° 58'
月一年六和昭	月一年六和昭	月十年七正大	月七年四和昭
木竿造	鐵柱	鐵柱	木竿造
電燈	不動白光	不動紅光	不動白光
全度	全度	全度	全度
7.3	3.0	12.1	9.0
22.5	46.1	12.1	12.0
10弱	10弱	10	10
6.5	6.5	11.5	12
●愛知縣知多郡豊濱町立 看守員ヲ常置セス	●愛知縣知多郡豊濱町立 看守員ヲ常置セス	●愛知縣知多郡豊濱町立 看守員ヲ常置セス	●愛知縣知多郡大濱町立 看守員ヲ常置セス
●愛知縣知多郡豊濱町立 看守員ヲ常置セス 兩燈ヲ一直線ニ望ミ通航スレハ附近ノ暗礁ヲ避ケルコトヲ得 後燈ハ前燈ヨリ二一度二〇分 距離約一七五米			

燈臺 本州南岸

274	273	272	271	270
港屋古名 號二第	港屋古名 號一第	港屋古名 堤突西	港外港屋古名 號四第	港外港屋古名 號三第
標浮燈挂 右航突名 路境內古 航ノ内港	標浮燈挂 左航突名 路境內古 航ノ内港	臺燈 西突堤端 名古屋港	標浮燈挂 ノ外港航 右航路路 名古屋港	標浮燈挂 ノ外港航 左航路路 名古屋港
		35° 2' 136° 52'		
月九年二正大	月一十年七和昭	月一十年七卅治明	月四年四正大	月四年四正大
鐵上部圓紅 造槽形形色	鐵上部圓黑 造槽形形色	混鐵上四白 凝造部角形 土造下部形 色	鐵上部圓紅 造槽形形色	鐵上部圓黑 造槽形形色
ガア毎閃 セ三秒一 スチ一閃 レ光光 燈ン	ガア毎閃 セ三秒一 スチ一閃 レ光光 燈ン	ガア明明第 セ三秒暗五 スチ二秒等 レ光光 燈ン	ガア毎閃 セ三秒一 スチ一閃 レ光光 燈ン	ガア四秒 セ間二隔 スチ一閃 レ光光 燈ン
全	全	全	全	全
度	度	度	度	度
3	3.0	16.4	3.0	3.0
10弱	10弱	18.0	10弱	10弱
7	6.0	1.0	7	6
		●愛知縣立	●愛知縣立	●愛知縣立
	第二號挂燈浮標ト相對シ入口ニ近ク第三、五、七號 浮標ト順次各六個ノ距離ヲ有ス 水深八米五		第三號挂燈浮標ト相對シ名古屋港西突堤燈臺ハ二 五度一分 距離約一哩四六 水深八米五	名古屋港西突堤燈臺ハ二九度四分 距離約一哩四五 水深八米五

269	268	267	266
港外港屋古名 號二第	港外港屋古名 號一第	港賀須橫知愛 北堤波防東	港賀須橫知愛
標浮燈挂 ノ外港航 右航路路 名古屋港	標浮燈挂 ノ外港航 左航路路 名古屋港	竿燈 地先東防 濱屋敷 伊勢灣	竿燈 南堤天寶 西角防新 伊勢灣
		35° 1' 136° 53'	35° 1' 136° 53'
月四年四正大	月四年四正大	月六年九和昭	月六年九和昭
鐵上部圓紅 造槽形形色	鐵上部圓黑 造槽形形色	混圓ル繪 凝土造形セ 電	混圓ル繪 凝土造形セ 電
ガア毎閃 セ三秒一 スチ一閃 レ光光 燈ン	ガア四秒 セ間二隔 スチ一閃 レ光光 燈ン	電不動紅 燈光	電不動綠 燈光
全	全	全	全
度	度	度	度
3.0	3.0	7	7
10	10	9.4	9.4
8.0	8.0	10弱	10弱
		5.0	4
●愛知縣立	●愛知縣立	●愛知縣橫須賀町立	●愛知縣橫須賀町立
	第一號挂燈浮標ト相對シ名古屋港西突堤燈臺ハ二 八度三分 距離約二哩九四 水深八米五	名古屋港西突堤燈臺ハ三一度六分 距離約二哩九二 水深八米五	電燈故障ノ際ハ平均水面上八米九五ノ位置ニ同色 ノ石油燈ヲ點ス 看守員ヲ常置セス ●愛知縣橫須賀町立

燈臺 本州南岸

283	282	281	280	279
港屋古名 口川中	地 築	港屋古名 號二十第	港屋古名 號一十第	港屋古名 號十第
竿 燈	臺 燈	標 浮 燈 挂	標 浮 燈 挂	標 浮 燈 挂
頭防西中名 波堤川古 部ノ側口屋 ノノノ港	南築名 西地古 角地屋 角地港	右航突名 舷路堤古 ノノ内屋 ノノ内港	左航突名 舷路堤古 ノノ内屋 ノノ内港	右航突名 舷路堤古 ノノ内屋 ノノ内港
35° 5' 136° 53'	35° 5' 136° 53'			
月四年三正大	月九年三十四治明	月三年七正大	月一十年七正大	月九年二正大
鐵 櫓 白 造 形 色	木 四 白 造 角 形 色	鐵 上 圓 紅 造 部 筒 形 色	鐵 上 圓 黑 造 部 筒 形 色	鐵 上 圓 紅 造 部 筒 形 色
電 不 動 綠 光	電 紅 綠 光 各 十 秒	ガ ア 毎 三 秒 一 閃 光 セ チ レ ン	ガ ア 毎 三 秒 一 閃 光 セ チ レ ン	ガ ア 毎 三 秒 一 閃 光 セ チ レ ン
全 度	一八度迄	全 度	全 度	全 度
7.0	8.0			
10.0	11.0	3	3	3
10弱	紅 綠 10	10弱	10弱	10弱
3	11	7	5	7
●愛知縣立 看守員ヲ常置セス	●愛知縣立 看守員ヲ常置セス	●愛知縣立 昭和九年七月名稱變更	●愛知縣立 昭和九年七月名稱變更	●愛知縣立 東突堤西端ハ八二度〇分距離三〇〇米 水深八米五 ●愛知縣立 昭和九年七月名稱變更

278	277	276	275	稱名臺燈 類 種
港屋古名 號八第	港屋古名 號七第	港屋古名 號六第	港屋古名 號四第	稱名臺燈 類 種
標 浮 燈 挂	標 浮 燈 挂	標 浮 燈 挂	標 浮 燈 挂	類 種
右ノ突名 航堤古 舷路内屋 ノノ内港	左航突名 舷路堤古 ノノ内屋 ノノ内港	右航突名 舷路堤古 ノノ内屋 ノノ内港	右航突名 舷路堤古 ノノ内屋 ノノ内港	類 種
				類 種
月七年九和昭	月七年九和昭	月九年二正大	月九年二正大	類 種
鐵 上 圓 紅 造 部 筒 形 色	鐵 上 圓 黑 造 部 筒 形 色	鐵 上 圓 紅 造 部 筒 形 色	鐵 上 圓 紅 造 部 筒 形 色	類 種
ガ ア 毎 三 秒 一 閃 光 セ チ レ ン	ガ ア 毎 三 秒 一 閃 光 セ チ レ ン	ガ ア 毎 三 秒 一 閃 光 セ チ レ ン	ガ ア 毎 三 秒 一 閃 光 セ チ レ ン	類 種
全 度	全 度	全 度	全 度	類 種
3.0	3.0	3	3	類 種
10弱	10弱	10弱	10弱	類 種
8	6.0	7	7	類 種
●愛知縣立 昭和九年七月位置變更	●愛知縣立 昭和九年七月位置變更	●愛知縣立 昭和九年七月位置變更	●愛知縣立 昭和九年七月位置變更	類 種
東突堤西端ハ八二度〇分距離三〇〇米 水深八米五 ●愛知縣立 昭和九年七月位置變更	東突堤西端ハ八二度〇分距離三〇〇米 水深八米五 ●愛知縣立 昭和九年七月位置變更	東突堤西端ハ八二度〇分距離三〇〇米 水深八米五 ●愛知縣立 昭和九年七月位置變更	西突堤燈臺ハ二〇六度三七分距離一、一七〇米 水深八米五 ●愛知縣立 昭和九年七月位置變更	類 種

燈臺 本州南岸

燈臺 本州南岸

292	291	290	289	288
ワセ 條西路土	港阪松 堤波防東	埼	工費	港市日四 號二第
竿燈	竿燈	臺燈	標浮燈挂	燈導
土路川口	頭東大口伊 部防波堤灣勢海	岩田川口	右航防四 舷路ノ波堤日 ノ内港	四日市港
34° 32' 156° 43'	34° 37' 136° 33'	34° 43' 136° 32'		34° 57' 136° 38'
昭和五年一月	昭和六年十月	明治十年八月	大正五年九月	大正五年五月
木竿白	鐵圓白	混凝土四角白	鐵上圓紅	鐵下二四紅
造柱色	造柱色	造柱形色	造上部筒形色	造下二揚上角形色
電不動白光	電不動綠光	電不動紅光	ガア毎閃	電不動紅光
燈	燈	燈	カア三秒一閃光	燈
二五二度迄	全度	全度	全度	度 二四六度
7.0	5	7.0	3.0	上燈22.7 下燈19.7
12.0	7.0	15.0	1.0弱	上燈25.1 下燈22.1
1.0	1.0	1.0	上燈各1.0	上燈15 下燈14
11.0	9.0	12.0	6	
●三重縣度會郡豐濱村立 看守員ヲ常置セス	●三重縣松阪市立 看守員ヲ常置セス	●津市立	●三重縣立 水深九米一	前後兩燈間距離四七〇米 看守員ヲ常置セス 昭和十年五月後燈色變更 淺深區域ヲ示ス 四日市港防波堤燈臺ハ一〇度一五分 四日市港高燈ハ二七三度五分 水深九米一

287	286	285	284
港市日四 燈前	港市日四 堤波防	港屋古名 尖中堤突東 側東路水	港屋古名 部頭堤突東
燈導	臺燈	臺燈	臺燈
四日市港	防波堤上	東突堤	名古屋港
34° 57' 136° 39'	34° 57' 136° 40'	35° 4' 136° 53'	35° 4' 136° 53'
大正五年五月	大正五年五月	明治十年六月	明治十年七月
鐵槽四角紅	鐵上混六白	鐵上圓白	鐵上圓紅
造形形色	造上部凝土角形色	造上部筒形色	造上部筒形色
電不動紅光	ガア明明第	ガア明明	ガア明明
燈	カア三秒暗三秒	カア三秒暗三秒	カア三秒暗三秒
度 二七四度	全度	全度	全度
12.0	12.0	6.0	6.0
14.0	14.0	8.0	8.0
10	1.0	1.0弱	1.0弱
12	12.0	7	6
深筋ヲ經テ入港セントスル船舶ハ兩燈ノ三燈火ヲ一 直線二七六度一七分ニ望ミ進行スヘシ	看守員ヲ常置セス	●愛知縣立 看守員ヲ常置セス	●愛知縣立 看守員ヲ常置セス

燈臺 本州南岸

燈臺

本州南岸

(口印ハ船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ箇所)

301 300 299 298 297

301	300	299	298	297
埼乘安	島菅島	神	羽燈	鳥燈
臺燈	臺燈	臺燈	燈	燈
的矢港口	菅島羽港口	北東端	鳥羽港	鳥羽港
34° 136°	34° 136°	34° 137°	34° 136°	34° 136°
22° 55'	30° 55'	33° 0'	29° 51'	29° 51'
月四年六治明	月七年六治明	月五年三十四治明	月二年五十四治明	月二年五十四治明
木八角形	煉瓦造	形鐵造	混泥土造	鐵造
白	白	白	白	白
第一閃光	不動白	第一閃光	不動紅	不動紅
三三度迄	八度迄	一五六度	二四三度	二二二度
10.0	8.0	7.0	7	22.7
31	54.0	112.7	59.1	42.7
45	18	65	1.70	1.70
16	20	27	20	18
		副燈不動白光一千燭光ノ電燈ヲ以テ約六〇度距離七哩ノ「コブカミ」礁最淺部上チ光射ス (立標ノ部参照) 船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ但シ夜間ハ取扱ハ電信局(二等)設置 昭和十年三月副燈變更	兩燈チ一直線二四四度三〇ニ望ミ南七〇度西ニ進航スレハ鳥羽港口菅島水道ニ於ケル暗礁ヲ避ケルコトヲ得	

296 295 294 293

296	295	294	293
港志答	港湊大勢伊	港湊大勢伊	港湊大勢伊
堤波防南	西	央中	東
臺燈	竿燈	竿燈	竿燈
頭南防波堤	大湊港	大湊港	大湊港
伊勢灣口	伊勢灣	伊勢灣	伊勢灣
34° 136°	34° 136°	34° 136°	34° 136°
32° 54'	31° 45'	31° 45'	32° 46'
月五年八和昭	月五年六和昭	月五年六和昭	月五年六和昭
混泥土造	混泥土造	混泥土造	混泥土造
圓形	四角形	四角形	四角形
白	白	白	紅
不動綠	不動白	不動白	不動紅
全度	全度	全度	全度
8.0	5.0	5.0	6.0
11	5.0	5.0	6.0
11	8	8	4
●三重縣立 看守員ヲ常置セス	●三重縣立 看守員ヲ常置セス	●三重縣立 看守員ヲ常置セス	
			記
			事

燈臺

本州南岸

燈臺 本州南岸

310	309	308	307	306
埼木三	港鷺尾 號二第口北	港鷺尾 號一第口北	港鷺尾 堤波防	港浦賀相 堤波防
臺燈	竿燈	竿燈	臺燈	臺燈
三木埼	尾鷺港	尾鷺港	尾鷺港	頭防相賀浦 波堤港
33° 58' 136° 16'	34° 4' 136° 13'	34° 4' 136° 13'	34° 4' 136° 13'	34° 17' 136° 39'
月一十年三和昭	月三年六和昭	月三年六和昭	月三年六和昭	月五年九和昭
混凝土造	混凝土造	混凝土造	混凝土造	混凝土造
圓形	四角形	四角形	圓形	圓形
白	紅	白	紅	紅
連閃三 等	不動紅 光	不動白 光	明暗紅 光	不動紅 光
石三十八 油二秒 白閃秒 熱間テ	電燈	電燈	電燈	電燈
一八五度	全度	全度	全度	全度
11	4.7	4.7	9.3	4.3
150	7.3	7.3	11.7	7.0
60	10弱	10弱	11.5	7
30	4	8	11.5	10
	●三重縣立	看守員ヲ常置セス	●三重縣立	看守員ヲ常置セス

305	304	303	302	稱名臺燈 類種
島小摩志	港切波 堤波防	埼王大	村乘安	
臺燈	臺燈	臺燈	竿燈	
小島	頭北波三 防波切重 部堤港縣	大王埼	辨的天三 天埼港縣	
34° 14' 136° 49'	34° 17' 138° 54'	34° 16' 136° 54'	34° 22' 136° 54'	
月三年四十四治明	月六年三和昭	月十年二和昭	月五年五和昭	
鐵造	混凝土造	混凝土造	鐵造	
六角形	圓形	圓形	圓柱形	
白	白	白	鼠色	
明暗白 光	不動白 光	閃紅白 光	不動白 光	
ガアセ スレ	電燈	電燈	電燈	
全度	全度	七九度迄	全度	
6.1	7.0	20	3.5	
20.0	12.0	45.0	5.0	
白光13 紅光9	白4紅1	60	10	
13 9	11.0	18	9	
昭和十年二月名稱變更	●三重縣志摩郡波切町立 一〇度ヨリ二二度迄ハ紅光ヲ以テ神ノ島及其ノ附 近ノ危險地ヲ示ス 看守員ヲ常置セス	一三一度ヨリ二二一度〇分迄ハ老埼東北方岩礁及 「アシカド」瀬又二六二度三〇分迄ハ大王岩ヲ執レ モ紅光ヲ以テ示ス 看守員ヲ常置セス ●三重縣志摩郡波切町立	●三重縣志摩郡安乘村立 看守員ヲ常置セス	
				記
				事

燈臺 本州南岸

燈臺

本州南岸

(口印ハ船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ箇所)

318 317 316 315

318	317	316	315
埼御ノ日伊紀	埼江市	岬潮	鳥我苗
臺燈	臺燈	臺燈	臺燈
日ノ東紀伊水道 御側	市和歌山縣 江	潮和歌山縣 岬	苗大鳥港 我鳥
33° 53' 33° 135° 3'	33° 35' 35° 135° 24'	33° 26' 26° 135° 45'	33° 27' 27° 135° 48'
月一年八十二治明	月十年十正大	月九年六治明	月一年三和昭
鐵圓白 造形色	混凝土八角 造形色	石圓白 造形色	鐵槽四紅 造形色
電四テ二連第 十五閃白二 秒光等	電二テ二連第 八閃白四 秒光等	電明十秒暗五 明暗白等	電不動紅 光
一七二度迄	一四五度迄	一三〇度迄	二七八度
10.0	9.1	19.1	51.4
80.3	96.2	50.0	78.0
500	90	55	10.0
23.0	25	19.3	10.0
昭和十年二月名稱變更 船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ		船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ但夜間ハ取扱ハス	看守員ヲ常置セス ●和歌山縣西牟婁郡串本町立

314 313 312 311

314	313	312	311
埼野樫	埼取梶	鳥鶴	港泊古
臺燈	臺燈	臺燈	臺燈
東大鳥ノ	梶取埼	鶴鳥頂上	頭防古三 部波泊重 堤堤港縣
33° 28' 33° 135° 52'	33° 30' 30° 135° 58'	33° 37' 37° 135° 57'	33° 53' 53° 136° 8'
月六年三治明	月二十年二世治明	月七年三正大	月五年九和昭
石圓白 造形色	混凝土圓白 造形色	木白 造形色	混凝土圓紅 造形色
電五十五秒間 閃光	石油不動白 光	電不動白 光	電不動紅 光
一三三度迄	一四四度迄	一九一度	全
4.0	5.0	7	5.0
40.0	37.7	60	8.0
650	10.0	10.0	10.0
17.0	8	7	10.0
水深四米一 上瀬ノ暗礁ハ約四二度四五分 距離二浬	●和歌山縣東牟婁郡太地町立	●和歌山縣東牟婁郡勝浦町立 看守員ヲ常置セス	●三重縣立 看守員ヲ常置セス

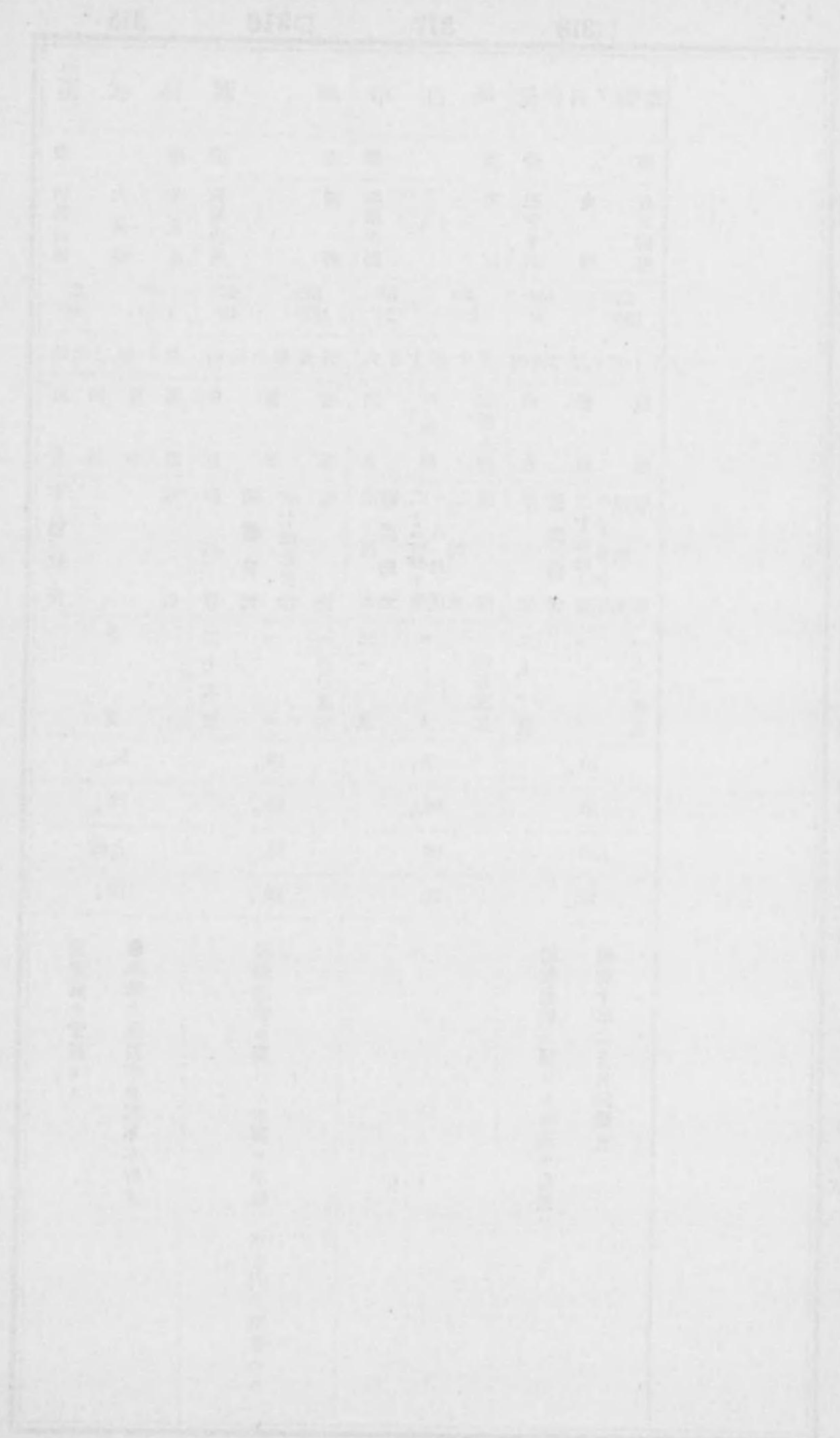
燈臺

本州南岸

燈

臺

本州北西岸



332

331

330

燈臺 本州北西岸

島	角	牛	特	島	井	蓋	稱名臺燈種
北西端	角山ノ	山口ノ	山口ノ	蓋井島	西口	下關海峡	類種
34° 130°	21' 51'	34° 130°	19' 53'	34° 130°	6' 47'		地在所 緯北東 經東
明治九年三月	明治四年五月一年	明治四年五月一年	明治四年五月一年	明治四年五月一年	明治四年五月一年	明治四年五月一年	位置 初點
御影石造	圓形	繪裝セサ	第一等	石油白熱燈	每五秒一閃光	閃光	構造及燈質
度迄	二三二	三五二	度迄	度迄	度迄	度迄	等級
26	4.	13.					弧明
43	26.	99.					上礎基 上面水 數光燭
180	白光 4 紅光 1.5	30					燈高(米) 平均
18.	15	25.					(注)離距達光
距離八鐘	「クズセ」ハ約三三〇度	紅光ヲ以テ三五度ヨリ九五度迄ハ鼠島(壁岩及港口附近ノ危險礁)ヲ、又一〇四度ヨリ一七〇度迄ハ二子島及港口附近ノ危險礁ヲ示ス					記事

本州北西岸

350	349	348	347	346
港住香 堤波防	港露賀 堤波防	露賀 燈高	露賀 燈低	港境
臺燈	竿燈	燈尊	燈尊	標浮燈挂
頭防香兵 波住庫 部堤港縣	頭防賀鳥 波露取 部堤港縣	賀鳥 露縣	賀鳥 露縣	境鳥 港口縣
35° 39' 134° 38'	35° 33' 134° 11'	35° 32' 134° 11'	35° 32' 134° 11'	
月八年十和昭	月一十年五和昭	月七年五十正大	月七年五十正大	月四年六和昭
混圓紅 凝土形色	鐵四角白 造造形色	木竿白 造柱色	木竿白 造柱色	鐵上圓黑 造部筒筒色
石油燈	電不動 燈紅光	電不動 燈白光	電不動 燈白光	ガア毎閃 アセチレン三秒一閃光
全度	全度	全度	度 一六九度 二一四	全度
5.1	9.1	9.1	8.2	
11	10.0	24.2	10.0	3.1
10弱	10	10	10	10弱
4.0	11.2	13	11.2	5
●兵庫縣立 看守員ヲ常置セス	●鳥取縣氣高郡賀露村立 看守員ヲ常置セス 豫備燈ヲ平均水面上五米六ノ位置ニ常置ス	●鳥取縣氣高郡賀露村立 看守員ヲ常置セス	●鳥取縣氣高郡賀露村立 看守員ヲ常置セス 千代川口ニ入ラントスル船舶ハ兩燈火ヲ一直線ニ 九一度三〇分ニ望ミ進行スヘシ 兩燈間距離約五五〇米	紅燈ハ四二度一八分 防波堤燈臺ハ一一〇度一三分 境港燈臺ハ二五二度一一分 水深七米三〇

245	344	343	342	稱名臺燈 類種
港境 燈後	港境 燈前	港境 堤波防	海 口川橋大	類種
燈尊	燈尊	臺燈	標浮燈挂	類種
境鳥 取縣	境鳥 取縣	頭防境鳥 部堤港縣	大橋中鳥 橋川海根縣	地在所
35° 33' 133° 14'	35° 31' 133° 14'	35° 33' 133° 16'		緯北東 經東
月四年六和昭	月四年六和昭	月四年六和昭	月三年十和昭	月年點初
鐵四角白 造造形色	鐵四角白 造造形色	混圓白 凝土形色	鐵上圓紅 造部筒筒色	構造及塗色
電不動 燈綠光	電不動 燈綠光	ガア明明 アセチレン二秒暗二秒 燈	ガア毎閃 アセチレン三秒一閃光	燈及等級
全度	全度	全度	全度	弧明
22	12	10.0		上礎基 上面水 數光燭
24.1	13.2	13.0	3.2	燈高(米) 平均
1	1	1.0	10弱	數光燭
15	12	12	6	(深)離距達光
●鳥取縣立 看守員ヲ常置セス 後燈ハ前燈ヨリ二五四度四〇分 距離五八八米八八	●鳥取縣立 看守員ヲ常置セス 境港内ニ入ラントスル船舶ハ前燈後燈ヲ一直線ニ 望ミ進航スヘシ	●鳥取縣立 看守員ヲ常置セス	●鳥取縣立 看守員ヲ常置セス 鶴鼻三五九度、渡島五一度一〇分 意東鼻一二二度一〇分 大橋川淺深區域ニ於ケル水深四米五ノ終端ヲ示ス	記 事

359	358	357	356	355
高野川口	博奕岬	三本松鼻	松ヶ崎	間人港
竿燈	竿燈	竿燈	標浮燈挂	竿燈
舞鶴港	舞鶴港口	舞鶴港口	舞鶴港口	舞鶴港口
35° 28' 135° 19'	35° 33' 135° 21'	35° 30' 135° 21'	35° 29' 135° 24'	35° 45' 135° 5'
昭和三年三月	大正十四年三月	大正十四年八月	昭和八年二月	昭和五年七月
木竿	木竿	鐵竿	鐵竿	鐵竿
塗裝セサ	紅白横線	紅色	紅色	紅色
柱造	柱造	柱造	柱造	柱造
電燈	電燈	電燈	電燈	電燈
不動白光	不動白光	不動白光	不動白光	不動白光
全度	全度	全度	全度	全度
7.0	6.0	5.0	3.0	6.0
8.0	130	14.0	3	21.0
10.0	12.0	6	4	10
●京都府舞鶴町立 看守員ヲ常置セス	●海軍省立 ●海軍省立	●海軍省立 昭和十年二月名稱變更	●海軍省立	●京都府竹野郡間人町立 看守員ヲ常置セス

354	353	352	351
經ヶ岬	津居山港	津居山港	柴山港
臺燈	臺燈	臺燈	臺燈
京都府	兵庫縣	兵庫縣	兵庫縣
35° 47' 135° 13'	35° 39' 134° 50'	35° 39' 134° 50'	35° 40' 134° 40'
明治卅一年十二月	昭和九年六月	昭和九年六月	昭和八年二月
石圓	木竿	木竿	鐵竿
白色	塗裝セサ	塗裝セサ	六角形
柱造	柱造	柱造	柱造
電燈	電燈	電燈	電燈
第一閃光	不動白光	不動白光	不動白光
七六度ヨリ	全度	全度	全度
9	4.0	7.0	6.0
143.0	5.0	108	163
330	10	51	10
30	9.0	26.0	14
●兵庫縣城崎郡港村立 看守員ヲ常置セス	●兵庫縣城崎郡港村立 看守員ヲ常置セス	●兵庫縣城崎郡港村立 看守員ヲ常置セス	●兵庫縣立 看守員ヲ常置セス

燈臺 本州北西岸

368		367		366		365		364	
野大		石金		港立橋		港國三		港賀敦	
竿燈		臺燈		竿燈		臺燈		臺燈	
大野川口		石川郡		石川縣		頭防波部		頭防波部	
36° 136°		37° 37'		36° 136°		36° 21' 19"		35° 39' 4"	
昭和九年三月		明治三十三年八月		昭和四年四月		大正十五年四月		昭和七年六月	
木竿		木四角形		鐵四角形		鐵三角形		圓形	
電燈		電燈		電燈		電燈		電燈	
不動白光		不動白光		不動紅光		不動白光		明暗紅光	
全度		二一一度迄		全度		全度		全度	
9.1		5.1		5.8		12.0		10	
10.7		18.8		8.4		15.2		13.7	
10		10		10弱		10		10弱	
11		13.5		6		12.2		7.2	
●石川縣大野町立 看守員ヲ常置セス		●石川縣石川郡金石町立 看守員ヲ常置セス		●石川縣立 看守員ヲ常置セス		●福井縣坂井郡雄島村立 看守員ヲ常置セス		看守員ヲ常置セス	

363		362		361		360	
港賀敦		埼石立		港濱小		山城濱高	
臺燈		臺燈		臺燈		竿燈	
突堤頭部		敦賀灣口		頭防波部		城高濱町	
35° 136°		40° 4'		35° 136°		46° 1'	
35° 136°		40° 4'		35° 135°		30° 45'	
大正三年五月		明治四十年七月		昭和十年一月		大正十五年六月	
圓形		圓形		鐵四角形		木竿	
電燈		電燈		電燈		電燈	
明暗白光		明暗白光		不動白光		不動白光	
全度		三一一度迄		六〇度ヨリ		全度	
10		6.1		6.8		9.1	
13.7		121.4		9.2		31.4	
10		2		10		10	
10		24		11		14	
看守員ヲ常置セス		看守員ヲ常置セス		●福井縣立 看守員ヲ常置セス		●福井縣大飯郡高濱町立 看守員ヲ常置セス	

燈臺 本州北西岸

燈臺 本州北西岸

377	376	375	374	373
嶺山猿	溜船無風	港來富	浦福	港濱高
堤波防	堤波防	堤波防	設假	港濱高
臺燈	臺燈	竿燈	竿燈	竿燈
嶺山嶺	防波堤頭	頭防波堤部	福浦港口	大念寺
石川縣	風無船溜	石川縣	石川縣	石川縣
37° 19' 136° 43'	37° 8' 136° 41'	37° 9' 136° 42'	37° 5' 136° 43'	37° 0' 136° 46'
月一十年九正大	月五年八和昭	月一年四和昭	月三年八十三治明	月五年九和昭
混凝土造	鐵三角構形	混凝土造	木竿柱	木竿柱
四角形	白色	四角形	塗裝セサ	塗裝セサ
石油白熱燈	電燈	電燈	電燈	電燈
三秒閃光	不動白光	不動白光	不動白光	不動白光
二三四度迄	全度	全度	一四九度迄	二三度ヨリ
9.1	9.0	5.0	10	11
212.4	12.1	7.0	27.0	16.0
100	10弱	10弱	10	51
35	8	8.0	13	13
	●石川縣羽咋郡西海村立 看守員ヲ常置セス	●石川縣立 看守員ヲ常置セス	●石川縣羽咋郡福浦村立 看守員ヲ常置セス	●石川縣高濱町立 看守員ヲ常置セス 投光器ハ海上ニ向テ約二六四度ヲ照輝ス 但シ擴散角度十一度乃至十五度

372	371	370	369
港瀧	港瀧	濱里千	尾白
堤波防二第	堤波防東	濱里千	尾白
竿燈	竿燈	竿燈	臺燈
堤ノ南端	頭東瀧	海千里濱町	石川縣
石川縣	石川縣	石川縣	石川縣
36° 55' 136° 45'	36° 56' 136° 45'	36° 54' 136° 46'	36° 44' 136° 41'
月一十年五和昭	月二十年五和昭	月一年九和昭	月七年三正大
土混鐵上四白	混下鐵圓紅	木竿柱	木四角形
造部角形	造部筒形	塗裝セサ	塗裝セサ
電燈	電燈	電燈	電燈
不動白光	不動紅光	不動白光	不動白光
全度	全度	全度	二一二度迄
7.0	3.0	9	4.0
8.0	5.0	25.0	18.0
10	10弱	10	10
10.0	6	10.0	13.0
●石川縣立 看守員ヲ常置セス	●石川縣立 看守員ヲ常置セス	●石川縣千里濱町立 看守員ヲ常置セス	●石川縣河北郡七塚村立 看守員ヲ常置セス

燈臺 本州北西岸

燈臺 本州北西岸

386	385	384	383	382
森田グ	七尾港	七尾灣	能登島	能登島
浮燈	浮燈	燈	燈	燈
森田グ	七尾港	七尾灣	松ヶ崎	荒神鼻
37° 137°	37° 136°	37° 137°	37° 137°	37° 137°
昭和二十二年六月	昭和七年四月	大正三年一月	明治四十四年三月	明治四十四年三月
鐵造	鐵造	鐵造	鐵造	鐵造
上部構造	上部構造	上部構造	上部構造	上部構造
ガアセチレン	ガアセチレン	ガアセチレン	ガアセチレン	ガアセチレン
全度	全度	全度	全度	全度
3.6	3.7	30.6	61.6	15.4
6	8	16	13	12.6
水深七米三	水深七米	水深七米	水深七米	水深七米

燈臺 本州北西岸

381	380	379	378
小島港	剛崎	倉島	輪島港
燈	燈	燈	燈
石川	石川	石川	石川
47° 137°	37° 137°	37° 136°	37° 136°
昭和八年十二月	明治六年七月	昭和六年四月	昭和二年二月
鐵造	鐵造	鐵造	鐵造
上部構造	上部構造	上部構造	上部構造
ガアセチレン	ガアセチレン	ガアセチレン	ガアセチレン
全度	全度	全度	全度
9	7.0	30	5.7
32	46.6	42.6	7.6
6	18	110	16
8.6	19	18	10
水深七米三	水深七米	水深七米	水深七米

燈臺 本州北西岸

395	394	393	392	391
泊小港生能	港生能	津魚	港瀬岩東	港木伏
竿燈	竿燈	臺燈	臺燈	燈臺
新湯縣 能生港	新湯縣 能生港	富山縣 魚津町	富山縣 東岩瀬	富山縣 伏木港
37° 7' 138° 0'	37° 6' 138° 0'	36° 40' 137° 23'	36° 46' 137° 14'	36° 47' 137° 4'
昭和九年十一月	昭和九年十一月	大正四年十月	昭和十年二月	大正八年四月
木竿 燈柱	木竿 燈柱	木六角形	白圓形 混泥土造	白楕圓形 鐵造
電燈	電燈	電燈	電燈	電燈
不動白光	不動白光	不動白光	第五等 明暗綠光	不動紅光
全度	全度	一九一度迄	全度	全度
9.1	5.7	10	13	17.6
10.2	21.1	12.1	15.2	19.4
10弱	70	6	270	170
8	14	11.2	12.2	13.2
●新湯縣能生町立 看守員ヲ常置セス	●新湯縣能生町立 看守員ヲ常置セス	●富山縣下新川郡魚津町立	●富山縣立 看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス

燈臺 本州北西岸

390	389	388	387
港木伏	出歌和	瀬大	礁淺
燈臺	標浮燈挂	標浮燈挂	標浮燈挂
富山縣 伏木港	和歌出ノ 南西方	七尾灣 大瀬ノ 西方	七尾灣 淺礁ノ 西方
36° 137°	48' 4'		
月十年十治明	月十年四十四治明	月十年四十四治明	月十年四十四治明
鐵楕圓形	鐵上部楕圓形	鐵上部楕圓形	鐵上部楕圓形
白	黑	黑	黑
明暗白光	閃綠光	閃紅光	閃白光
全度	全度	全度	全度
8	3	3	3
12.7	10弱	10弱	10弱
11.2	4	6	6
●伏木港漁業區域ヲ避ケ入港スルコトヲ得ヘシ	七尾町愛宕山佛閣ハ二〇七度一四分 ウスギ崎結岸ハ二八三度四四分 須曾ノ屏風突端ハ三二〇度三四分 水深一〇米九	カスギ崎結岸ハ二〇〇度四分 須曾ノ屏風南端ハ二八三度四分 松ヶ崎南端ハ一五度三四分 船舶ハ本浮標ノ西方ヲ通航スヘシ 水深一六米四	福浦村北端ハ五九度四分 カスギ崎ノ結岸ハ二三一度四分 松ヶ崎ノ南端ハ二九二度一四分 水深七米三

燈臺 本州北西岸

413		412		411		410		409	
港崎土		田酒		設假港田酒 燈後		設假港田酒 燈前		關ヶ鼠	
臺	燈	臺	燈	燈	臺	燈	臺	燈	臺
北雄土秋 岸物崎田 川口港縣		北岸最上 先端川口		酒田山形 港縣		酒田山形 港縣		西南辨鼠 南天ヶ關 端島港縣	
39° 46' 140° 3'		38° 56' 139° 48'		38° 55' 139° 49'		38° 55' 139° 49'		38° 34' 139° 32'	
昭和二年四月		明治二十八年十月		昭和九年六月		昭和九年六月		大正十四年四月	
鐵造	繪裝セサ ル三角櫓形	木造下部 混泥土造	六角形 白色	木造柱 黑白橫線		木造柱 黑白橫線		木造六角形 白色	
電燈	不動白光	電燈	明三秒暗二秒 暗紅光	電燈	不動紅光	電燈	不動紅光	電燈	不動白光
一一三度迄	六三度ヨリ	度迄	二八九度ヨリ 一九八	全度		全度		全度	
10.0		13.0		7.0		6.0		5.0	
13.1		16.7		9.0		7.0		6.0	
3 ⁵ / ₁₀		1 ⁵ / ₁₀		1 ⁰ / ₁₀		1 ⁰ / ₁₀		1 ⁰ / ₁₀	
12		13		6		6		10	
● 看守員ヲ常置セス ● 秋田縣南秋田郡土崎町立				● 看守員ヲ常置セス ● 酒田市立		● 看守員ヲ常置セス ● 酒田港へ入ラントスル船舶ハ前燈及後燈ヲ一直線ニ望ミ進航スヘシ後燈ハ前燈ヨリ一〇五度四〇分距離四五米五		● 看守員ヲ常置セス ● 山形縣西田川郡念珠關村立	

408		407		406		405	
港濱崎ヶ松		港潟新		港潟新 堤波防		埼	
竿	燈	標	浮燈	臺	燈	臺	燈
港松新 丘ヶ崎潟 上濱縣		頭東新 附附水潟 近堤堤港		頭西新 部防波潟 港		彈	新 潟 縣
37° 57' 139° 8'				37° 58' 139° 4'		38° 20' 138° 31'	
昭和九年十一月		昭和三年十二月		大正十四年六月		大正八年十二月	
木造柱	繪裝セサ ル竿	鐵造上部 圓筒形	圓筒形 黑色	混泥土造 圓筒形	紅色	混泥土造 八角形	白色
電燈	不動白光	ガアガ セチレン 燈	毎四秒一閃光 閃綠光	ガアガ セチレン 燈	明二秒暗二秒 明暗白光	石油白熱燈 十八秒三閃光 連閃白光	第四等 連閃白光
全度		全度		全度		三五七度迄	九一度ヨリ
10.0				9.1		16.7	
21.1		3.0		13.0		73.0	
1 ⁰ / ₁₀		1 ⁰ / ₁₀		1 ⁰ / ₁₀		30	
8		4		14		22.0	
● 看守員ヲ常置セス ● 新潟縣松ヶ崎濱村立		● 看守員ヲ常置セス ● 新潟港防波堤燈臺ハ三四五度五分距離三二七米二水深約四米五		● 看守員ヲ常置セス		● 九三度ヨリ九七度迄ハ二ツ龜山頂ニ遮斷セラルヘシ	

燈臺 本州北西岸

燈臺 本州北西岸

422		421		420		419		418	
埼飛龍		港泊小		前下		湯三十		港浦深	
號信霧	臺燈	竿	燈	竿	燈	竿	燈	臺	燈
龍飛埼	青森縣	小泊灣	青森縣	下小泊村	青森縣	十三湯	青森縣	頭防波堤	深浦港
41° 140°	15' 21'	41° 140°	8' 19'	41° 140°	7' 18'	41° 140°	2' 19'	40° 139°	39' 55'
昭和七年六月		昭和六年四月		昭和八年五月		昭和三年六月		大正十五年十二月	
圓形	白色	木造	紅白橫線	木造	紅白橫線	木造	紅白橫線	鐵造	上部紅色
電燈	連閃三秒	電燈	不動白光	電燈	不動白光	電燈	不動白光	電燈	不動白光
二八〇度迄	二九度ヨリ	全度		全度		全度		全度	
10		15.		12.		13.		5.	
119		16.		24.		15.		8.	
330		弱		弱		弱		弱	
27.		8		8		8		10.	
無線方位信號所併置		霧笛 五十秒ヲ隔テ八秒間二吹鳴 二秒半吹鳴三秒沈黙二秒半吹鳴		●青森縣北津輕郡小泊村立 警報ノ爲竿柱上部ニ紅光電燈三箇ヲ縱點スルコトアルヘシ 看守員ヲ常置セス		●青森縣西津輕郡十三村立 本竿柱ニハ白色電燈ノ下方六尺ヲ隔テ紅色電燈一箇ヲ點シ暴風警報信號ヲナス 看守員ヲ常置セス		●青森縣立 看守員ヲ常置セス	

燈臺 本州北西岸

417		416		415		414	
港代能		埼道入		港川船		川船	
竿	燈	臺	燈	臺	燈	臺	燈
南米代川口岸	能代港	秋田縣	ノ北端	男鹿半島	秋田縣	根ノ崎	船川灣
40° 140°	13' 0'	40° 139°	0' 42'	39° 139°	52' 52'	39° 139°	52' 50'
昭和四年四月		明治十一年一月		昭和六年五月		明治二十七年十月	
木造	圓形	鐵造	六角形	混泥土造	六角形	木造	四角形
電燈	不動白光	電燈	閃白光	電燈	明暗二秒	電燈	不動白光
全度		二九三度迄		全度		三三三度迄	一九七度ヨリ
10.		24.		12.		3.	
14.		55.		15.		43	
弱		57		弱		3%	
12		20		12.		18.	
●秋田縣山本郡能代町立 看守員ヲ常置セス		●秋田縣立 看守員ヲ常置セス		●秋田縣立 看守員ヲ常置セス		●秋田縣立 看守員ヲ常置セス	
每年四月ヨリ十月迄七ヶ月間點燈						二七八度ヨリ二八九度迄ハ綠光ヲ以テ三米八(距離約八鏈)及五米四(距離約八鏈四分ノ三)ノ兩淺瀬ヲ、又三五〇度ヨリ五度迄ハ紅光ヲ以テ距離約一哩二鏈ノ赤根礁ヲ示ス	
						記	
						事	

燈臺
內
海
(瀬戸内及下關海峽)

442

441

440

鹽田港 北突堤	洲本港	友ヶ島	燈臺名稱	燈臺種類
竿燈	臺燈	臺燈		
先北鹽淡 突田路 端堤港島	頭南洲兵 部突本庫 堤港縣	ノ友和 西ヶ歌 端島山 縣	緯北東	位 置
34° 134°	34° 134°	34° 135°	17° 0'	
月二年九和昭	月八年六和昭	月六年五治明	月年點初	
木竿 造柱	混下上六白 凝凝土部鐵角 土造部造形色	石圓白 造形色	構造及塗色	
電 燈	電 燈	石紅紅紅 油白光白互 熱各五等 燈秒秒光	燈及等級	
全 度	全 度	二三二 度迄	弧明	
4.0	9.0	9.0	上礎基	燈高(米)
6.0	11.7	60	上面水	平均
1/10	1/10	白光 9 紅光 3.5/10	數光燭	
6	11.0	20.0	(深)離距達光	
●看守員ヲ常置セス ●兵庫縣津名郡鹽田村立	●看守員ヲ常置セス ●兵庫縣津名郡洲本町立		記	
			事	

燈臺 內海(瀬戸内)

內海(瀬戸内)

451	450	449	448	447
港 阪 大 (3)	港 阪 大 (2)	港 阪 大 (1)	港 阪 大 南堤除波溜船	港 阪 大 北堤除波溜船
標 浮 燈 挂 六〇米沖 端ヨリ約 繫船岸突 第七號 大阪港	標 浮 燈 挂 六〇米沖 端ヨリ約 繫船岸突 第六號 大阪港	標 浮 燈 挂 六〇米沖 端ヨリ約 繫船岸突 第二號 大阪港	竿 燈 南 波 通 港 大 除 地 區 阪 市 堤 先 鶴 濱 市	竿 燈 北 波 通 港 大 除 地 區 阪 市 堤 先 鶴 濱 市
			34° 38' 135° 27'	34° 38' 135° 27'
月二十年四和昭	月二十年四和昭	月二十年四和昭	月五年五和昭	月五年五和昭
鐵 圓 淡 造 錐 紅 形 色 色	鐵 圓 淡 造 錐 紅 形 色 色	鐵 圓 淡 造 錐 紅 形 色 色	混 六 塗 凝 角 裝 土 形 セ 造 形 サ	混 六 塗 凝 角 裝 土 形 セ 造 形 サ
電 不 燈 動 淡 紅 光	電 不 燈 動 淡 紅 光	電 不 燈 動 淡 紅 光	電 不 燈 動 綠 光	電 不 燈 動 紅 光
全 度	全 度	全 度	全 度	全 度
2.2	2.2	2.2	3.2	3.2
10弱	10弱	10弱	4.0	4.0
6	6	6	5.5	6.5
	●大阪市立	●大阪市立	●大阪市立 鶴町北西角立標ヨリ一八一度約一五米 看守員ヲ常置セス	●大阪市立 鶴町北西角立標ヨリ二〇八度約一七〇米 看守員ヲ常置セス

446	445	444	443
阪 大 堤 突 北	阪 大 堤 突 南	尻 川 津 木 堤 波 防 南	堺
號 信 霧 臺 燈 ノ 北 大 極 突 阪 端 堤 港	臺 燈 ノ 南 大 極 突 阪 端 堤 港	臺 燈 北 南 木 大 防 防 津 阪 堤 堤 川 港	臺 燈 中 堺 大 波 止 場 阪 場 港 灣
34° 38' 135° 24'	34° 38' 135° 24'	34° 37' 135° 27'	34° 35' 135° 27'
月六年九十三治明	月六年九十三治明	月六年八和昭	月九年十治明
混 圓 白 凝 土 形 色 造 形 色	混 圓 紅 凝 土 形 色 造 形 色	混 圓 紅 凝 土 形 色 造 形 色	木 六 白 造 角 色 形 色
ガ ア 明 明 第 ア セ チ 二 暗 四 ス レ 秒 暗 白 等 レ 二 秒 光 等	ガ ア 明 明 第 ア セ チ 二 暗 五 ス レ 秒 暗 紅 等 レ 二 秒 光 等	ガ ア セ チ ス レ 不 動 紅 光	電 明 明 第 三 秒 暗 三 秒 綠 五 三 秒 暗 三 秒 綠 等 光 等
全 度	全 度	全 度	二 八 四 度迄 一 四 度ヨリ
17	17	5.7	9.7
20.0	20.0	7.3	17
3	3	10弱	2
14	14	6.5	13
霧 信 號 建 設 中	看 守 員 ヲ 常 置 セ ス	●大阪市立 看 守 員 ヲ 常 置 セ ス	●大阪府立
			記
			事

燈臺 内海(瀬戸内)

460	459	458	457	456
港戸神 西堤波防南	港戸神 東堤波防南	港戸神 南二ノ堤波防東	港戸神 北二ノ堤波防東	港戸神 南堤波防東
臺 燈	臺 燈	臺 燈	臺 燈	臺 燈
西 南 神 端 防 戸 堤 波 港	東 南 神 端 防 戸 堤 波 港	南 堤 東 神 端 ノ 防 戸 二 波 港	ノ 東 神 二 北 防 戸 端 堤 波 港	南 東 神 端 防 戸 堤 波 港
34° 39' 135° 12'	34° 39' 135° 12'	34° 39' 135° 12'	34° 40' 135° 12'	34° 40' 135° 12'
月一年九和昭	月八年六和昭	月八年六和昭	月八年六和昭	月五年七正大
混 圓 紅 凝 形 色 土 造	混 圓 白 凝 形 色 土 造	混 圓 紅 凝 形 色 土 造	鐵 四 白 造 角 形 色 構 形	鐵 構 紅 造 形 色
ガ ア 毎 閃 閃 ア セ 三 秒 紅 ス チ 秒 一 閃 光 レ 間 閃 光 燈 ン 光	ガ ア 毎 閃 第 ア セ 四 秒 白 ス チ 秒 一 閃 光 レ 間 閃 光 燈 ン 光	ガ ア 二 六 連 第 ア セ 秒 秒 閃 四 ス チ 間 二 隔 白 レ 二 閃 光 光 燈 ン 光	ガ ア 明 明 ア セ 三 秒 暗 綠 ス チ 秒 三 光 レ 閃 光 燈 ン 光	ガ ア 明 明 ア セ 三 秒 暗 紅 ス チ 秒 三 光 レ 閃 光 燈 ン 光
全	全	全	全	全
度	度	度	度	度
10	16.0	16.0	10.0	10.0
12.0	19	19	12.0	12.0
1/10弱	3	3	1/10	1/10
8	13.0	13.0	11.0	11.0
●内務省立 看守員ヲ常置セス	●内務省立 看守員ヲ常置セス	●内務省立 看守員ヲ常置セス	●内務省立 看守員ヲ常置セス	●内務省立 看守員ヲ常置セス

455	454	453	452
港戸神 東一ノ堤波防東	港宮西 (設 假)	港崎ヶ尼 堤 突	港阪大 橋 棧 大
臺 燈	竿 燈	臺 燈	臺 燈
ノ 東 神 一 東 防 戸 端 堤 波 港	東 西 兵 川 宮 庫 口 港 縣	頭 西 尼 部 突 ヶ 崎 堤 港	大 大 棧 阪 橋 港
34° 41' 135° 14'	34° 43' 135° 21'	34° 42' 135° 24'	34° 38' 135° 25'
月一年十和昭	月二十年八和昭	月四年四十正大	月八年六和昭
混 圓 白 凝 形 色 土 造	木 竿 造 柱	鐵 構 白 造 形 色	鐵 六 紅 造 角 形 色 構 形
ガ ア 毎 閃 第 ア セ 四 秒 綠 四 ス チ 秒 一 閃 光 レ 間 閃 光 燈 ン 光	電 不 不 燈 動 動 紅 紅 光 光	電 不 不 燈 動 動 紅 紅 光 光	電 不 不 燈 動 動 紅 紅 光 光
全	全	全	二 二 三 六 四 〇 度 度
度	度	度	度
16.0	15.0	7.0	6.0
19	16	10.0	8.0
1/10	1/10	1/10	1/10
13.0	11	11	10
●内務省立 看守員ヲ常置セス	●兵庫縣立 看守員ヲ常置セス	●尼ヶ崎市立 看守員ヲ常置セス	●大阪市立 看守員ヲ常置セス

燈臺 内海(瀬戸内)

燈臺 内海(瀬戸内)

478		477		476		475		474	
伊保港		高砂港		湊西港		湊東港		江井港	
燈臺	燈臺	燈臺	燈臺	燈臺	燈臺	燈臺	燈臺	燈臺	燈臺
兵庫縣伊保港	兵庫縣高砂港西	兵庫縣兵庫縣	兵庫縣兵庫縣	兵庫縣三原郡湊西	兵庫縣三原郡湊東	兵庫縣三原郡湊東	兵庫縣三原郡湊東	兵庫縣三原郡湊東	兵庫縣三原郡湊東
34° 45' 134° 40'	34° 44' 134° 48'	34° 20' 134° 44'	34° 20' 134° 44'	34° 20' 134° 44'	34° 20' 134° 44'	34° 20' 134° 44'	34° 20' 134° 44'	34° 28' 134° 50'	34° 28' 134° 50'
昭和五年十一月	昭和四年二月	昭和五年九月	昭和五年九月	昭和五年九月	昭和五年九月	昭和五年九月	昭和五年九月	昭和五年九月	昭和五年九月
鐵造 六角櫓形	鐵造 六角櫓形	木造 柱	木造 柱	木造 柱	木造 柱	木造 柱	木造 柱	木造 柱	木造 柱
電燈	電燈	電燈	電燈	電燈	電燈	電燈	電燈	電燈	電燈
不動紅光	不動紅光	不動紅光	不動紅光	不動紅光	不動紅光	不動紅光	不動紅光	不動紅光	不動紅光
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
8.9	6.1	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.7	6.7
10	10.9	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3	8.3	8.3
10弱	10	10弱	10弱	10弱	10弱	10弱	10弱	10弱	10弱
8	11.4	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	8	8
●兵庫縣印南郡伊保村立 看守員ヲ常置セス	●兵庫縣立 看守員ヲ常置セス	●兵庫縣三原郡湊町立 看守員ヲ常置セス	●兵庫縣三原郡湊町立 看守員ヲ常置セス	●兵庫縣三原郡湊町立 看守員ヲ常置セス	●兵庫縣三原郡湊町立 看守員ヲ常置セス	●兵庫縣三原郡湊町立 看守員ヲ常置セス	●兵庫縣三原郡湊町立 看守員ヲ常置セス	●兵庫縣津名郡江井町立 看守員ヲ常置セス	●兵庫縣津名郡家町立 看守員ヲ常置セス

燈臺 内海(瀬戸内)

473		472		471		470	
郡家港		鹿瀬		江崎		岩屋港	
燈臺	燈臺	燈臺	燈臺	燈臺	燈臺	燈臺	燈臺
兵庫縣郡家港	兵庫縣鹿瀬	兵庫縣江崎	兵庫縣江崎	兵庫縣岩屋港	兵庫縣岩屋港	兵庫縣岩屋港	兵庫縣岩屋港
34° 28' 134° 50'		34° 36' 135° 0'	34° 36' 135° 0'	34° 35' 135° 1'	34° 35' 135° 1'	34° 35' 135° 1'	34° 35' 135° 1'
昭和四年二月	昭和四年正月	昭和四年四月	昭和四年四月	昭和六年八月	昭和六年八月	昭和六年八月	昭和六年八月
木造 柱	鐵造 柱	鐵造 柱	鐵造 柱	木造 柱	木造 柱	木造 柱	木造 柱
電燈	電燈	電燈	電燈	電燈	電燈	電燈	電燈
不動紅光	不動紅光	不動紅光	不動紅光	不動紅光	不動紅光	不動紅光	不動紅光
全	全	全	全	全	全	全	全
4.8	3.8	4.8	4.8	7.3	7.3	7.3	7.3
9.8	10	48.8	48.8	10	10	10	10
10弱	10	白光 20 紅光 8	白光 20 紅光 8	10弱	10弱	10弱	10弱
6	8.8	19	19	6	6	6	6
●兵庫縣津名郡家町立 看守員ヲ常置セス	●兵庫縣鹿瀬町立 看守員ヲ常置セス	●兵庫縣江崎町立 看守員ヲ常置セス	●兵庫縣江崎町立 看守員ヲ常置セス	●兵庫縣岩屋町立 看守員ヲ常置セス	●兵庫縣岩屋町立 看守員ヲ常置セス	●兵庫縣岩屋町立 看守員ヲ常置セス	●兵庫縣岩屋町立 看守員ヲ常置セス

燈臺 内海(瀬戸内)

487	486	485	484	483
瀬ノ中	港松高 堤波防西	港松高 西堤波防北	島木男	岩ワナカ
標浮燈挂	臺燈	臺燈	臺燈	標燈
西中備 端ノ瀬戸	頭西高 部防松 港	頭北高 部防松 港	男香 木川 島縣	東備 口瀬 戸
	34° 21' 134° 3'	34° 21' 134° 3'	34° 26' 134° 3'	34° 25' 134° 8'
月三年二十正大	月四年四和昭	月四年四和昭	月二十年八廿治明	月八年二和昭
形形截紅 鐵上頭圓 造部部色	混混上圓紅 凝凝土部筒形 土造造形形	混混上圓白 凝凝土部筒形 土造造形形	御圓ル 影影石裝 石造造セサ	混下上圓紅 凝凝土部鐵造形 土造造形形
ガア閃 ア三秒一閃 セ秒一閃 ス二秒一閃 レ二秒一閃 ン二秒一閃	電不動 燈紅 光	ガア閃 ア三秒一閃 セ秒一閃 ス二秒一閃 レ二秒一閃 ン二秒一閃	ガア明 ア三秒一閃 セ秒一閃 ス二秒一閃 レ二秒一閃 ン二秒一閃	ガア明 ア三秒一閃 セ秒一閃 ス二秒一閃 レ二秒一閃 ン二秒一閃
全度	全度	全度	二八〇度迄	全度
	9.5	9.5	12.4	11.5
3.5	11.5	11.5	15.7	13.5
古弱	1.5	1.5	10	古弱
7.5	11.5	11.5	12.5	10
●鐵道省立	●香川縣立	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス
柏島東端ハ二七度四五分 女木島南端ハ一二三度二五分 尾崎北端ハ二五三度三〇分 水深五米九			五二度ヨリ七三度迄ハ綠光ヲ以テ「アツサ」岩及 中ノ瀬ヲ、又八一一度ヨリ九二度迄ハ紅光ヲ以テ 「オン」瀬ヲ示ス	

482	481	480	479
鼻角大	濱新	港干網	磨飾
臺燈	標燈	臺燈	臺燈
南小香 東豆川 端島ノ縣	五干新 呷呷濱 岩岩港口	頭西大 部突田 堤堤川 瓦	西飾兵 波波庫 止止庫 場場縣
34° 26' 134° 20'	34° 43' 134° 24'	34° 46' 134° 36'	34° 47' 134° 40'
月四年二正大	月八年十正大	月八年五和昭	月一年二十三治明
鐵六角白 造形形色	石頭造形上 圓下圓混 錐部錐部 形形載土柱	鐵櫓六白 造形角形色	木四角白 造形形色
ガア明 ア三秒一閃 セ秒一閃 ス二秒一閃 レ二秒一閃 ン二秒一閃	ガア明 ア三秒一閃 セ秒一閃 ス二秒一閃 レ二秒一閃 ン二秒一閃	電不動 燈紅 光	電不動 燈綠 光
度	度	全度	度
一一六	一一五		一一〇
7		8.5	7
60.5	5.5	10.1	11.5
2	1.5	紅光1.5 白光1.5	1.5
20.5	9	紅光7.5 白光10.5	11
●鐵道省立	●兵庫縣赤穂郡新濱村立	●兵庫縣揖保郡網干町立	●兵庫縣飾磨郡飾磨町立
風ノ子島ニ遮ラレル部分ハ燈光ヲ望見スルヲ得ス 船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ		明弧中九〇度ヨリ二七〇度間ハ白光トス 看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス
			記
			事

燈臺 内海(瀬戸内) (口印ハ船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ箇所)

燈臺 (内海(瀬戸内))

514	513	512	511	510
島野久大	島木佐小	島歌小	夫太長	島貫百
臺燈	臺燈	臺燈	標燈	臺燈
ノ南端	ノ北西端	小歌島	北	百貫島
34° 132°	34° 133°	34° 133°	34° 133°	34° 133°
18' 59"	22' 6"	24' 12"	22' 8"	18' 16"
月五年七十二治明	月五年七十二治明	月四年九和昭	月五年七十二治明	月五年七十二治明
石圓白	石圓白	混泥土圓白	石圓紅	石圓白
造形色	造形色	造形色	造形色	造形色
ガアセチレン	ガアセチレン	電	ガアセチレン	ガアセチレン
燈	燈	燈	燈	燈
度	度	度	度	度
4.	4.	11	7.	7.
18.	24.	33.	8.	74.
1/10	1/10	3/10	白光6 紅光6 弱	10
13	11	16.	白光9. 紅光8	22.
危險界ヲ示ス	看守員ヲ常置セス	●尾道市立 看守員ヲ常置セス	紅光ヲ以テ二九度ヨリ八七度迄ハ細島ノ北西端ト小佐木島ノ北東端トノ間ノ淺瀬ヲ、又二一九度ヨリ二三九度迄ハ約四九度距離三鐘ノ暗礁懸リ瀬(水深九米一)ヲ示ス 看守員ヲ常置セス	

燈臺 (内海(瀬戸内))

509	508	507	506	稱名臺燈種類	地位	緯經	月年點初	構造及燈質	弧明	上礎基	上面水	數光燭	記	事
港島三	港江之川	港江之川	港寺音觀	香川縣	觀音寺港	34° 133°	月五年六和昭	煉瓦造	全	2.	5.	1/10弱	●香川縣三豐郡觀音寺町立	
堤波防	堤波防西	堤波防東	西堤突	香川縣	觀音寺港	34° 8' 38"	月五年六和昭	煉瓦造	全	2.	5.	1/10弱	●香川縣三豐郡觀音寺町立	
臺燈	臺燈	竿燈	臺燈	香川縣	觀音寺港	34° 8' 38"	月五年六和昭	煉瓦造	全	2.	5.	1/10弱	●香川縣三豐郡觀音寺町立	
頭防波部	頭西防波部	頭東防波部	突堤西端	香川縣	觀音寺港	34° 8' 38"	月五年六和昭	煉瓦造	全	2.	5.	1/10弱	●香川縣三豐郡觀音寺町立	
33° 133°	34° 133°	34° 133°	34° 133°	香川縣	觀音寺港	34° 8' 38"	月五年六和昭	煉瓦造	全	2.	5.	1/10弱	●香川縣三豐郡觀音寺町立	
59' 32"	1' 34"	1' 34"	1' 34"	香川縣	觀音寺港	34° 8' 38"	月五年六和昭	煉瓦造	全	2.	5.	1/10弱	●香川縣三豐郡觀音寺町立	
月三年四和昭	月七年七和昭	月七年七和昭	月五年六和昭	香川縣	觀音寺港	34° 8' 38"	月五年六和昭	煉瓦造	全	2.	5.	1/10弱	●香川縣三豐郡觀音寺町立	
混泥土造	混泥土造	混泥土造	煉瓦造	香川縣	觀音寺港	34° 8' 38"	月五年六和昭	煉瓦造	全	2.	5.	1/10弱	●香川縣三豐郡觀音寺町立	
圓形	下部圓形	上部圓形	四角形	香川縣	觀音寺港	34° 8' 38"	月五年六和昭	煉瓦造	全	2.	5.	1/10弱	●香川縣三豐郡觀音寺町立	
電	電	電	電	香川縣	觀音寺港	34° 8' 38"	月五年六和昭	煉瓦造	全	2.	5.	1/10弱	●香川縣三豐郡觀音寺町立	
不動紅光	不動紅光	連二燈垂	不動白光	香川縣	觀音寺港	34° 8' 38"	月五年六和昭	煉瓦造	全	2.	5.	1/10弱	●香川縣三豐郡觀音寺町立	
全	全	全	全	香川縣	觀音寺港	34° 8' 38"	月五年六和昭	煉瓦造	全	2.	5.	1/10弱	●香川縣三豐郡觀音寺町立	
度	度	度	度	香川縣	觀音寺港	34° 8' 38"	月五年六和昭	煉瓦造	全	2.	5.	1/10弱	●香川縣三豐郡觀音寺町立	
9.	10.	9.	2.	香川縣	觀音寺港	34° 8' 38"	月五年六和昭	煉瓦造	全	2.	5.	1/10弱	●香川縣三豐郡觀音寺町立	
13.	13.	11.	5.	香川縣	觀音寺港	34° 8' 38"	月五年六和昭	煉瓦造	全	2.	5.	1/10弱	●香川縣三豐郡觀音寺町立	
1/10	1/10	1/10	1/10弱	香川縣	觀音寺港	34° 8' 38"	月五年六和昭	煉瓦造	全	2.	5.	1/10弱	●香川縣三豐郡觀音寺町立	
11.	11.	10.	4	香川縣	觀音寺港	34° 8' 38"	月五年六和昭	煉瓦造	全	2.	5.	1/10弱	●香川縣三豐郡觀音寺町立	
●愛媛縣宇摩郡三島町立	看守員ヲ常置セス	●愛媛縣川之江町立 看守員ヲ常置セス	●香川縣三豐郡觀音寺町立	香川縣	觀音寺港	34° 8' 38"	月五年六和昭	煉瓦造	全	2.	5.	1/10弱	●香川縣三豐郡觀音寺町立	
		上下兩燈間隔一米〇六 看守員ヲ常置セス		香川縣	觀音寺港	34° 8' 38"	月五年六和昭	煉瓦造	全	2.	5.	1/10弱	●香川縣三豐郡觀音寺町立	

燈臺 内海(瀬戸内)

523			522			521			520			519		
瀬ノコ			石白島來			濱大			島神龍			港治今		
燈			燈			燈			燈			燈		
北	小	來	白	南	西	南	來	龍	東	來	頭	防	今	
東	島	島	石	口	水	口	島	神	口	島	部	波	治	
方	ノ	海	礁	西	道		海	島		海		堤	港	
		峽	上	端			峽							
34°	8'		34°	6'		34°	6'	34°	6'	34°	4'			
132°	59'		132°	59'		132°	59'	133°	2'	133°	1'			
月四年五十三治明			月一十年九正大			月四年五十三治明			月九年六正大			月二十年八和昭		
石	圓	紅	混	鐵	上	鐵	六	白	混	下	上	混	圓	白
造	形	色	凝	造	部	造	角	色	凝	形	部	凝	形	色
ガア	二	四	ガア	明	明	電	紅	紅	ガア	明	明	電	明	明
セ	秒	秒	ア	二	暗	紅	綠	綠	セ	二	暗	セ	三	暗
ス	分	分	ス	秒	紅	光	各	五	ス	秒	二	ス	秒	三
レ	間	間	レ	二	秒	光	五	光	レ	秒	秒	レ	秒	秒
ン	隔	隔	ン	秒	光	光	光	光	ン	光	光	ン	光	光
燈	テ	テ	燈	光	光	燈	光	光	燈	光	光	燈	光	光
二	八		全			度	一	一	全			全		
九	二		度			三	五	九	度			度		
度	度					一	七	度						
迄	ヨリ					七	度	ヨリ						
						迄	ヨリ	迄						
						12.4		6.4				8		
10.4			11.4			36.7		14.4	11.4					
六			六弱			紅光4 ¹ / ₁₀ 綠光2 ² / ₁₀		六	3 ¹ / ₁₀					
10.4			9.4			17		11.4	11					
看守員ヲ常置セス			看守員ヲ常置セス			看守員ヲ常置セス			看守員ヲ常置セス			看守員ヲ常置セス		
八二度ヨリ一二四度迄紅光ヲ以テ帆掛岩及其近傍ニ擴延セル淺瀬ヲ示ス									●内務省立					

燈臺 内海(瀬戸内)

518			517			516			515		
島神井高			島下大			鼻野中			崎		
燈			燈			燈			燈		
高	井	神	島	下	大	鼻	野	中	崎		
島											
備	後		ノ	大	大	ノ	大	三	ノ	大	三
海	灘		西	下	下	南	上	原	北	上	原
			端	島	瀬	東	島	瀬	東	島	瀬
34°	12'		34°	11'		34°	13'		34°	17'	
133°	16'		132°	55'		132°	55'		132°	56'	
月二十年十正大			月五年七十二治明			月五年七十二治明			月五年七十二治明		
混	八	白	石	八	白	石	圓	白	石	圓	白
凝	角	色	造	角	色	造	形	色	造	形	色
土	形		造	形		造	形		造	形	
造	色		造	色		造	色		造	色	
ガア	更	八	ガア	每	閃	ガア	明	明	ガア	(紅	不
セ	間	秒	セ	五	五	セ	三	暗	セ	光	動
ス	二	分	ス	秒	秒	ス	秒	二	ス	分	白
レ	八	間	レ	一	光	レ	分	秒	レ	光	光
ン	秒	隔	ン	閃	光	ン	光	光	ン	光	光
燈	光	テ	燈	光	光	燈	光	光	燈	光	光
二	三		一	三		一	七		二	〇	
七	四		八	六		五	〇		〇	四	
九	度		度	度		度	度		度	度	
迄	ヨリ		迄	迄		迄	迄		迄	迄	
9.1			7.7			3.4			3.4		
134.4			35.7			44.4			54.4		
20			15			六			六		
29			17			11			11		
看守員ヲ常置セス			看守員ヲ常置セス			看守員ヲ常置セス			看守員ヲ常置セス		
二〇五度ヨリ二一五度迄ハ紅光ヲ以テ大横島北西方ノ淺瀬ヲ示ス			看守員ヲ常置セス			看守員ヲ常置セス			二四六度ヨリ二七五度迄ハ紅光ヲ以テ約七二度距離一哩一徳半ノ神殿島浮標ヨリ同島南端迄ノ危險界ヲ示ス		